

# 西御門遺跡 (No.325)

西御門一丁目 681 番 1 地点

## 例 言

1. 本報は鎌倉市西御門一丁目681番1地点に所在する遺跡の発掘調査である。
2. 発掘調査は個人専用住宅にかかる建築範囲約153㎡を対象とし、平成18年10月23日から平成19年1月25日にかけて実施した。

3. 現地での調査体制は以下の通り。

担当者	福田誠
調査員	石元道子・小野夏菜・菊川泉・古田土俊一・鈴木絵美・梶岡溪音
作業員	浅香文保・赤坂進・天野隆男・石井清司・川島仁司・鯉沼稔

4. 本報作成は以下の分担で行った。

遺物実測	石元道子・岩崎卓治・岡田慶子・小野夏菜・菅野知子・梶岡溪音・松吉里永子
遺物図版作成	渡辺美佐子
遺構図版作成	渡辺美佐子・伊丹まどか・後藤健・古田土俊一
観察表	渡辺美佐子・平山千絵・森谷十美
遺構写真	古田土俊一
遺物写真	須佐仁和
写真図版作成	小野夏菜・梶岡溪音
執筆・編集	古田土俊一・松吉大樹・伊丹まどか

5. 出土品など発掘調査資料は、鎌倉市教育委員会が管理・保存している。

6. 本報図版の遺構・遺物の縮尺は次の通り。

遺構全測図：1／80    個別遺構図：1／40    実測遺物図：1／3    銭1／1

なお各挿図にはスケールを表示してある。

7. ・復原して実測した遺物に関しては、計測値に( )を付して表してある。

・出土した遺物は、破片と実測した遺物の総数を合わせてグラフ化した。

・木製品は、比較的遺存度の高いものだけを選んで実測した。

・ロクロ成形かわらけの底径は、回転糸切りの外径部分で。手づくね成形かわらけの底径は、器面が接地した箇所計測している。また、「かわらけ」と表記したものはロクロ成形のかわらけを示し、手づくね成形のかわらけは「手づくね」としている。

・出土した遺物に関しては観察表に詳細をまとめて報告している。

・それぞれの陶磁器に関しては、生産地での編年を参考に観察表にその期を示したが、破片の為不安の残るものに関しては割愛した。常滑は中野晴久氏、瀬戸製品に関しては藤澤良祐氏の編年に基づいて分類した。

・遺物写真は縮尺比率を考慮せずに掲載しているため、法量は観察表を参照していただきたい。

・全測図に示した記号の内、< P >はピットの略。

8. 発掘調査及び、報告書作成に関しては次の方々よりご教授、ご協力を賜りました。記して深く感謝いたします。(敬称略・五十音順)

薄井和男・太田美智子・大三輪龍哉・小川裕久・熊谷満・齋木秀雄・汐見一夫・須佐直子・鈴木弘太・中三川昇・野本賢二・浜野浩美・原廣志・松尾宣方・馬淵和雄・山口正紀

※報告書刊行にいたる間、原廣志氏には多大なるご支援・ご教示をいただきました。この場を借りて、あらためてお礼申しあげます。

# 目 次

## 本 文 目 次

第一章 遺跡の位置と歴史的環境 .....	179
1. 歴史的環境 (図1)	
2. 調査の経過と測量軸の設定 (図2)	
3. 堆積土層 (図3)	
第二章 検出遺構と出土遺物 .....	185
第三章 まとめ .....	250
遺物観察表	
遺物出土数量比率表	
遺構計測表	

## 挿 図 目 次

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>図1 調査地と周辺の遺跡図.....</td><td style="text-align: right;">177</td></tr> <tr><td>図2 グリッド配置図.....</td><td style="text-align: right;">181</td></tr> <tr><td>図3 堆積土層図.....</td><td style="text-align: right;">183</td></tr> <tr><td>図4 第1面全測図.....</td><td style="text-align: right;">184</td></tr> <tr><td>図5 第1面・池状遺構.....</td><td style="text-align: right;">186</td></tr> <tr><td>図6 第1面・池状遺構出土遺物(1).....</td><td style="text-align: right;">187</td></tr> <tr><td>図7 第1面・池状遺構出土遺物(2).....</td><td style="text-align: right;">188</td></tr> <tr><td>図8 第1面・池状遺構出土遺物(3).....</td><td style="text-align: right;">189</td></tr> <tr><td>図9 第1面・池状遺構出土遺物(4).....</td><td style="text-align: right;">190</td></tr> <tr><td>図10 第1面・池状遺構出土遺物(5).....</td><td style="text-align: right;">191</td></tr> <tr><td>図11 第1面・溝1・ピット20・溝1出土遺物(1)....</td><td style="text-align: right;">192</td></tr> <tr><td>図12 第1面・溝1出土遺物(2).....</td><td style="text-align: right;">193</td></tr> <tr><td>図13 第1面・土坑6・出土遺物.....</td><td style="text-align: right;">194</td></tr> <tr><td>図14 土坑40・出土遺物.....</td><td style="text-align: right;">196</td></tr> <tr><td>図15 第1面個別遺構図.....</td><td style="text-align: right;">197</td></tr> <tr><td>図16 第1面・遺構出土遺物.....</td><td style="text-align: right;">198</td></tr> <tr><td>図17 第1面・面上出土遺物.....</td><td style="text-align: right;">199</td></tr> <tr><td>図18 第1面構成土出土遺物(1).....</td><td style="text-align: right;">201</td></tr> <tr><td>図19 第1面構成土出土遺物(2).....</td><td style="text-align: right;">202</td></tr> <tr><td>図20 第2面全測図.....</td><td style="text-align: right;">203</td></tr> <tr><td>図21 第2面・土坑17・出土遺物.....</td><td style="text-align: right;">205</td></tr> <tr><td>図22 第2面・個別遺構図・出土遺物.....</td><td style="text-align: right;">206</td></tr> <tr><td>図23 第2面面上・構成土出土遺物(1).....</td><td style="text-align: right;">207</td></tr> <tr><td>図24 第2面構成土出土遺物(2).....</td><td style="text-align: right;">208</td></tr> <tr><td>図25 第3面全測図.....</td><td style="text-align: right;">209</td></tr> </table>	図1 調査地と周辺の遺跡図.....	177	図2 グリッド配置図.....	181	図3 堆積土層図.....	183	図4 第1面全測図.....	184	図5 第1面・池状遺構.....	186	図6 第1面・池状遺構出土遺物(1).....	187	図7 第1面・池状遺構出土遺物(2).....	188	図8 第1面・池状遺構出土遺物(3).....	189	図9 第1面・池状遺構出土遺物(4).....	190	図10 第1面・池状遺構出土遺物(5).....	191	図11 第1面・溝1・ピット20・溝1出土遺物(1)....	192	図12 第1面・溝1出土遺物(2).....	193	図13 第1面・土坑6・出土遺物.....	194	図14 土坑40・出土遺物.....	196	図15 第1面個別遺構図.....	197	図16 第1面・遺構出土遺物.....	198	図17 第1面・面上出土遺物.....	199	図18 第1面構成土出土遺物(1).....	201	図19 第1面構成土出土遺物(2).....	202	図20 第2面全測図.....	203	図21 第2面・土坑17・出土遺物.....	205	図22 第2面・個別遺構図・出土遺物.....	206	図23 第2面面上・構成土出土遺物(1).....	207	図24 第2面構成土出土遺物(2).....	208	図25 第3面全測図.....	209	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>図26 第3面・かわらけ集中出土遺構・出土遺物...</td><td style="text-align: right;">210</td></tr> <tr><td>図27 第3面・個別遺構図・出土遺物(1).....</td><td style="text-align: right;">211</td></tr> <tr><td>図28 第3面・個別遺構出土遺物(2).....</td><td style="text-align: right;">212</td></tr> <tr><td>図29 第3面・面上出土遺物(1).....</td><td style="text-align: right;">214</td></tr> <tr><td>図30 第3面面上出土(2)・炭化物層・ 第3面構成土(1)・出土遺物.....</td><td style="text-align: right; vertical-align: bottom;">215</td></tr> <tr><td>図31 第3面構成土出土遺物(2).....</td><td style="text-align: right;">216</td></tr> <tr><td>図32 第3面構成土出土遺物(3).....</td><td style="text-align: right;">217</td></tr> <tr><td>図33 第4面全測図.....</td><td style="text-align: right;">218</td></tr> <tr><td>図34 第4面個別遺構図.....</td><td style="text-align: right;">220</td></tr> <tr><td>図35 第4面個別遺構出土遺物.....</td><td style="text-align: right;">222</td></tr> <tr><td>図36 第4面面上出土遺物(1).....</td><td style="text-align: right;">224</td></tr> <tr><td>図37 第4面面上出土遺物(2).....</td><td style="text-align: right;">225</td></tr> <tr><td>図38 第4面構成土出土遺物(1).....</td><td style="text-align: right;">226</td></tr> <tr><td>図39 第4面構成土出土遺物(2).....</td><td style="text-align: right;">227</td></tr> <tr><td>図40 第4面構成土出土遺物(3).....</td><td style="text-align: right;">228</td></tr> <tr><td>図41 第4面構成土出土遺物(4).....</td><td style="text-align: right;">229</td></tr> <tr><td>図42 第4面構成土出土遺物(5).....</td><td style="text-align: right;">230</td></tr> <tr><td>図43 第4面構成土出土遺物(6).....</td><td style="text-align: right;">231</td></tr> <tr><td>図44 第4面構成土出土遺物(7).....</td><td style="text-align: right;">232</td></tr> <tr><td>図45 第5面全測図.....</td><td style="text-align: right;">234</td></tr> <tr><td>図46 第5面井戸1・P241・出土遺物.....</td><td style="text-align: right;">235</td></tr> <tr><td>図47 第5面・溝3・出土遺物(1).....</td><td style="text-align: right;">236</td></tr> <tr><td>図48 第5面溝3・出土遺物(2).....</td><td style="text-align: right;">237</td></tr> <tr><td>図49 第5面 柱穴列1・2・3・出土遺物...</td><td style="text-align: right;">238</td></tr> </table>	図26 第3面・かわらけ集中出土遺構・出土遺物...	210	図27 第3面・個別遺構図・出土遺物(1).....	211	図28 第3面・個別遺構出土遺物(2).....	212	図29 第3面・面上出土遺物(1).....	214	図30 第3面面上出土(2)・炭化物層・ 第3面構成土(1)・出土遺物.....	215	図31 第3面構成土出土遺物(2).....	216	図32 第3面構成土出土遺物(3).....	217	図33 第4面全測図.....	218	図34 第4面個別遺構図.....	220	図35 第4面個別遺構出土遺物.....	222	図36 第4面面上出土遺物(1).....	224	図37 第4面面上出土遺物(2).....	225	図38 第4面構成土出土遺物(1).....	226	図39 第4面構成土出土遺物(2).....	227	図40 第4面構成土出土遺物(3).....	228	図41 第4面構成土出土遺物(4).....	229	図42 第4面構成土出土遺物(5).....	230	図43 第4面構成土出土遺物(6).....	231	図44 第4面構成土出土遺物(7).....	232	図45 第5面全測図.....	234	図46 第5面井戸1・P241・出土遺物.....	235	図47 第5面・溝3・出土遺物(1).....	236	図48 第5面溝3・出土遺物(2).....	237	図49 第5面 柱穴列1・2・3・出土遺物...	238
図1 調査地と周辺の遺跡図.....	177																																																																																																		
図2 グリッド配置図.....	181																																																																																																		
図3 堆積土層図.....	183																																																																																																		
図4 第1面全測図.....	184																																																																																																		
図5 第1面・池状遺構.....	186																																																																																																		
図6 第1面・池状遺構出土遺物(1).....	187																																																																																																		
図7 第1面・池状遺構出土遺物(2).....	188																																																																																																		
図8 第1面・池状遺構出土遺物(3).....	189																																																																																																		
図9 第1面・池状遺構出土遺物(4).....	190																																																																																																		
図10 第1面・池状遺構出土遺物(5).....	191																																																																																																		
図11 第1面・溝1・ピット20・溝1出土遺物(1)....	192																																																																																																		
図12 第1面・溝1出土遺物(2).....	193																																																																																																		
図13 第1面・土坑6・出土遺物.....	194																																																																																																		
図14 土坑40・出土遺物.....	196																																																																																																		
図15 第1面個別遺構図.....	197																																																																																																		
図16 第1面・遺構出土遺物.....	198																																																																																																		
図17 第1面・面上出土遺物.....	199																																																																																																		
図18 第1面構成土出土遺物(1).....	201																																																																																																		
図19 第1面構成土出土遺物(2).....	202																																																																																																		
図20 第2面全測図.....	203																																																																																																		
図21 第2面・土坑17・出土遺物.....	205																																																																																																		
図22 第2面・個別遺構図・出土遺物.....	206																																																																																																		
図23 第2面面上・構成土出土遺物(1).....	207																																																																																																		
図24 第2面構成土出土遺物(2).....	208																																																																																																		
図25 第3面全測図.....	209																																																																																																		
図26 第3面・かわらけ集中出土遺構・出土遺物...	210																																																																																																		
図27 第3面・個別遺構図・出土遺物(1).....	211																																																																																																		
図28 第3面・個別遺構出土遺物(2).....	212																																																																																																		
図29 第3面・面上出土遺物(1).....	214																																																																																																		
図30 第3面面上出土(2)・炭化物層・ 第3面構成土(1)・出土遺物.....	215																																																																																																		
図31 第3面構成土出土遺物(2).....	216																																																																																																		
図32 第3面構成土出土遺物(3).....	217																																																																																																		
図33 第4面全測図.....	218																																																																																																		
図34 第4面個別遺構図.....	220																																																																																																		
図35 第4面個別遺構出土遺物.....	222																																																																																																		
図36 第4面面上出土遺物(1).....	224																																																																																																		
図37 第4面面上出土遺物(2).....	225																																																																																																		
図38 第4面構成土出土遺物(1).....	226																																																																																																		
図39 第4面構成土出土遺物(2).....	227																																																																																																		
図40 第4面構成土出土遺物(3).....	228																																																																																																		
図41 第4面構成土出土遺物(4).....	229																																																																																																		
図42 第4面構成土出土遺物(5).....	230																																																																																																		
図43 第4面構成土出土遺物(6).....	231																																																																																																		
図44 第4面構成土出土遺物(7).....	232																																																																																																		
図45 第5面全測図.....	234																																																																																																		
図46 第5面井戸1・P241・出土遺物.....	235																																																																																																		
図47 第5面・溝3・出土遺物(1).....	236																																																																																																		
図48 第5面溝3・出土遺物(2).....	237																																																																																																		
図49 第5面 柱穴列1・2・3・出土遺物...	238																																																																																																		

図50	第5面個別遺構・出土遺物	240
図51	第5面面上・構成土出土遺物(1)	241
図52	第5面構成土出土遺物(2)	242
図53	第6面全測図	243
図54	第6面 個別遺構・構成土(1)出土遺物	245

図55	第6面 構成土出土遺物(2)	246
図56	第7面全測図	247
図57	第7面個別遺構・面上出土遺物	248
図58	表土採集遺物	249

## 図版 目次

図版1	第1面全景・第1面遺構・ 第2面全景・第2面遺構	291
図版2	第2面遺構・第3面全景・ 第3面遺構・調査地周辺遠景	292
図版3	第4面全景・第4面遺構・5面全景	293
図版4	第5面遺構・第6面遺構・第7面遺構	294
図版5	第6面全景・第7面全景	295
図版6	第1面池状遺構出土遺物	296
図版7	第1面池状遺構出土遺物	297
図版8	第1面池状遺構出土遺物	298
図版9	第1面溝1出土遺物	299
図版10	第1面土坑6・土坑12・土坑15・ 土坑40・溝状土坑2出土遺物	300
図版11	第1面ピット8・ピット47・ ピット49・ピット56・面上出土遺物	301
図版12	第1面面上・構成土出土遺物	302
図版13	第1面構成土出土遺物	303
図版14	第1面構成土出土遺物	304
図版15	第1面構成土・第2面土坑17出土遺物	305
図版16	第2面ピット151・面上・ 構成土出土遺物	306
図版17	第2面構成土出土遺物・第3面 かわらけ集中出土遺構出土遺物	307
図版18	第3面かわらけ集中出土遺構・ 土坑26・土坑29・土坑30・ 土坑31・土坑32・土坑33出土遺物	308
図版19	土坑33・ピット185・ピット190・ ピット198・面上出土遺物	309

図版20	第3面面上出土遺物	310
図版21	第3面炭化物範囲・構成土出土遺物	311
図版22	第3面構成土出土遺物	312
図版23	第3面構成土・第4面土坑34・ 土坑36・土坑39・ピット201・ ピット206出土遺物	313
図版24	第4面ピット208・ピット209・ ピット213・ピット219・ ピット225・ピット226・ ピット227・ピット228・ ピット232・面上出土遺物	314
図版25	第4面面上出土遺物	315
図版26	第4面面上・構成土出土遺物	316
図版27	第4面構成土出土遺物	317
図版28	第4面構成土出土遺物	318
図版29	第4面構成土出土遺物	319
図版30	第4面構成土出土遺物	320
図版31	第4面構成土・第5面井戸1出土遺物	321
図版32	第5面井戸1・ピット241・ 溝3出土遺物	322
図版33	第5面溝3出土遺物	323
図版34	第5面溝3出土遺物	324
図版35	第5面ピット264・ピット281・ 面上・構成土・第6面構成土出土遺物	325
図版36	第6面構成土・第7面溝4・ ピット303・面上出土遺物	326
図版37	第7面面上出土遺物・表土採集遺物	327



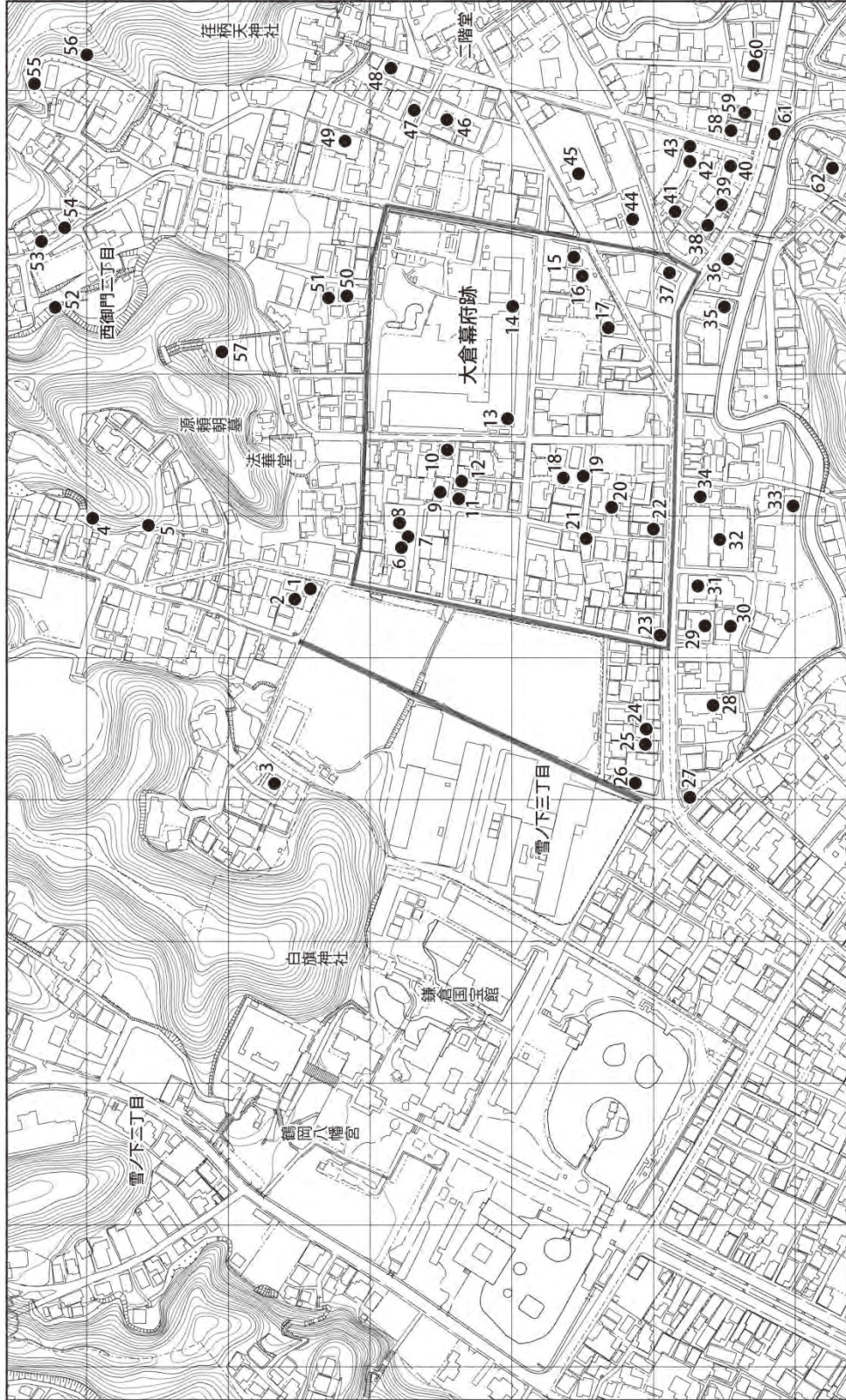


図1 調査地と周辺の遺跡図

< 調査地点一覧 >

- 西御門遺跡 1.西御門一丁目11番14 2.西御門一丁目681番1(本調査地点)
- 保寿院跡 3.西御門一丁目922番4(宮田・滝澤2007『市緊急報告書』23)
- 西御門東やぐら群4.西御門一丁目22番1、23番(鈴木2005『西御門東やぐら群』) 5.西御門一丁目22番1、23番(鈴木2005『西御門東やぐら群』)
- 大倉幕府跡 6.雪ノ下三丁目693番8(押木2014『市緊急報告書』31) 7.雪ノ下三丁目693番1(宮田・滝沢2013『大倉幕府跡(No.253)発掘調査報告書』) 8.雪ノ下三丁目694番18(宮田・安藤2013『大倉幕府跡(No.253)発掘調査報告書』  
雪ノ下三丁目694番18地点) 9.雪ノ下三丁目701番3(馬淵2005『市緊急報告書』21) 10.雪ノ下三丁目704番3外(福田2011『市緊急報告書』27) 11.雪ノ下三丁目701番14(宮田・滝沢2005『市緊急報告書』21) 12.雪ノ下三丁目701番1(馬淵2005『市緊急報告書』21) 13.雪ノ下三丁目707番1(宮田1992『神奈川県埋蔵文化財調査報告』34) 14.雪ノ下三丁目 清泉小学校内(『鎌倉市埋蔵文化財調査年報』I) 15.雪ノ下三丁目637番4(熊谷2011『市緊急報告書』27) 16.雪ノ下三丁目637番6外(未報告) 17.雪ノ下三丁目635番2外(斉木2012『大倉幕府跡発掘調査報告書-鎌倉市雪ノ下三丁目635番2外地点-』) 18.雪ノ下三丁目648番3(未報告) 19.雪ノ下三丁目648番8(未報告) 20.雪ノ下三丁目629番1(宮田他2011『大倉幕府跡発掘調査報告書』) 21.雪ノ下三丁目651番8(汐見1999『市緊急報告書』15) 22.雪ノ下三丁目618番8、653番10(未報告) 23.雪ノ下三丁目618番4(汐見2002『市緊急報告書』18)
- 大倉幕府周辺遺跡群 24.雪ノ下三丁目607番1(斉木・降矢2004『市緊急報告書』20) 25.雪ノ下三丁目607番(菊川1994『市緊急報告書』10) 26.雪ノ下三丁目606番1(菊川1993『市緊急報告書』9) 27.雪ノ下四丁目600番(未報告) 28.雪ノ下四丁目610番2(市教委立会調査) 29.雪ノ下四丁目620番1(1981『掘り出された鎌倉』) 30.雪ノ下四丁目620番2(1989『武士の都 鎌倉 よみがえる中世3』) 31.雪ノ下四丁目620番5(馬淵1998『市緊急報告書』14) 32.雪ノ下四丁目581番5(斉木2007『大倉幕府周辺遺跡発掘調査報告書-雪ノ下4-581-5地点-』) 33.雪ノ下四丁目580番10(原2001『市緊急報告書』17) 34.雪ノ下四丁目581番2(未報告) 35.雪ノ下四丁目570番1(馬淵2013『市緊急報告書』30) 36.雪ノ下四丁目567番7(馬淵2004『市緊急報告書』20) 37.雪ノ下四丁目569番1(馬淵1990『大倉幕府周辺遺跡群 雪ノ下字大倉耕地569番1地点発掘調査』) 38.雪ノ下字大倉耕地562番16(福田2001『市緊急報告書』17) 39.雪ノ下字天神前562番29(福田1996『市緊急報告書』12) 40.雪ノ下字大倉耕地565-4(菊川1991『市緊急報告書』7) 41.雪ノ下字天神前562番30(『第18回鎌倉市遺跡調査研究発表会』) 42.二階堂字荏柄3番6外(未報告) 43.二階堂字荏柄3番6外(未報告) 44.二階堂字荏柄38-1(馬淵1993『市緊急報告書』9) 45.二階堂字荏柄38番2(未報告) 46.二階堂字荏柄27-3の一部(原2006『市緊急報告書』22) 47.二階堂字荏柄76番4(宮田2007 神奈川県埋蔵文化財調査報告51) 48.二階堂荏柄76番8地点(伊丹2013『市緊急報告書』30) 49.二階堂字荏柄58-4外(原2002『市緊急報告書』18)
- 大倉幕府北遺跡 50.西御門二丁目756番10(宮田・滝沢2009『市緊急報告書』25) 51.西御門二丁目756番6(宮田・滝沢2009『市緊急報告書』25) 52.西御門二丁目816番1(宮田2000『大倉幕府北遺跡発掘調査報告書』) 53.西御門二丁目796番1外(宮田2002『大倉幕府北遺跡発掘調査報告書』) 54.西御門二丁目796番1外(宮田2002『大倉幕府北遺跡発掘調査報告書』)
- 大倉幕府北やぐら群55.西御門二丁目792番2(鈴木2004『大倉幕府北やぐら群』) 56.西御門二丁目792番2(鈴木2004『大倉幕府北やぐら群』)
- 北条義時法華堂跡 57.二階堂字西御門686番(福田2005『北条義時法華堂跡確認調査報告書』)
- 横小路周辺遺跡58.二階堂字荏柄10-1(原2003『市緊急報告書』19) 59.二階堂字荏柄10-6(福田2000『市緊急報告書』16) 60.二階堂字荏柄9-1(菊川1990『市緊急報告書』6) 61.雪ノ下五丁目557番1(手塚1998『市緊急報告書』14)
- 田楽辻子周辺遺跡 62.浄明寺一丁目556番6外(押木2012『市緊急報告書』28)



# 第一章 遺跡の位置と歴史的環境

## 1. 歴史的環境（図1）

本調査地点は、源頼朝が大倉の地に造営した御所の西門に当たることから「西御門」という地名で呼ばれる地域である。JR鎌倉駅より北北東に1kmに所在する横浜国立大学付属小・中学校の北隣に位置しており、鶴岡八幡宮を先端に持つ大臣山の丘陵と源頼朝の法華堂を先端に持つ丘陵とに挟まれた谷戸の開口部に当たる。大小7つほどの支谷によって形成されるこの谷戸には時宗寺院である来迎寺などが建つほか、最奥の丘陵斜面に朱垂木やぐらが現存するなど、現在でも多くの歴史を残す地域である。

頼朝の設置した大倉幕府は、「西御門」のほか「東御門」「南御門」の地名からおおよその範囲が推定されており、頼朝の墓が建つ丘陵下の東西道、筋替橋から六浦へ向かう道（現県道金沢鎌倉線）をそれぞれ南北の範囲とし、二階堂大路への分岐点から東御門川に沿い、筋替橋から小町大路の延長線上に北上する西御門川沿いが東西の範囲であったと考えられている。幕府西限となる道は明治期の神奈川師範学校（現横浜国立大学付属小学校）設立に伴って失われてしまったが、本調査地点はこの道と大倉幕府北限の道が交錯する幕府推定地北西角となる地点でもある。

本調査地は大倉幕府跡の西方、西御門地域にあたる。当地名の由来は、大倉幕府の西門に因むと伝えるが（『新編相模国風土記稿』）、大倉幕府に隣接する地域であったため、御家人の屋敷地に関する記載が多い。その初見は『吾妻鏡』文治二年（1186）正月五日条である。壇ノ浦合戦後、源義経に予同していた平時実は生捕りにされ、「美濃藤次安平西御門家」に預けられていた。美濃藤次安平については未詳であるが、同年五月廿九日条・同六月二日条に「美濃国石田郷」・「美濃国大野郡石太郷」を濫妨している記事があることから、美濃国の御家人であったかもしれない。また幕府の重臣三浦氏の屋敷も当地に存在していた。『吾妻鏡』貞応三年（1224）九月五日条には「三浦駿河前司義村西御門家焼亡」とあり、伝領された三浦氏屋敷地は、宝治合戦に際しても放火され焼け落ちている（註1）。当地には天野景村の宿所もあった（註2）。天野景村は、金沢流北条氏の北条実時の小舅であるが、頼朝法華堂前には北条実時邸が存在していた記述も見られることから（註3）、大倉幕府を中心とする御家人同士の地縁的関係も窺えよう（永井2006）。そしてまた、北条実時夫人である金沢殿が、延慶三年六月四日に醍醐寺親玄との間で「名越新善光寺下毘沙門堂入地」と「西御門小笠原谷御地陸戸主」を相博・交換していることから、金沢北条氏の西御門に対する意識が強かったことも想定される（註4）。また、金沢実時の孫にあたる頼朝法華堂別当顕弁は、西御門に御坊を有していた（註5）。そして金沢氏の人々がやりとりしている書状には「西御門殿」に宛てたものがあるが、出自などについては未詳（註6）。西御門には金沢北条氏の縁者が多く住んでいた可能性が指摘できよう。金沢北条氏の他には、工藤氏と二階堂氏が西御門に住していた（註7）。両氏は出自が一緒であり、当地における血縁的集住関係も垣間見ることができよう。西御門は大倉幕府近辺という地勢もあって、幕府関連の記述も見られる。和田合戦後の実検は当地で行われている（註8）。西御門には西大路と称する道が通っていたらしく、それは藤原頼経亭の西側を走っていた（註9）。

西御門には多数の寺社も存在していた。現存する来迎寺には、明治の神仏分離の際に頼朝法華堂から移された木造如意輪観音坐像・木造地藏菩薩坐像・木造跋陀婆羅尊者像が安置されている。また、巖上地藏はもと報恩寺の本尊で、南北朝期の宅間浄宏作と伝える。報恩寺は、義堂周信を開山、上杉能憲を開基とする臨濟宗寺院で、報恩護国禅寺とも称したが現在は廃寺となっている。創建は応安四年（1371）十月十五日、仏殿の立柱は永和二年（1376）十月十三日とする（『空華日用工夫略集』）。康暦元年（1379）

三月には、上杉能憲の弟にして関東管領であった上杉憲春が、室町将軍足利義満に反しようとした鎌倉公方足利氏満を諫めるため、当寺で自害している(『群書類従』第二十輯)。室町期に入ると西御門は紛争が発端する地として史料上に出ていることが多い。応永廿三年(1416)十月の上杉禅秀の乱に際しては、足利満隆が挙兵したのは「御所西御門保寿院」であったし、一方の足利持氏方は、西御門に火をかけ保寿院に押し寄せる談義をしていた(註10)。保寿院は鶴岡八幡宮の裏、現市立第二中学校の西南にあった禅宗寺院である。開山は義堂周信。応安元年(一三六八)十月五日、関東公方足利基氏の母の遺命によって、西御門の別殿が保寿院となった(『空華日用工夫略集』)。『新編相模国風土記稿』によれば、後に瑞泉寺の塔頭となり次第に廃寺となったと伝える。享徳三年(1454)十二月廿七日には、関東管領上杉憲忠が鎌倉公方足利成氏によって殺害され享徳の乱が始まった(註11)。また本間遠江守に宛てた、年末詳八月七日付「上杉憲忠書状」は「就西御門江御移、嚴重仁被成下御内書候、上意之至、誠以忝畏入存候」と足利成氏の西御門における動向を伝える(註12)。当地には他に太平寺・高松寺の尼寺があったが、今は廃寺となっている。また、現在の八雲神社には鎌倉幕府の御家人であった後藤氏を縁とする、大門寺があったと想定されている(高橋2010)。西御門地域には上記の様に、御家人や足利氏の足跡が史料上に残されている。

(松吉大樹)

#### 【参考文献】

永井晋『金沢北条氏の研究』(八木書店、2006年)。

高橋慎一郎『中世都市の力 京・鎌倉と寺社』(高志書院選書4、高志書院、2010年)。

#### 【註】

(註1)『吾妻鏡』宝治元年六月四日、同十五日条。

(註2)『関東往還記』二月廿七日条。

(註3)『吾妻鏡』宝治元年正月十三日条。

(註4)延慶三年六月四日付「金沢実時後室代成覚相博状」(『鎌倉遺文』24009号文書)。同年九月十五日付「関東御教書」(『実相院及東寺宝菩提院文書』『神奈川県史資料編2』1788号文書)。

(註5)(元徳三年六月十一日)「顕弁四十九日仏事廻向文」(「金沢文庫文書」『鎌倉遺文』31442号文書)。

(註6)(元応元年ヵ)十月十六日付「金沢貞顕書状」(「金沢文庫文書」『鎌倉遺文』27166号文書)。

(註7)文永三年六月十日付「二階堂行久讓状」(「二階堂文書」『鎌倉遺文』9542号文書)。元亨三年十一月三日付「工藤貞行讓状」(「陸奥遠野南部文書」『鎌倉遺文』28573号文書)。

(註8)『吾妻鏡』建暦三年五月四日条。

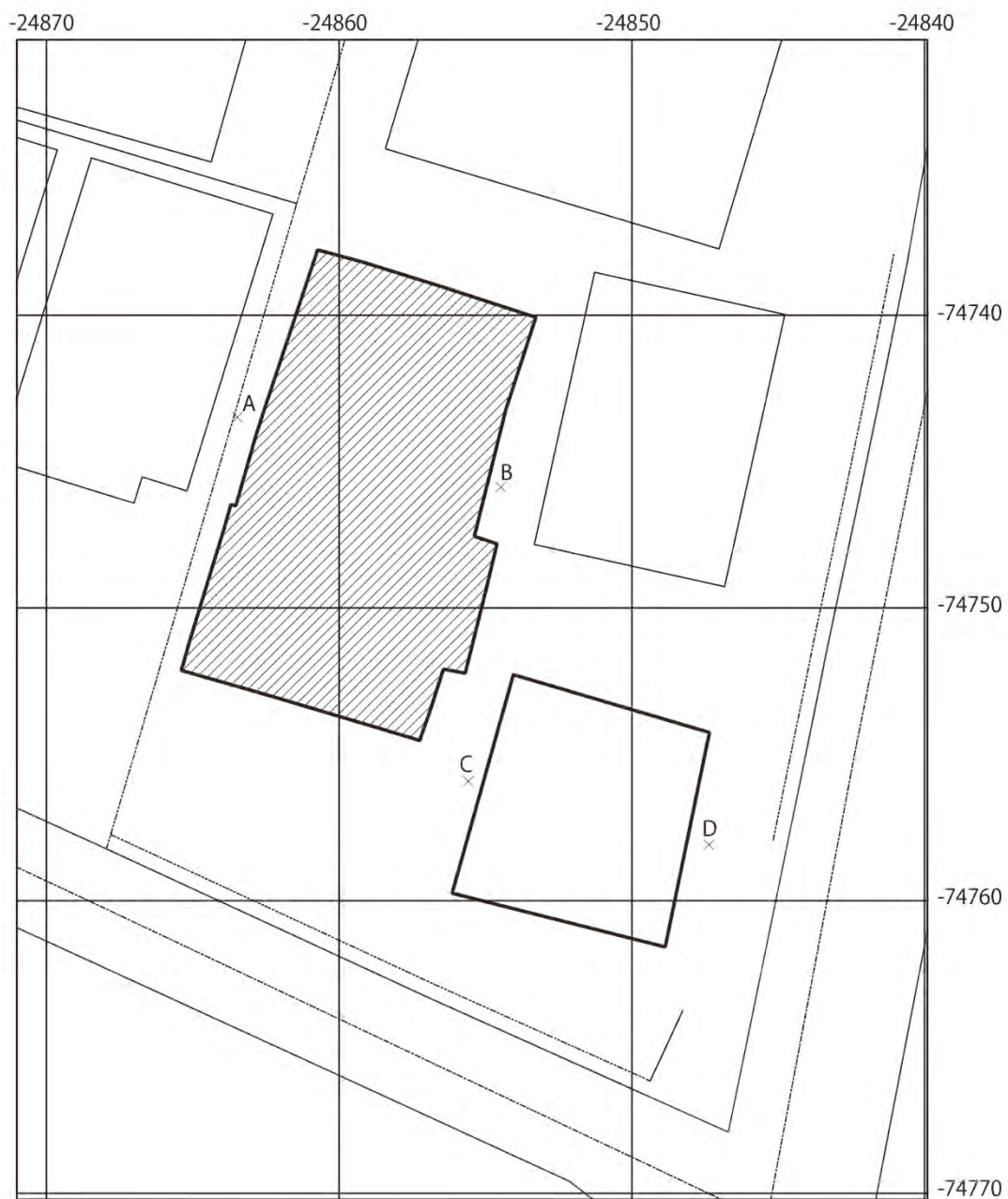
(註9)『吾妻鏡』貞応二年正月廿日条、同廿五日条。

(註10)「湘山星移集」(『続群書類従』第二十一輯、合戦部)

(註11)「康富記」(『増補史料大成』38)。

(註12)「喜連川文書」(『神奈川県史資料編3下』6100号文書)。





日本測地系

	x	y
A	-75100.109	-24570.063
B	-75102.496	-24561.063
C	-75112.545	-24562.176
D	-75114.718	-24553.953

世界測地系

	x	y
A	-74743.4794	-24863.4739
B	-74745.8669	-24854.4742
C	-74755.9154	-24855.5874
D	-74758.089	-24847.3647

図2 グリッド配置図

## 2. 調査の経過と測量軸の設定 (図2)

本調査は鎌倉市西御門一丁目681番1地点における、個人専用住宅建設に伴う発掘調査である。調査期間は平成18年10月23日から平成19年1月25日までの約3ヵ月間で、調査面積は約153㎡、現地表海拔は14,80mであった。調査開始にあたって調査区に任意の方眼軸を設け、基本点Aと、見返り点Bを設定し遺構の測量・図面作成に使用した。基本点Aと見返り点Bは鎌倉市4級基準点成果表に基づき国土座標に倣った座標値の移設を行ったが、成果表は日本測地系(座標AREA 9)の国土座標値を使用しているため、本報告作成に際しては国土地理院が公開する座標変換ソフト「WEB版TKY2JGD」で世界測地系第IX形に変換し、図2に表記した。

## 3. 堆積土層 (図3)

調査区西壁で確認した土層堆積図を用いて堆積状況を上層より説明する。

調査前現地表海拔は約14.80mであった。第1面検出までの土層は現代の攪乱と客土が約90cmの厚さで堆積していた。現代の堆積土を重機によって取り除いた後、泥岩粒、泥岩による比較的しっかりとした地業面(14・16層)を検出し第1面とした。第1面の構成土は泥岩粒・泥岩で構成された堅く締まった明茶褐色弱粘質土と暗褐色弱粘質土で構成される。約20～30cmの厚さで堆積していた。調査区北側は東西に延びる池状遺構によって後述する第4面まで大半が削平を受けている。第2面は第25層上層を調査面にした。第1面同様に泥岩粒・泥岩によって固く締まった地業を観察したが、第1面に比べると不整形な大型泥岩を多く含み雑な印象を受ける。第2面の構成土は約40cmの厚さで堆積し、泥岩粒・大型泥岩、暗褐色弱粘質土で構成される。第3面は第45層上層を調査面とした。第1面で発見した池状遺構の北側は地業の検出が曖昧であったが、南側は大型の泥岩を多く含む灰色粘質土によって構成され、第2面よりもさらに雑な地業である。また、調査区東側には炭化物が広く堆積した空間が広がり、遺構覆土にも炭化物が多く含まれることを観察している。第3面の構成土は約15cmの厚さで堆積していた。第4面は第38層上層を調査面にした。第4面は調査区中央辺りに泥岩粒、泥岩を含む薄い地業を確認したが、大半は炭化物を多く含む灰褐色弱粘質土を構成土に持ち地業の様子が見られなかった。第4面の構成土は約50cmの厚さで堆積していた。第5面は廃土を調査区内で処理する関係から、調査区の北側半分を調査対象とした。第5面は第50層・第55層上層を調査面とした。第5面の構成土は泥岩粒・泥岩を含む固く締まった暗灰色褐色弱粘質土である。第4面掘り下げ途中の第71層上層で生活面を検出しているが、地業層としては脆弱な層であったこと等から、この層で検出した遺構は第5面で検出した遺構と合わせて報告している。第5面の構成土は約30cmの厚さで堆積していた。第6面以下の層は調査区東側に約1m×5.5mの試掘坑を設け確認している。第6面は第57層上層を調査面とした。泥岩粒を含む堅く締まった地業層である。第6面構成土は泥岩粒、泥岩、炭化物とともに、灰褐色砂質土、貝砂を含む。第6面の構成土は約50cmの厚さで堆積していた。第7面は第62層・第63層上層を調査面とした。構成土は泥岩粒、泥岩、炭化物を含む黒褐色弱粘質土。湧水の為かやや脆弱な様子ではあったが泥岩粒、泥岩による地業を観察し、第7面構成土以下の層は炭化物、暗褐色砂質土、貝砂を多く含む暗灰褐色弱粘質土が堆積していることを確認した。

No	色調	含有物
1	明灰褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物
2	明茶褐色弱粘質土	泥岩粒・泥岩・炭化物・焼土粒（池状遺構）
3	灰褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物（池状遺構）
4	灰褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物（池状遺構）
5	暗褐色弱粘質土	泥岩粒・泥岩（池状遺構）
6	灰褐色粘質土	泥岩粒（池状遺構）
7	褐色粘質土	泥岩粒少量・炭化物微量（池状遺構）
8	暗褐色粘質土	泥岩粒少量（池状遺構）
9	暗褐色弱粘質土	泥岩粒少量（池状遺構）
10	暗褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物微量（池状遺構）
11	暗灰色粘質土	泥岩粒・泥岩を多く含む（池状遺構）
12	暗褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物（池状遺構）
13	暗褐色粘質土	泥岩粒（池状遺構）
14	明茶褐色弱粘質土	泥岩粒多量・泥岩・焼土・炭化物多量（第1面構成土）
15	茶褐色弱粘質土	泥岩粒
16	泥岩層	泥岩粒・泥岩・暗褐色弱粘質土（第1面構成土）
17	暗褐色弱粘質土	泥岩粒・泥岩・炭化物微量
18	茶灰色砂質土	泥岩粒・炭化物少量
19	茶灰色砂質土	泥岩粒微量
20	茶灰色砂質土	泥岩粒微量・炭化物微量
21	茶灰色弱粘質土	泥岩粒・炭化物微量
22	茶褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物
23	茶褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物微量
24	茶灰色弱粘質土	泥岩粒・炭化物
25	泥岩層	泥岩粒・泥岩・暗褐色弱粘質土（第2面構成土）
26	茶灰色弱粘質土	泥岩粒少量・炭化物
27	暗茶褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物少量
28	灰褐色弱粘質土	泥岩粒（土杭25）
29	暗茶褐色弱粘質土	泥岩粒・焼土粒多量・炭化物
30	茶灰色弱粘質土	泥岩粒・炭化物少量
31	茶灰色弱粘質土	泥岩粒・炭化物
32	茶灰色弱粘質土	泥岩粒・泥岩・炭化物
33	茶灰色弱粘質土	泥岩粒・炭化物微量
34	茶灰色弱粘質土	泥岩粒・炭化物微量
35	茶灰色弱粘質土	泥岩粒・炭化物微量
36	茶褐色弱粘質土	泥岩粒・焼土・炭化物多量
37	茶褐色弱粘質土	泥岩粒・焼土・炭化物多量
38	灰褐色弱粘質土	泥岩粒少量・炭化物（第4面構成土）
39	茶褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物微量
40	泥岩層	泥岩粒・泥岩・暗褐色弱粘質土（第4面構成土）
41	泥岩層	泥岩粒・泥岩・暗褐色弱粘質土
42	灰色粘質土	泥岩粒・泥岩・炭化物少量（第3面構成土）
43	暗茶灰色粘質土	泥岩粒微量
44	灰色粘質土	泥岩粒・泥岩
45	泥岩層	大型泥岩・泥岩粒（第3面構成土）
46	炭化物層	暗褐色弱粘質土少量
47	暗褐色弱粘質土	泥岩粒・泥岩少量・炭化物
48	暗褐色弱粘質土	泥岩粒・泥岩
49	暗灰色粘質土	泥岩粒・泥岩（第5面構成土）
50	暗灰褐色弱粘質土	泥岩粒多量・泥岩
51	暗灰褐色弱粘質土	泥岩粒多量・泥岩
52	灰褐色砂質土	泥岩粒微量
53	暗灰色弱粘質土	泥岩粒・褐色有機質土（溝3）
54	暗灰褐色弱粘質土	泥岩粒・泥岩・木片（第5面構成土）
55	泥岩層	泥岩粒・泥岩・炭化物少量・灰褐色弱粘質土
56	泥岩層	泥岩粒多量・泥岩・灰褐色弱粘質土（第6面構成土）
57	暗灰色弱粘質土	泥岩粒・炭化物・灰褐色砂・貝砂
58	暗灰色弱粘質土	泥岩粒・泥岩少量
59	暗褐色弱粘質土	泥岩粒・泥岩少量・炭化物・灰褐色砂質土
60	暗褐色弱粘質土	泥岩粒・貝砂・炭化物
61	泥岩層	泥岩粒・泥岩・炭化物
62	黒灰色弱粘質土	泥岩粒・泥岩（第7面構成土）
63	泥岩層	泥岩粒・泥岩・炭化物（第7面構成土）
64	暗灰色弱粘質土	
65	灰褐色弱粘質土	泥岩粒・貝砂・灰褐色砂質土
66	灰褐色弱粘質土	泥岩粒・貝砂・灰褐色砂質土
67	灰褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物・灰褐色砂質土
68	暗褐色弱粘質土	泥岩粒・泥岩・炭化物
69	灰褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物
70	灰褐色弱粘質土	泥岩粒・泥岩少量・炭化物・貝砂
71	泥岩層	泥岩粒・泥岩・炭化物（第5面構成土）

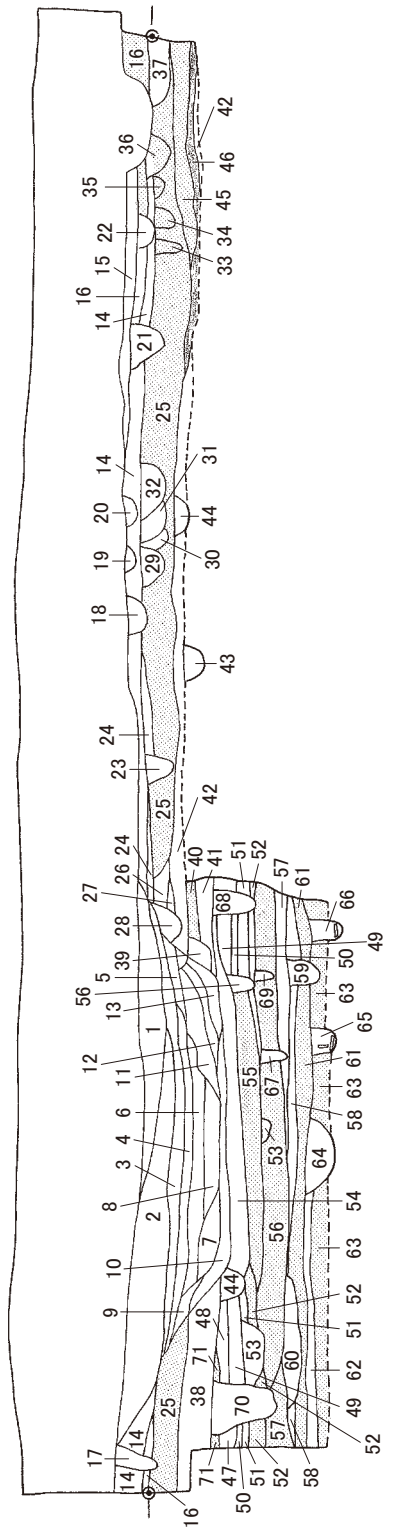


図3 堆積土層図



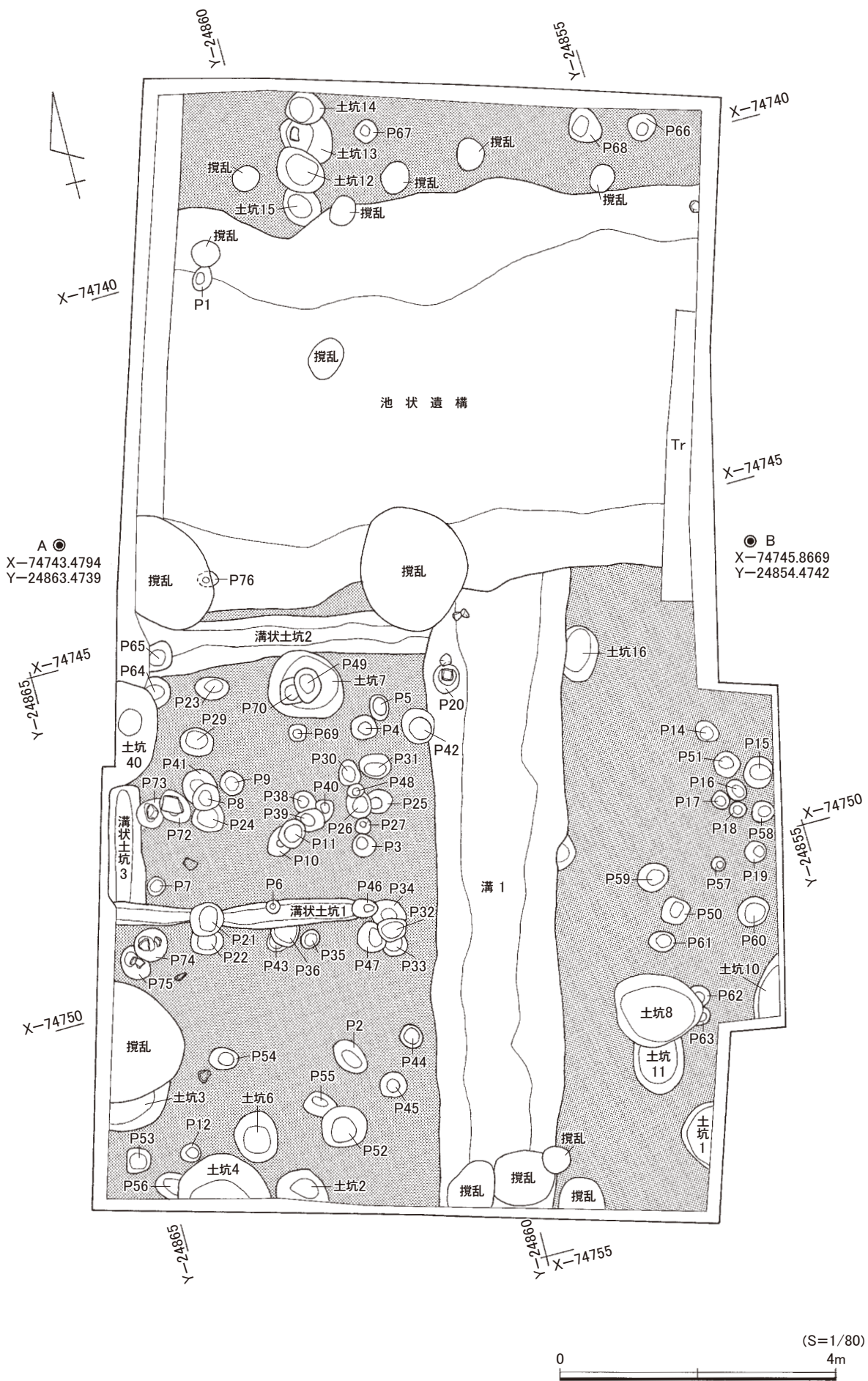


图4 第1面全测图

## 第二章 検出遺構と出土遺物

### 1. 第1面の遺構と遺物 (図4～図19)

現地地表下約90cmの厚さで堆積していた現代埋土を重機によって掘り下げ、泥岩粒・泥岩・暗褐色弱粘質土で構成された堅く締まった地業層上で第1面を検出した。第1面で検出した遺構は池状遺構1基・溝1条・溝状土坑2基・土坑14基・ピット72穴である。数多くのピットを確認したが、現代の攪乱によって遺構上層が削平を受けており、建物址を推定することは出来なかった。調査区の北側半分は池状遺構が東西に走り、南側半分は南北に走る溝によって分断されていた。溝によって分断された地業の東側はかわらけ細片を地業層内に多く含み、西側は炭化物を地業層内に多く含む。

出土遺物はかわらけ(ロクロ成形・手づくね成形)をはじめ、青磁、白磁、青白磁、黄釉、褐釉、瀬戸、常滑、渥美、備前、東幡系、亀山、山茶碗、瓦、瓦器、土器、石製品(砥石・硯・滑石)、鉄製品、銭、鉄滓、骨角製品、木製品、骨(獣骨)、貝、果核が見られた。第1面確認レベルは海拔約13.90mである。

#### ・池状遺構(図5)

調査区北側で東西に走る遺構である。調査区外に遺構が延びるため規模は不明となった。長さ775cm・幅250～310cm・深さ85cmを測り、断面逆台形を呈する。底面レベルは東西にほぼ水平であった。遺構プラン確認時には形状から河川あるいは溝を想定して掘り進めていったが、遺構覆土の堆積状況、含有物からは河川、あるいは溝を想定できず、遺構名を池状遺構とした。覆土内には新旧の遺物が混在しており、長い間開口していた様子が窺える。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・焼土粒を含む暗褐色弱粘質土。土層堆積の記録は図3を参照していただきたい。

#### ・出土遺物(図6～図10)

1～39はかわらけ、39は白かわらけ、40は瓦器碗、41～44は青磁碗、45～47は白磁口兀皿、48～50は白磁皿、51～53は白磁壺、54は青白磁梅瓶、55は青白磁壺、56は青白磁器種不明、57は青白磁梅瓶蓋、58は青白磁水注、59は青白磁香炉、60は天目茶碗、61～64は褐釉壺、65～69は瀬戸入子、70・71は緑釉小皿、72・73は瀬戸皿、74～76は瀬戸碗、77～79は瀬戸折縁皿、80～84は瀬戸卸皿、85は瀬戸底卸皿、86は瀬戸瓶子、87は瀬戸水注、88～90は瀬戸瓶子、91～97は常滑甕、98は常滑片口鉢Ⅰ類、99～103は常滑片口鉢Ⅱ類、104は備前播鉢、105・106は東幡系鉢、107～110は瓦器質火鉢、111は土風炉、112～114は吉備系土器碗、115・116は瓦器碗、117は不明陶器、118・119は瓦、120～122は常滑甕・転用品、123～125は石製品・砥石、126は基石か、127～129は銭、130～177は木製品・130～133は箸状、134・135は折敷、136～138は円盤状、139～142は串状、143は草履芯、144～149は棒状・籌木か、150は火付棒か、151・152は串状、153～175は用途不明、176・177は形代。その他に手づくね成形かわらけ・白かわらけ・渥美甕・備前播鉢・亀山甕・火鉢(土器質)・土器碗・石製品硯・骨・果核が破片で出土している。

#### ・溝1(図11)

調査区南側で南北に走る溝である。北は池状遺構に切られ、南は調査区外に延びてしまっているため規模は不明。長さ900cm・幅175～197cm・深さ56～70cmを測る。断面逆台形を呈する。流下方向は不明。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰褐色弱粘質土。

#### ・出土遺物(図11・図12)

1～41はかわらけ、42は青磁鎚蓮弁文碗、43は青磁香炉か、44は白磁口兀皿、45は白磁皿、46は

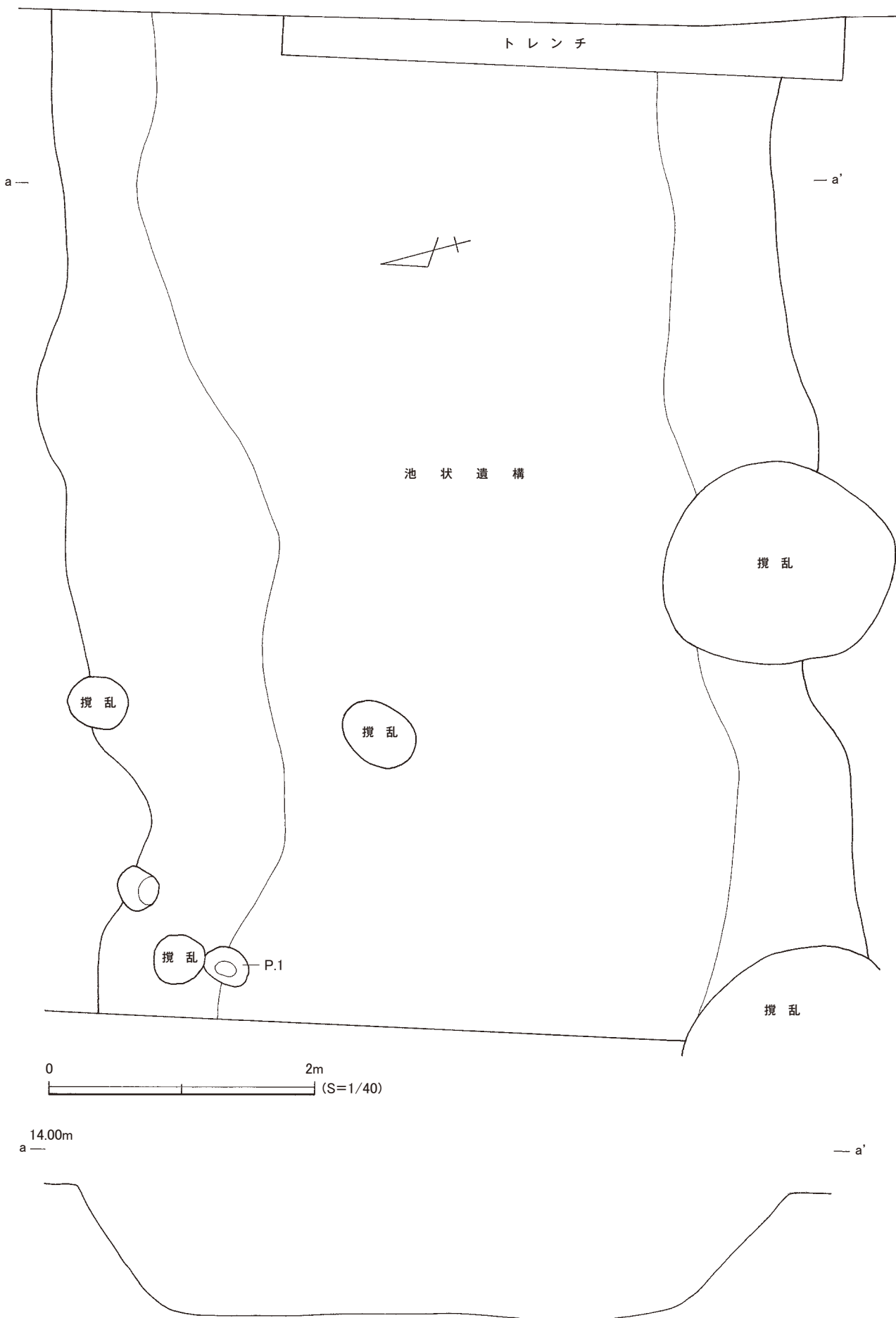


図5 第1面・池状遺構



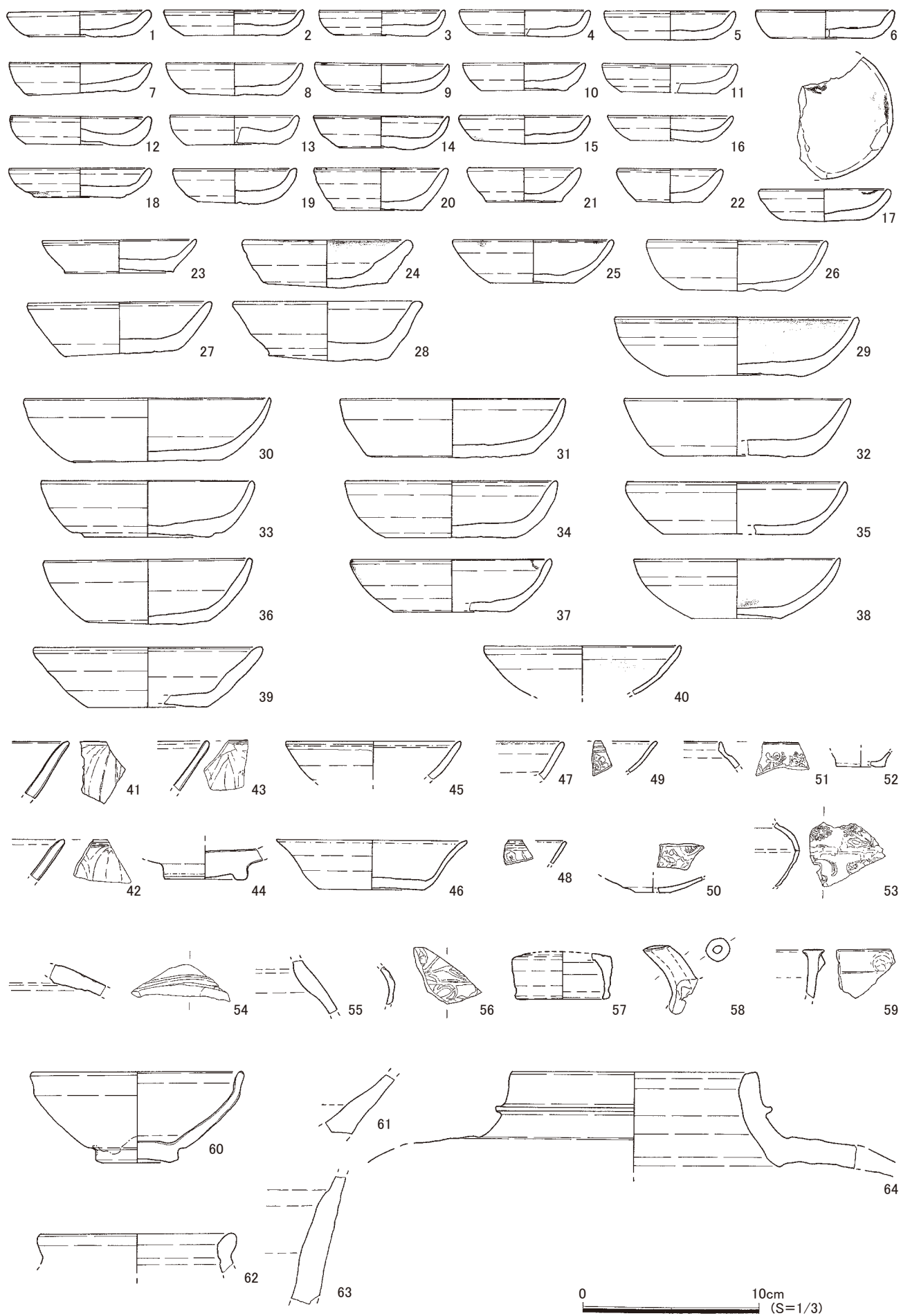


图6 第1面·池状遺構出土遺物(1)

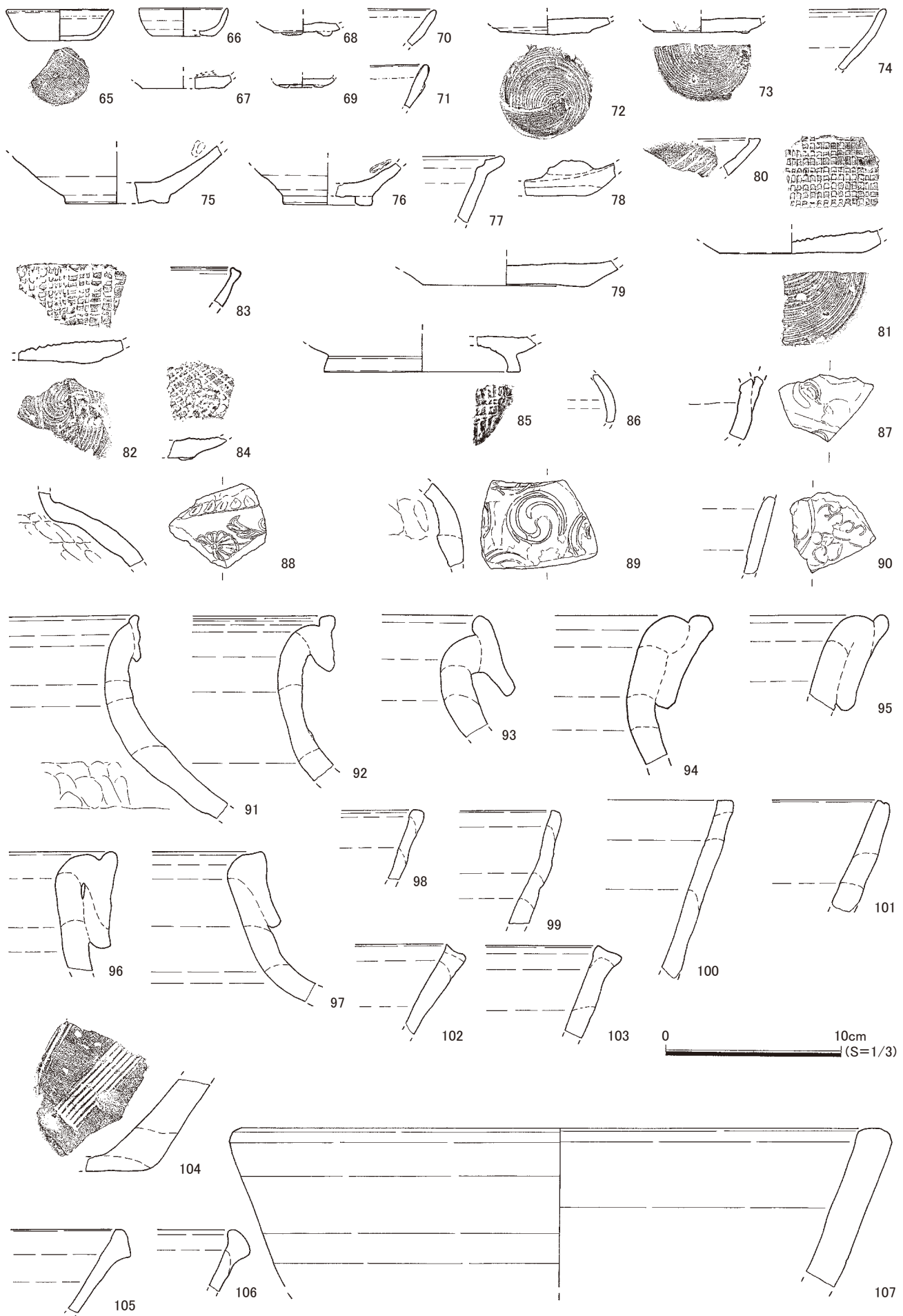


图7 第1面·池状遺構出土遺物(2)

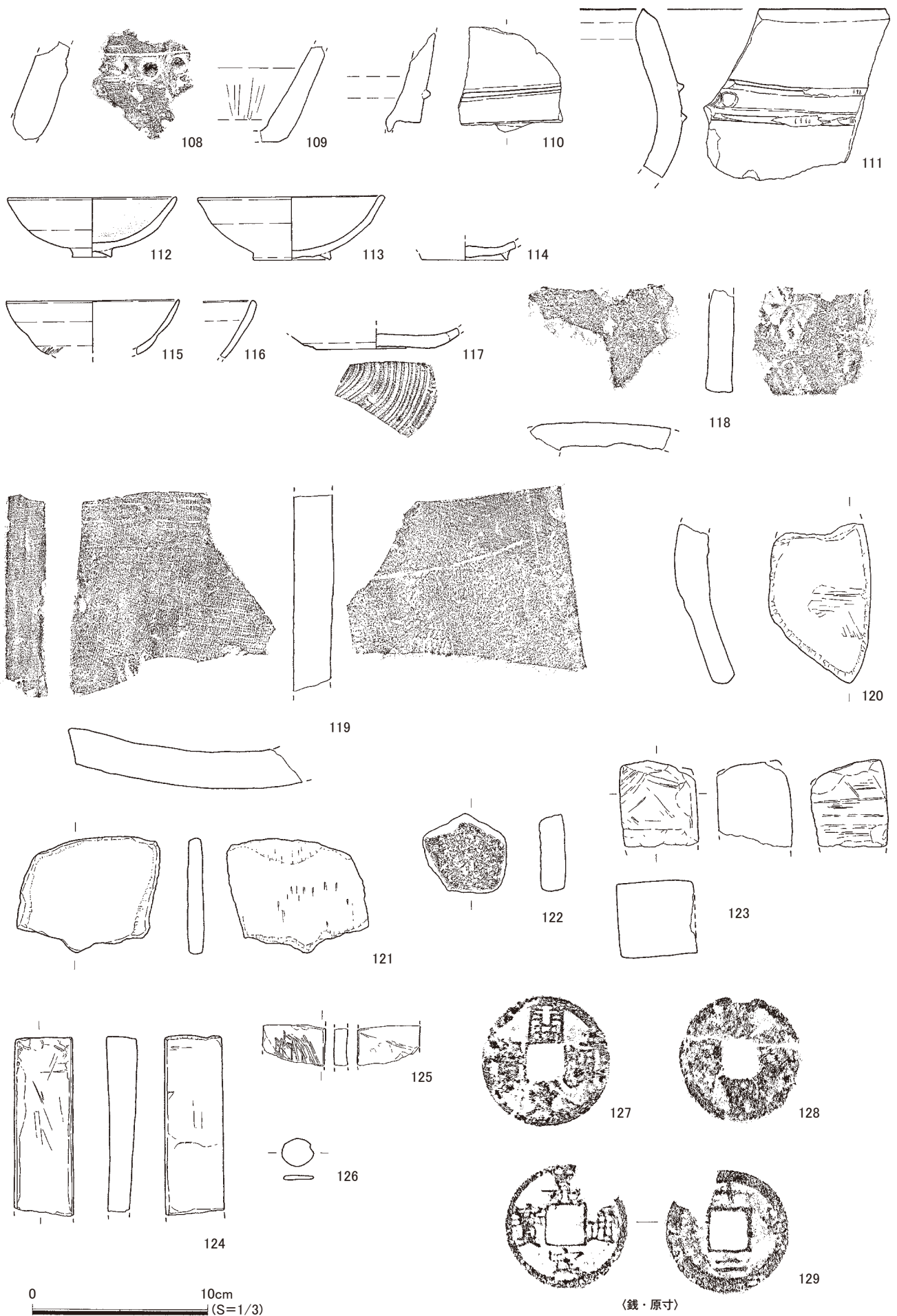


図8 第1面・池状遺構出土遺物(3)



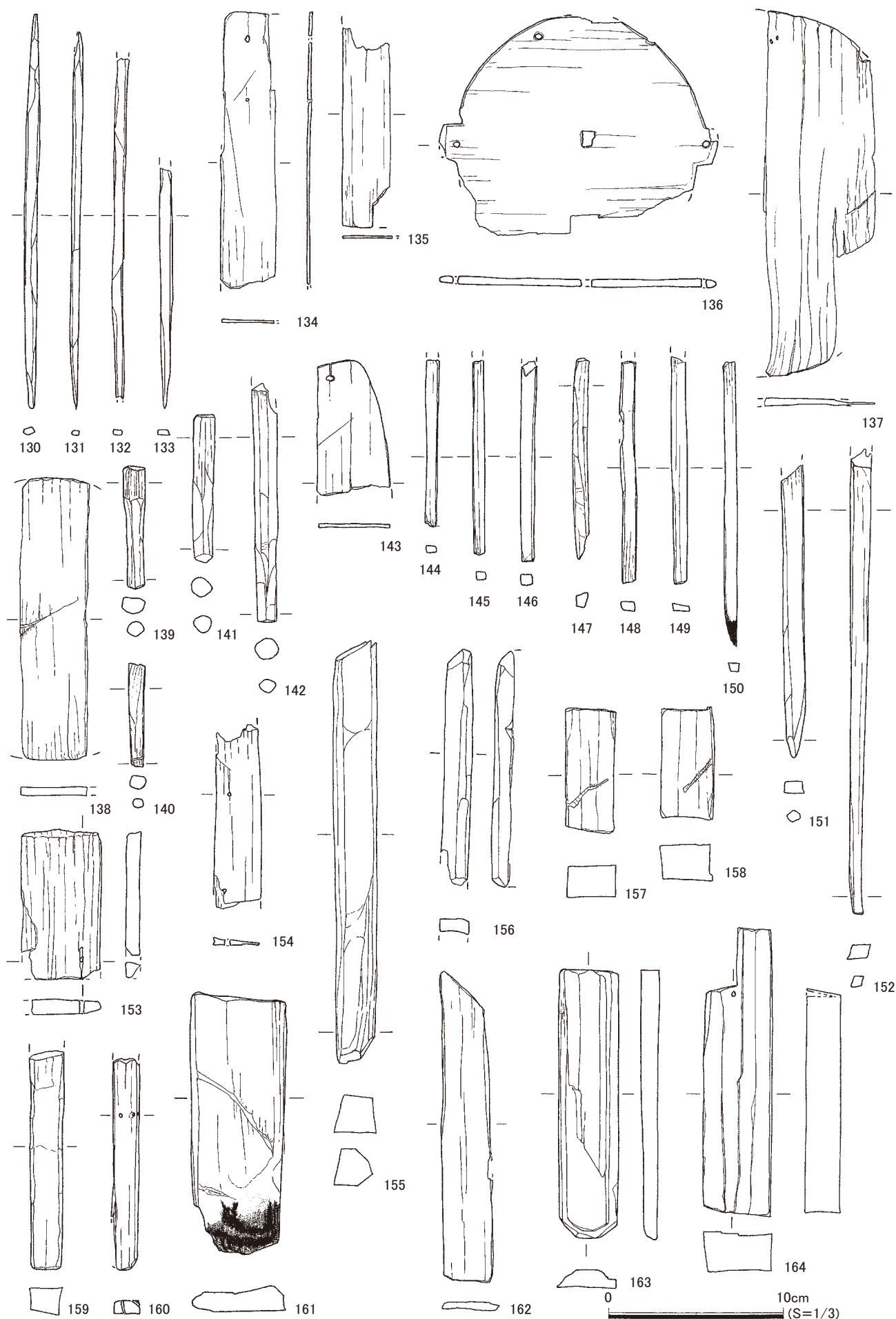


图9 第1面·池状遺構出土遺物(4)

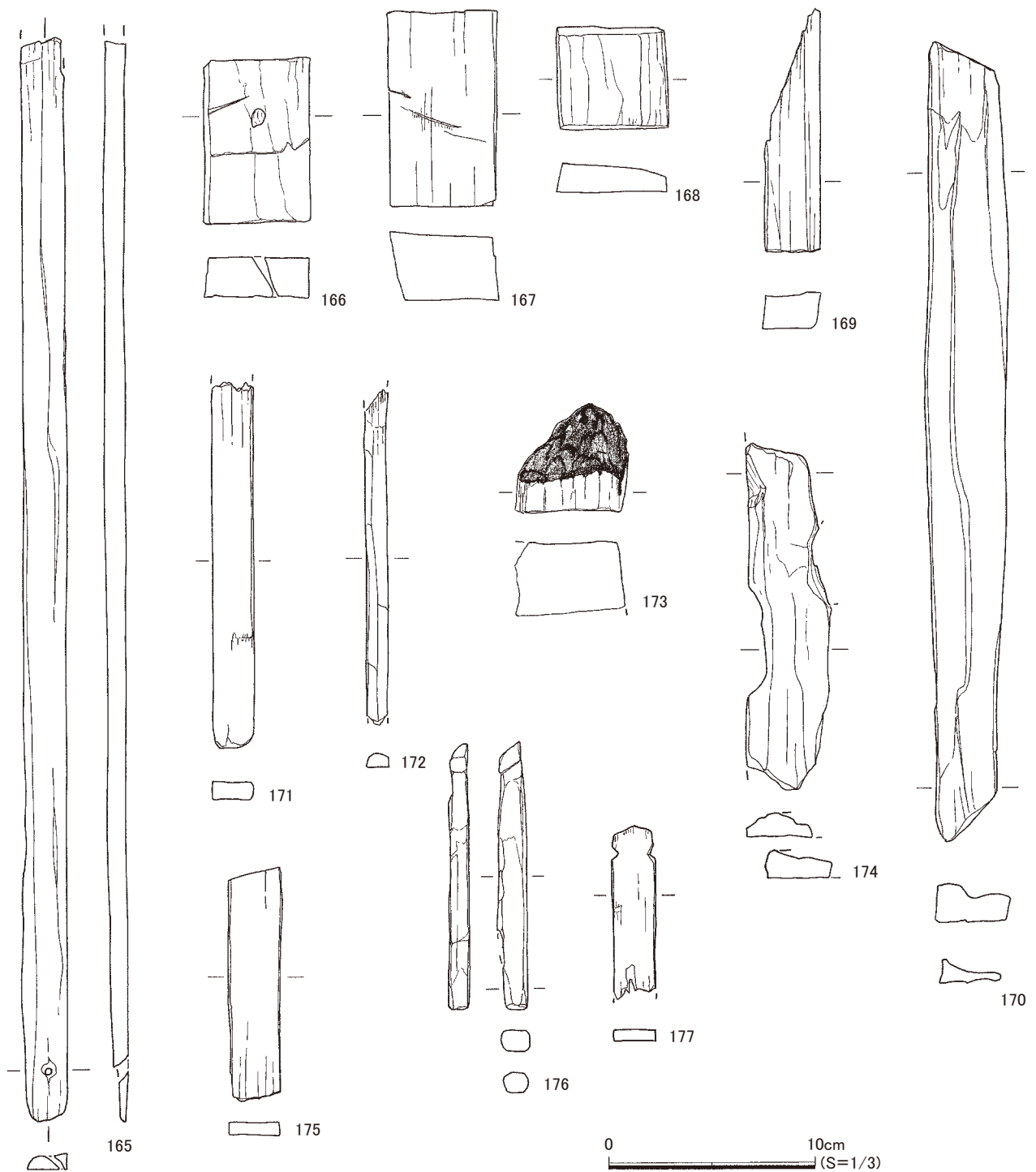


図10 第1面・池状遺構出土遺物(5)

瀬戸平碗、47は縁釉小皿、48は瀬戸折縁小皿、49・50は瀬戸卸皿、51は山茶碗、52は常滑甕、53・54は常滑片口鉢Ⅱ類、55は備前播鉢、56は亀山甕、57は瓦器質火鉢、58は石製品硯、59は石製品砥石、60～63は鉄製品釘、64は鉄製品鍋、65～68は銭。その他にかわらけ・瀬戸器種不明・常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類、Ⅱ類・亀山甕・土器質火鉢が破片で出土している。

・土坑4(図15)

調査区外に遺構が延び規模は不明。長軸144cm・短軸(67)cm・深さ42cmを測る。遺構覆土は泥岩粒、泥岩を含む灰褐色弱粘質土。出土遺物はかわらけが破片で出土している。

・土坑6(図13)

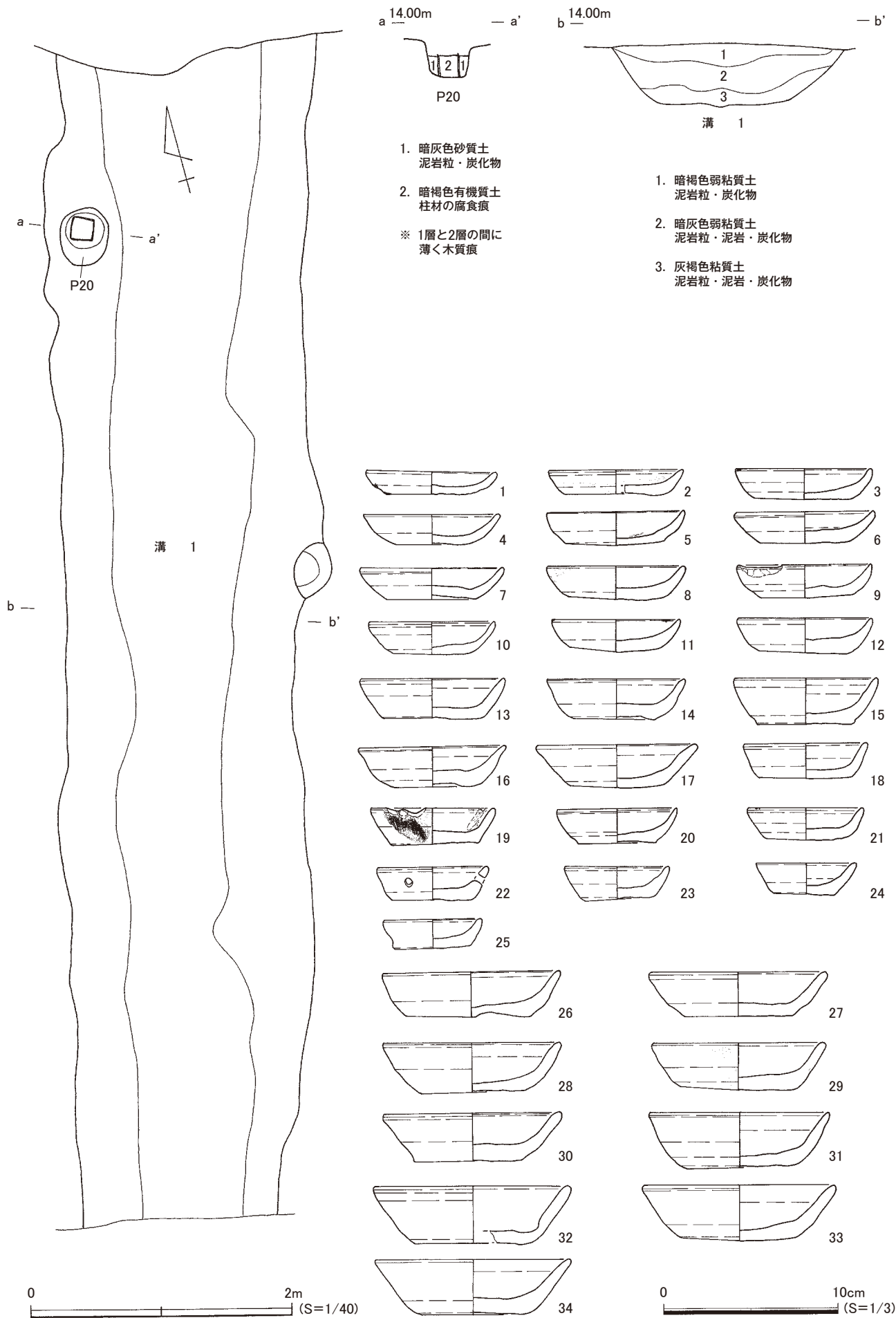


図11 第1面・溝1・ピット20・溝1出土遺物(1)



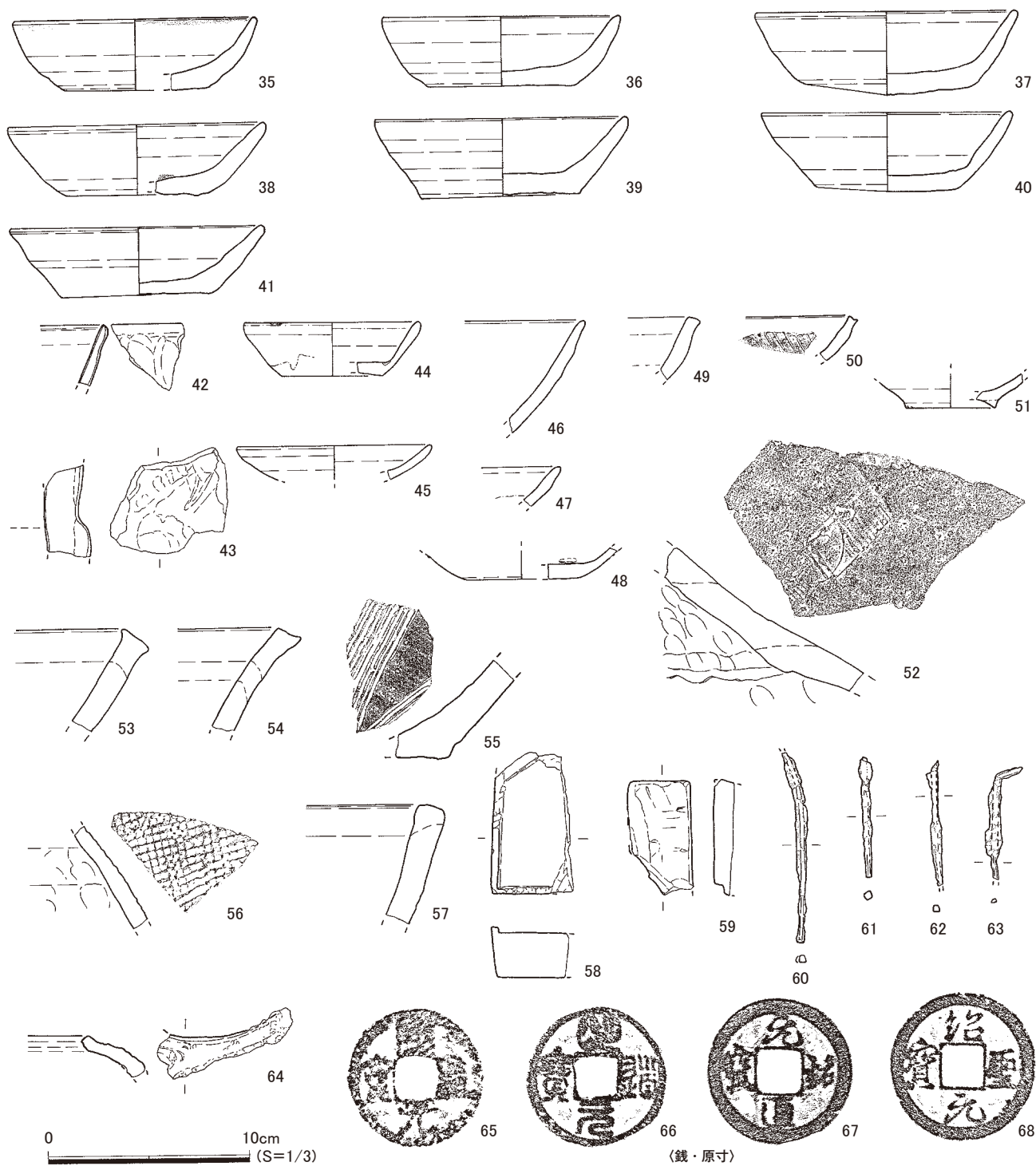


図12 第1面・溝1出土遺物(2)

長軸73cm・短軸64cm・深さ19cmを測り、円形を呈する。底面に常滑甕が据えられていたが、現代埋土によって遺構上部は大きく削平を受けていた。甕の口縁部の形状が2種類出土している。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗灰褐色弱粘質土。

・出土遺物(図13)

1～7は常滑甕、8は亀山甕、9・10は瓦器質火鉢、11は石製品硯。その他かわらけ・鉄製品不明が破片で出土している。

・土坑7(図15)

長軸113cm・短軸95cm・深さ11cmを測り、楕円形を呈する。遺構内にピット49、ピット70を有する。



图13 第1面·土坑6·出土遗物

遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。出土遺物は、かわらけ・常滑甕・瓦器質火鉢が破片で出土している。

#### ・土坑8 (図15)

土坑11・ピット62・ピット63を切る。長軸126cm・短軸115cm。深さ24cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む明茶灰色弱粘質土。遺物はかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

#### ・土坑11 (図15)

土坑8に切られる。長軸(70)cm・短軸72cm・深さ13cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は微量の泥岩粒を含む茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

#### ・土坑12 (図15・図16)

土坑13・土坑15を切る。長軸67cm・短軸55cm・深さ24cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩・褐鉄を含む灰茶色弱粘質土。

#### ・出土遺物 (図16)

4・5はかわらけ。6は常滑甕。

#### ・土坑13 (図15)

土坑12・土坑14に切られる。長軸79cm・短軸(40)cm・深さ14cmを測り、楕円形を呈する。遺構底部に不整形な砂質凝灰岩が遺存する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物多量を含む灰褐色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

#### ・土坑14 (図15)

土坑13を切る。長軸53cm・短軸(38)cm・深さ19cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・褐鉄・炭化物多量を含む灰褐色弱粘質土。遺物はかわらけ・常滑甕・山茶碗が破片で出土している。

#### ・土坑15 (図15・図16)

遺構12に切られる。長軸54cm・短軸(47)cm・深さ10cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む灰褐色弱粘質土。

#### ・出土遺物 (図16)

7は常滑甕。

#### ・土坑40 (図14)

調査区外に遺構が延びているため規模は不明となった。深さ55cmを測る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。遺構底面に常滑の甕が据えられていたが、甕上部は大半が散逸し遺存していなかった。

#### ・出土遺物 (図14)

1はかわらけ、2は常滑甕。その他に遺物は出土していない。

#### ・溝状土坑1 (図15)

東西に延びる溝状の土坑である。ピット21に切られる。遺構の西側は調査区外に延びてしまい規模は不明。長さ330cm・幅25～28cm・深さ5～10cmを測る。遺構覆土は泥岩粒、泥岩、炭化物を含む茶褐色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

#### ・溝状土坑2 (図15)

遺構の東は溝1に切られ、西は調査区外に遺構延びてしまっていたために規模は不明。長さ(412)cm・幅57～65cm・深さ25～32cm。底面レベルが東に向かって緩やかに下がることを確認した。遺構覆土は泥岩粒、炭化物を含む暗灰褐色弱粘質土。出土遺物はない。

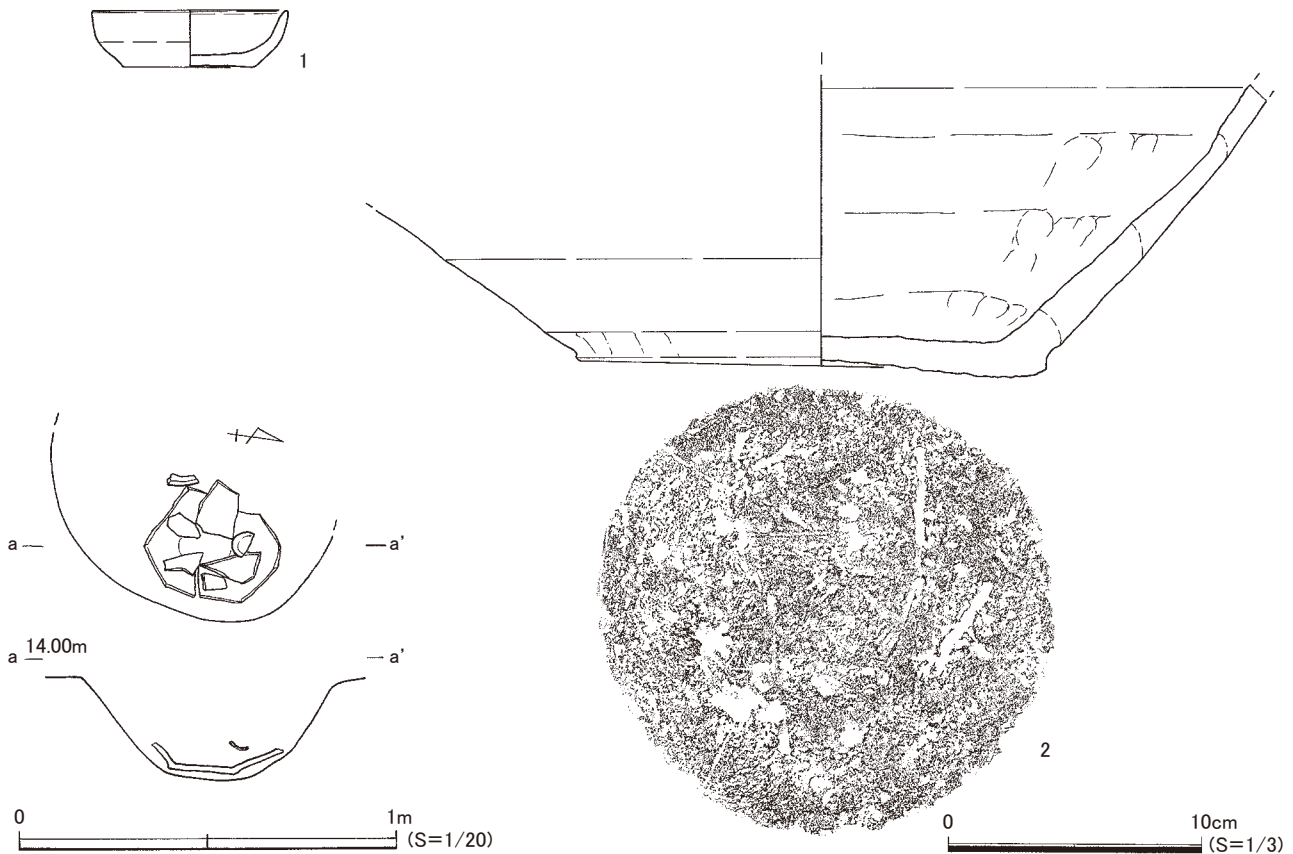


図14 土坑40・出土遺物

・溝状土坑3 (図15・図16)

溝状土坑1に切られる。長さ(100)cm・幅(48)cm・深さ19cm。遺構覆土は泥岩粒、泥岩、炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物 (図16)

1はかわらけ・2は常滑甕・3は石製品硯。

・ピット8 (図15・図16)

ピット24・ピット41を切る。長軸43cm・短軸40cm・深さ17cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物 (図16)

8はかわらけ・9は天目茶碗。

・ピット20 (図11)

長軸45cm・短軸35cm・深さ6cmを測り、楕円形を呈する。遺構中央に方形に残る堆積土があり、堆積土四周に薄く木質が残存していた。柱痕であったと考えている。柱は約17cm×17cmを測る大型の柱であった。遺構覆土は泥岩粒・炭化物・褐色有機質土を含む暗褐色弱粘質土。遺物はかわらけ・常滑甕・鉄製品不明が破片で出土している。

・ピット21 (図15)

溝状土坑1、ピット22を切る。長軸47cm・短軸42cm・深さ20cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

・ピット22 (図15)

遺構21に切られる。長軸45cm・短軸(30)cm・深さ18cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒



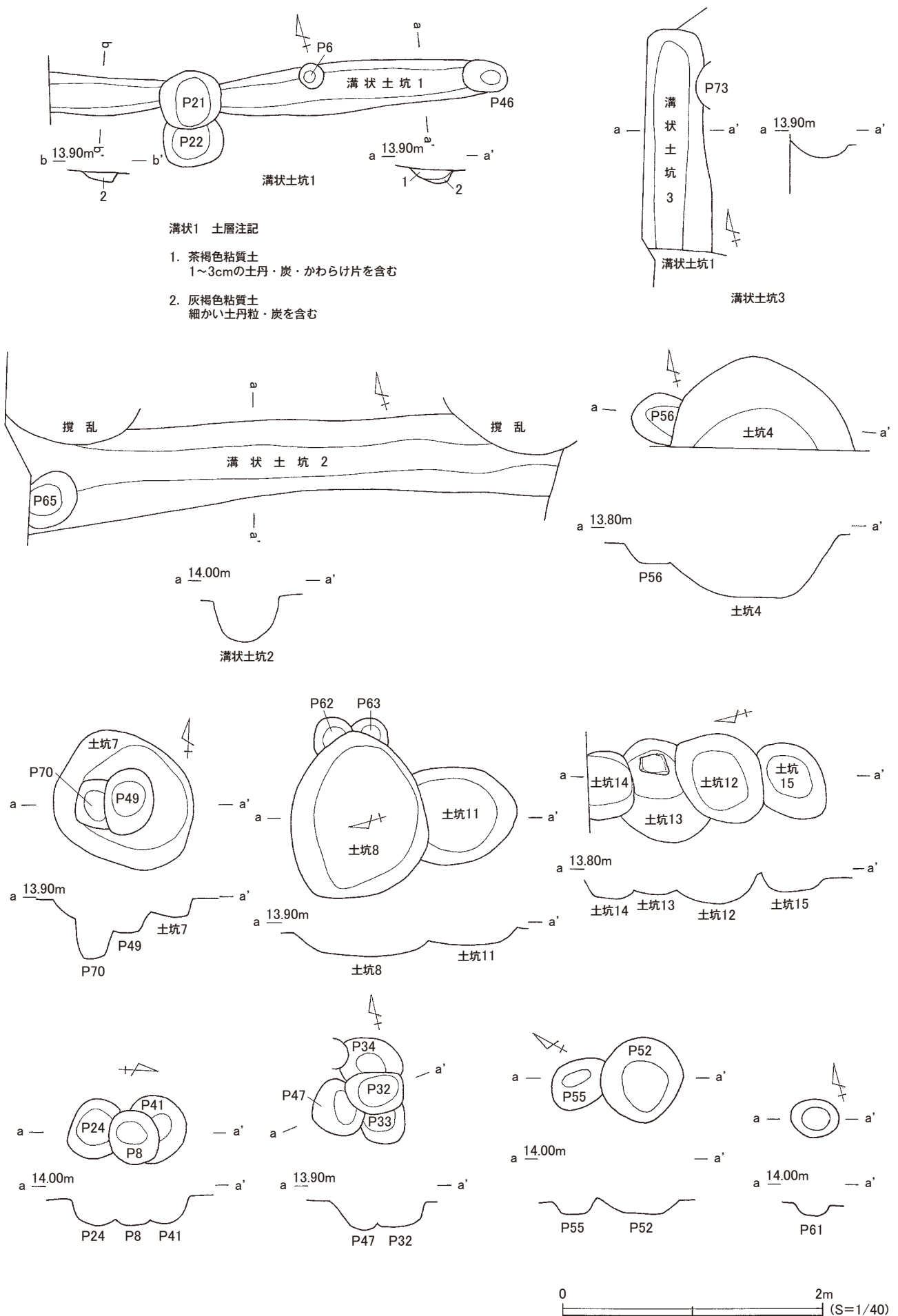


図 15 第 1 面個別遺構図

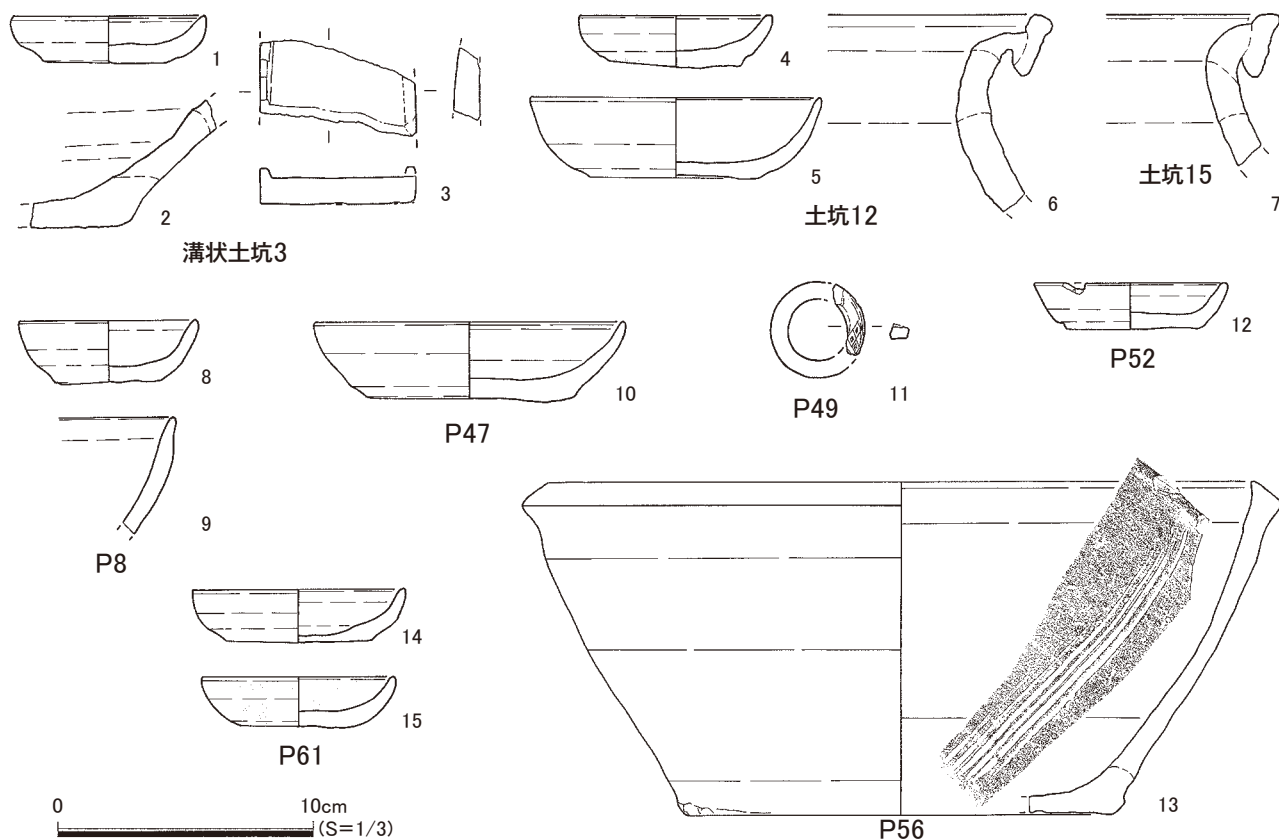


図16 第1面・遺構出土遺物

を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけ、常滑甕が破片で出土している。

・ピット24 (図15)

ピット8に切られる。長軸47cm・短軸38cm・深さ18cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む灰褐色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

・ピット32 (図15)

ピット33・ピット34・ピット47を切る。長軸(45)cm・短軸(32)cm・深さ14cmを測る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

・ピット33 (図15)

ピット32・ピット47に切られる。長軸35cm・短軸(24)cm・深さ15cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物多量を含む灰褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・ピット34 (図15)

ピット32に切られる。長軸44cm・短軸(28)cm・深さ12cmを測り。楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。遺物は土製品器種不明が破片で出土している。

・ピット41 (図15)

ピット8に切られる。長軸48cm・短軸(24)cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけと白かわらけが破片で出土している。

・ピット47 (図15・図16)

ピット32に切られる。長軸43cm・短軸(42)cm・深さ5cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・暗灰褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図16)

10はかわらけ。その他に常滑甕・瓦が破片で出土している。

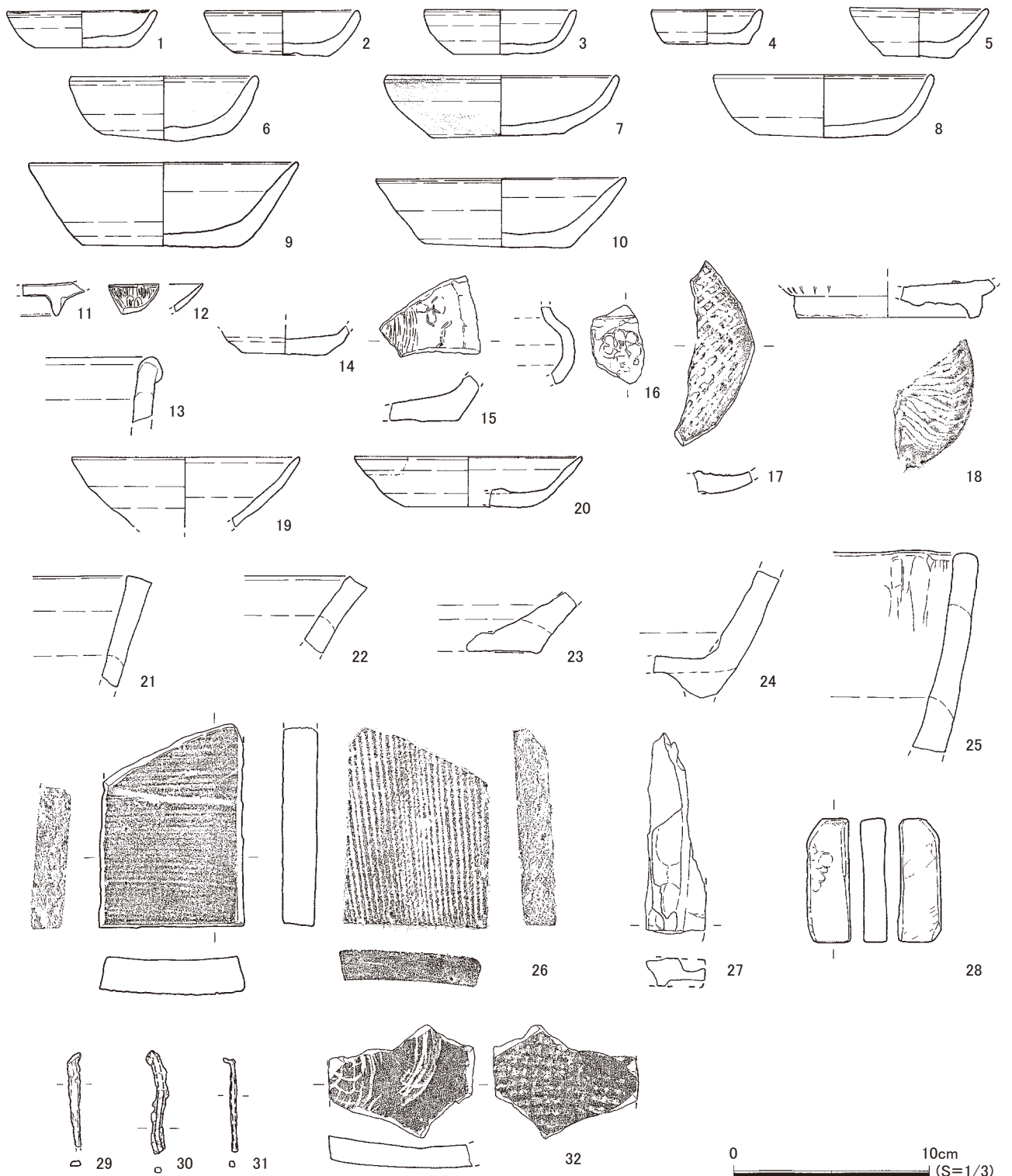


図17 第1面・面上出土遺物

・ピット49 (図15・図16)

長軸48cm・短軸30cm・深さ25cmを測り、楕円形を呈する。ピット70を切る。遺構覆土は泥岩・泥岩粒・炭化物を含む暗灰褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図16)

11は骨角製品。

・ピット52 (図15・図16)

ピット55を切る。長軸65cm・短軸65cm・深さ12cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥

岩を含む灰褐色弱粘質土。

・**出土遺物 (図 16)**

12はかわらけ。

・**ピット 55 (図 15)**

ピット 52 に切られる。長軸 (38) cm ・短軸 34cm ・深さ 14cm を測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒 ・泥岩 ・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・**ピット 56 (図 15 ・ 図 16)**

土坑 4 に切られる。長軸 39cm ・短軸 (35) cm ・深さ 18cm を測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒 ・泥岩を含む暗灰色弱粘質土。

・**出土遺物 (図 16)**

13は備前播鉢。その他にかわらけが破片で出土している。

・**ピット 61 (図 15 ・ 図 16)**

長軸 36cm ・短軸 30cm ・深さ 9 cm を測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒 ・泥岩 ・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。

・**出土遺物 (図 16)**

14 ・ 15はかわらけ。その他に土器質火鉢が出土している。

・**ピット 62 (図 15)**

土坑 8 に切られる。長軸 32cm ・短軸 (28) cm ・深さ 10cm を測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒少量を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物はない。

・**ピット 63 (図 15)**

土坑 8 に切られる。長軸 28cm ・短軸 (15) cm ・深さ 10cm を測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒少量を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物はない。

・**ピット 65 (図 15)**

溝状土坑 2 を切る。長軸 44cm ・短軸 (32) cm ・深さ 13cm を測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒 ・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。出土遺物はない。

・**ピット 70 (図 15)**

ピット 49 に切られる。長軸 39cm ・短軸 37cm ・深さ 38cm を測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒 ・泥岩を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけ、常滑甕が破片で出土している

・**第 1 面面上出土遺物 (図 17)**

第 1 面の遺構精査時に出土した遺物である。

1 ～ 10はかわらけ。11は青磁折腰皿 ・ 12は白磁印花文皿 ・ 13は褐釉壺 ・ 14は瀬戸器種不明 ・ 15は瀬戸折縁皿 ・ 16は瀬戸壺 ・ 17は瀬戸卸皿 ・ 18は瀬戸底卸目皿 ・ 19は瀬戸碗 ・ 20は瀬戸縁釉小皿 ・ 21 ～ 23は常滑片口鉢Ⅱ類 ・ 24 ・ 25は瓦器質火鉢 ・ 26は瓦転用品 ・ 27は石製品硯 ・ 28は滑石鍋転用品 ・ 29 ～ 31は鉄製品釘 ・ 32は須恵器甕転用品。

・**第 1 面構成土出土遺物 (図 18 ～ 図 19)**

第 1 面検出後、第 2 面掘り下げ時に出土した遺物である。

1 ～ 35はかわらけ ・ 36は白かわらけ ・ 37は青磁鎬蓮弁文碗 ・ 38は青磁皿 ・ 39 ～ 40は青磁折縁鉢 ・



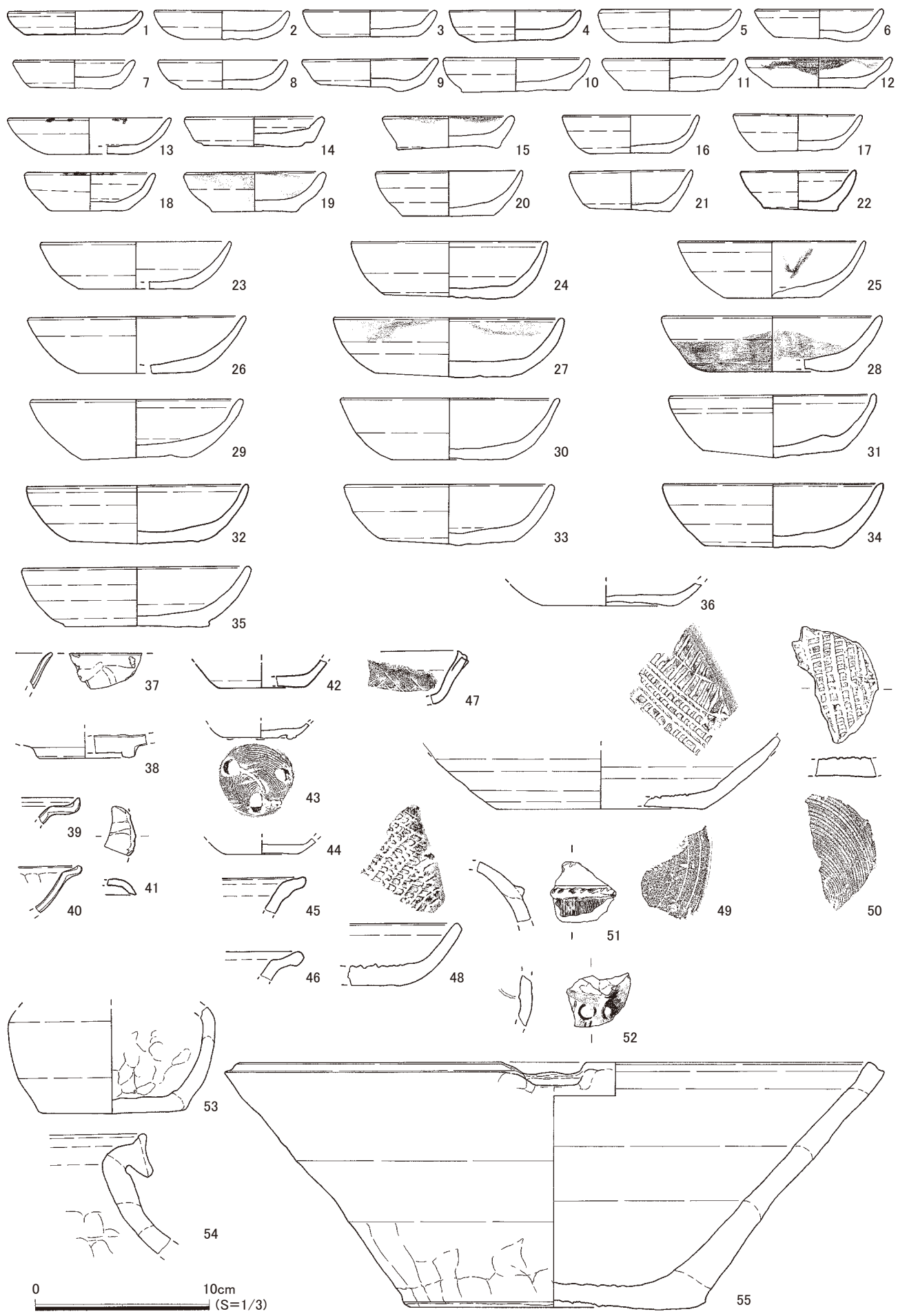


图 18 第 1 面構成土出土遺物 (1)

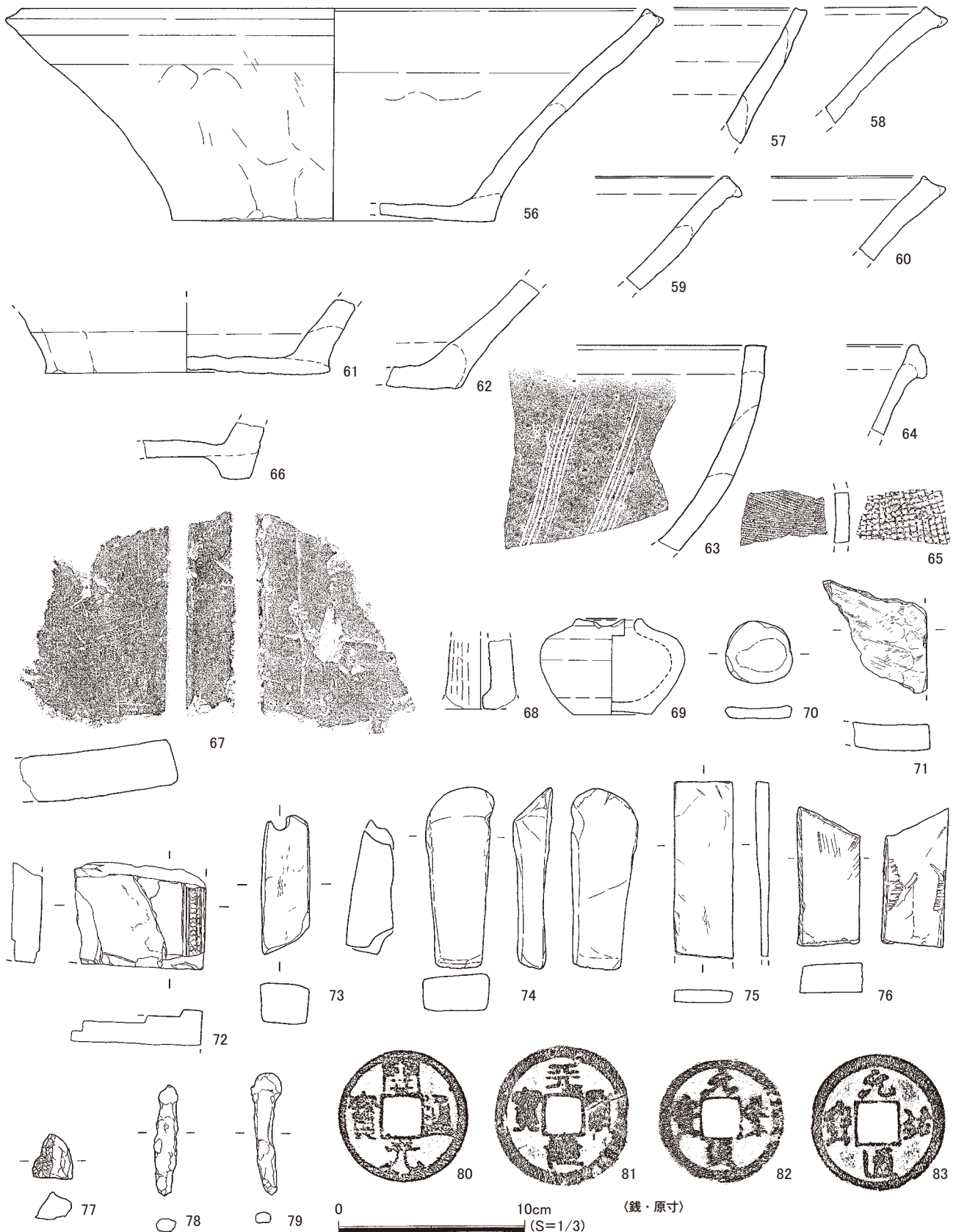


図19 第1面構成土出土遺物(2)

41は青白磁合子蓋・42～44は瀬戸入子・45～46は瀬戸折縁皿・47～50は瀬戸卸皿・51は瀬戸壺・52は瀬戸水注・53は常滑壺・54は常滑甕・55～62は常滑片口鉢Ⅱ類・63は備前播鉢・64は東幡系鉢・65は亀山甕・66は瓦器質火鉢・67は平瓦・68は瓦器質燭台の脚・69は土器質壺・70はかわらけ転用品・

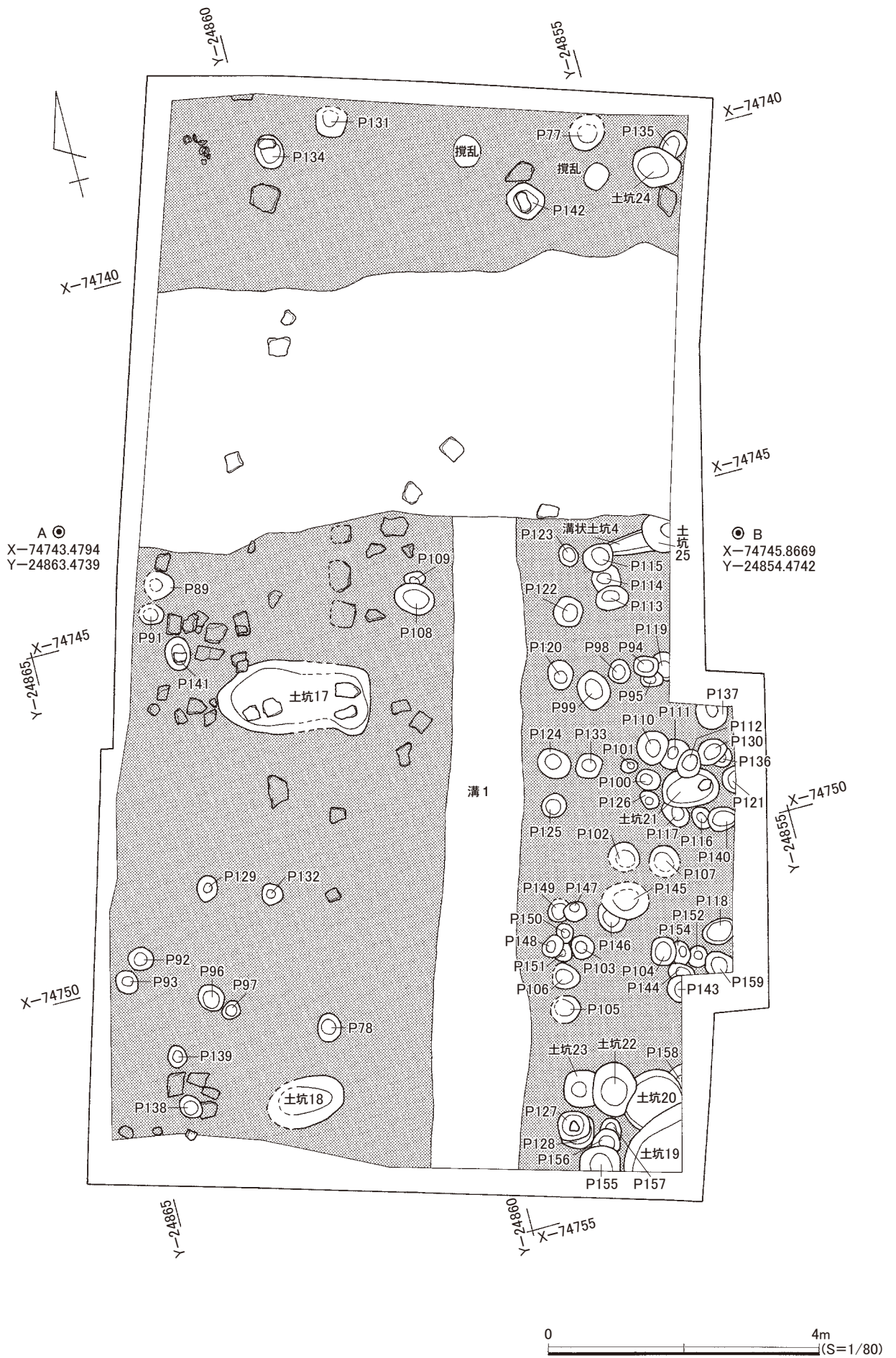


図20 第2面全測図

71は滑石製鍋転用品・72は石製品硯・73～76は石製品砥石・77はチャート・78～79は鉄製品釘・80～83は銭。

## 2. 第2面の遺構と遺物 (図20～図24)

第2面は泥岩粒・泥岩を含む堅く締まった地業層上で検出したが、大型の不整形な泥岩が地業土に多く混入し、やや雑な印象を受ける。発見した遺構は溝状土坑1基・土坑9基・ピット69穴である。検出したピットの多くは、第1面で検出した南北に走る溝1の東側に集中する。また、地業の様相は第1面同様に溝1の東側はかわらけ細片を地業層内に多く含み、西側は薄い炭化物層が地業全体に広がり、やや大型の不整形な泥岩が地業層上に散逸する粗い地業であった。出土遺物はかわらけ(ロクロ成形・手づくね成形)をはじめ、白磁、青白磁、瀬戸、常滑、渥美、山茶碗、瓦、石製品(砥石・硯)、鉄製品、銭が見られた。第2面確認レベルは海拔約13.60mである。

### ・溝状土坑4 (図22)

土坑25、ピット115に切られる。長軸(52)cm・短軸28cm・深さ18cmを測る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物少量を含む灰褐色弱粘質土。

### ・出土遺物 (図22)

1～2はかわらけ。

### ・土坑17 (図21)

第1面で検出した南北に走る溝1の西側で確認した遺構である。長軸247cm・短軸138cm・深さ10～15cmを測る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩多量・炭化物多量を含む暗灰色弱粘質土。深度は浅い遺構であったが、覆土内にかわらけが大量に含まれ意図的にかわらけを廃棄したと思われる。

### ・出土遺物 (図21)

1～21はかわらけ・22は白磁壺・23～25は常滑片口鉢Ⅱ類・26はかわらけ転用品・27は鉄製品釘・28は銭。図示したかわらけは22点だが、その他に破片でかわらけ145個、瓦、骨(獣骨)、貝が出土している。

### ・土坑22 (図22)

長軸78cm・短軸58cm・深さ24cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒多量・泥岩を含む暗灰色弱粘質土。

### ・出土遺物 (図22)

3～4はかわらけ。その他に破片で土器質火鉢が出土している。

### ・土坑24 (図22)

ピット109を切る。長軸64cm・短軸61cm・深さ17cmを測り、不正円形を呈する。遺構覆土は泥岩を含む灰褐色弱粘質土。

### ・出土遺物 (図22)

5は白磁壺。その他に破片でかわらけが出土している。

### ・ピット71 (図20)

遺構プランのみの確認であり、個別に図示は出来なかったが、遺構底面に安山岩を3個積み重ねた状態を確認している。検出状況から第2面より上層の遺構であった可能性がある。出土遺物はない。

### ・ピット106 (図22)



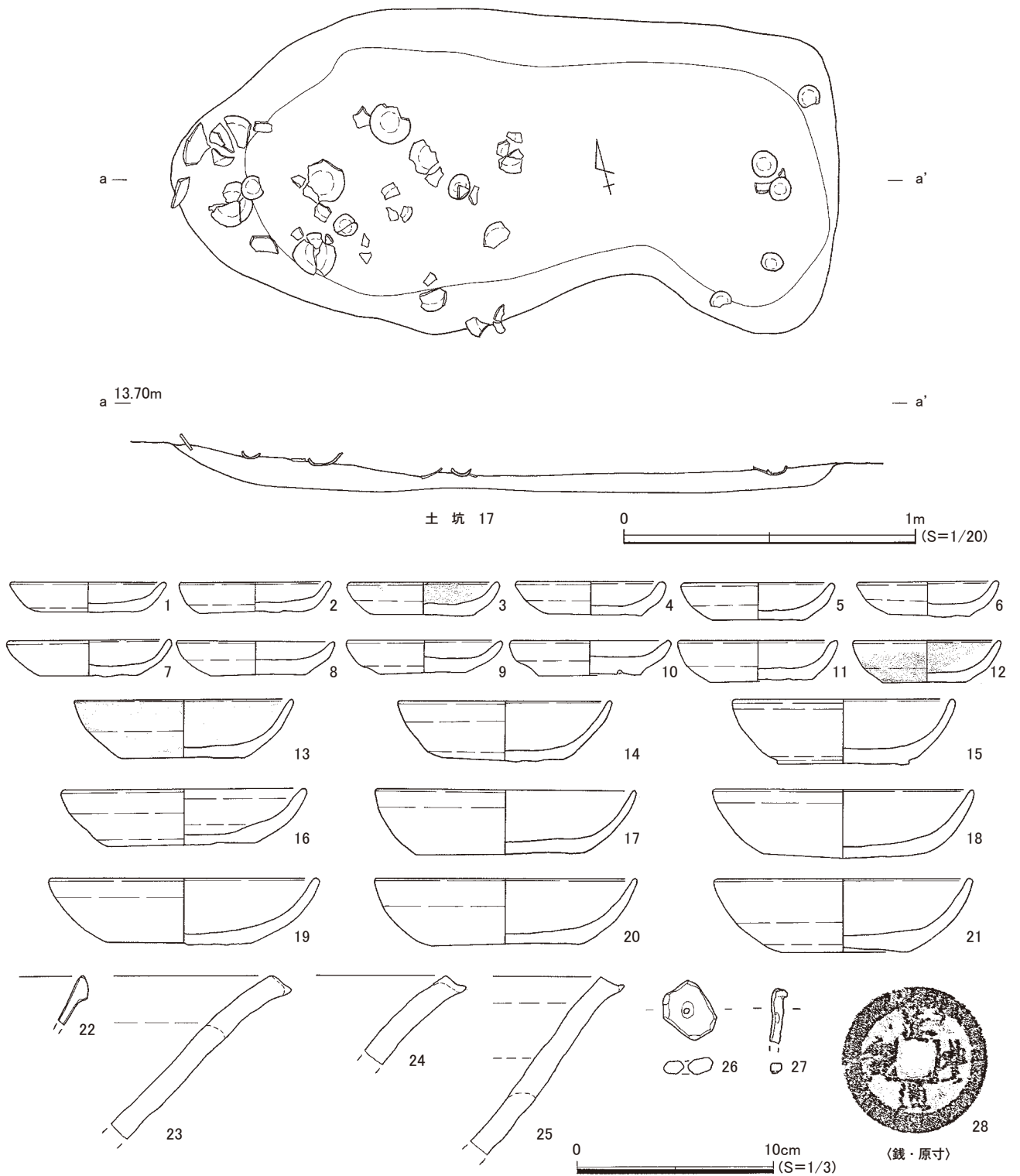


図21 第2面・土坑17・出土遺物

長軸(37)cm・短軸30cm・深さ19cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は炭化物を多く含む灰褐色弱粘質土。

・出土遺物(図22)

6～7はかわらけ。

・ピット109(図22)

土坑24に切られる。長軸31cm・短軸(17)センチ・深さ7cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物はない。

・ピット122(図22)

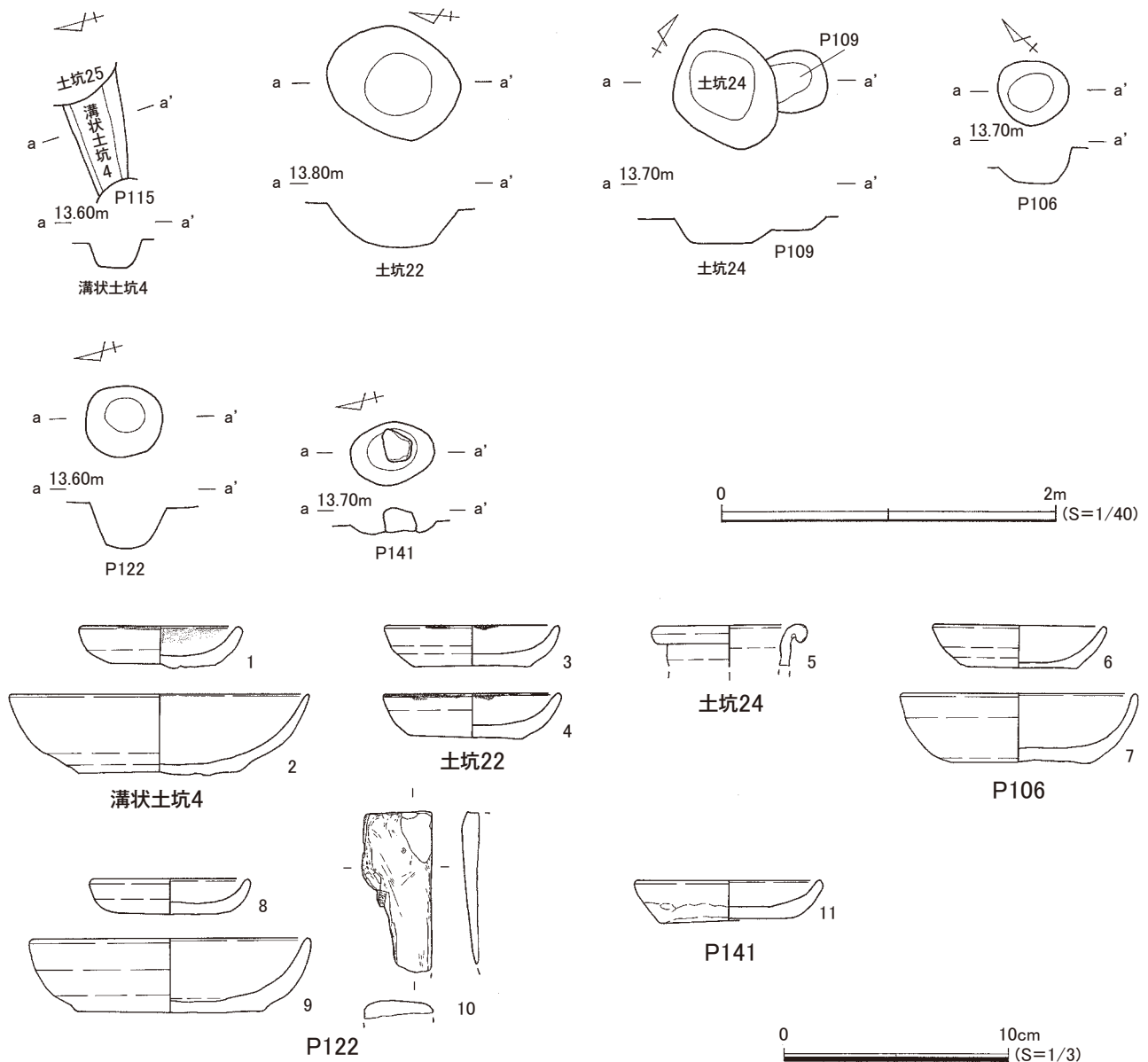


図22 第2面・個別遺構図・出土遺物

長軸44cm・短軸40cm・深さ11cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は大型泥岩を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物(図22)

8～9はかわらけ・10は石製品砥石。

・ピット141(図22)

長軸50cm・短軸37cm・深さ7cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は炭化物を多く含む暗灰色弱粘質土。遺構底部には不整形ではあったが砂質凝灰岩が遺存していた。

・出土遺物(図22)

11はかわらけ。その他に破片で常滑甕が出土している。

・第2面面上出土遺物(図23)

第2面精査時に出土した遺物である。

1～12はかわらけ・13は瀬戸皿・14は常滑壺・15は常滑片口鉢Ⅱ類・16～17は銭。

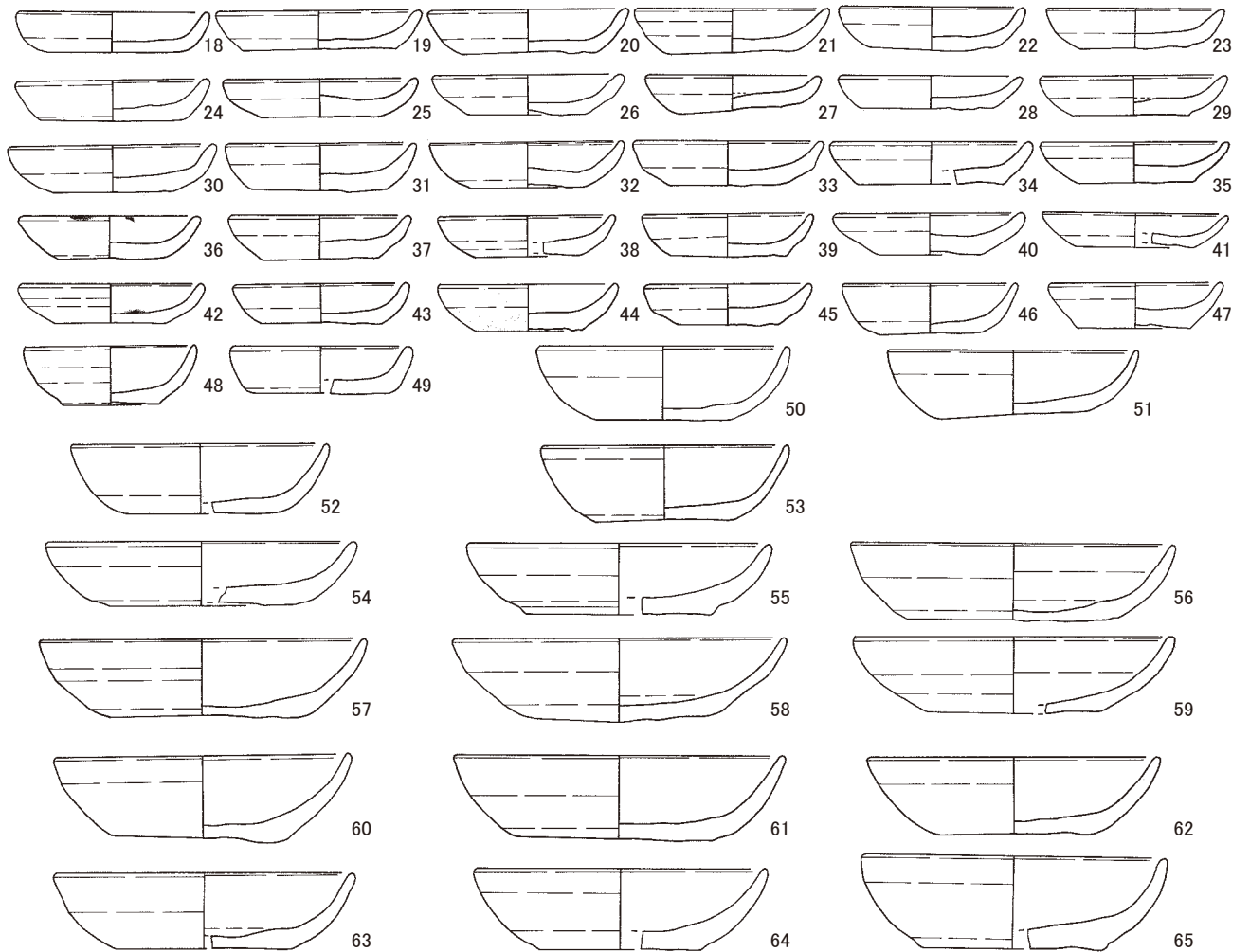
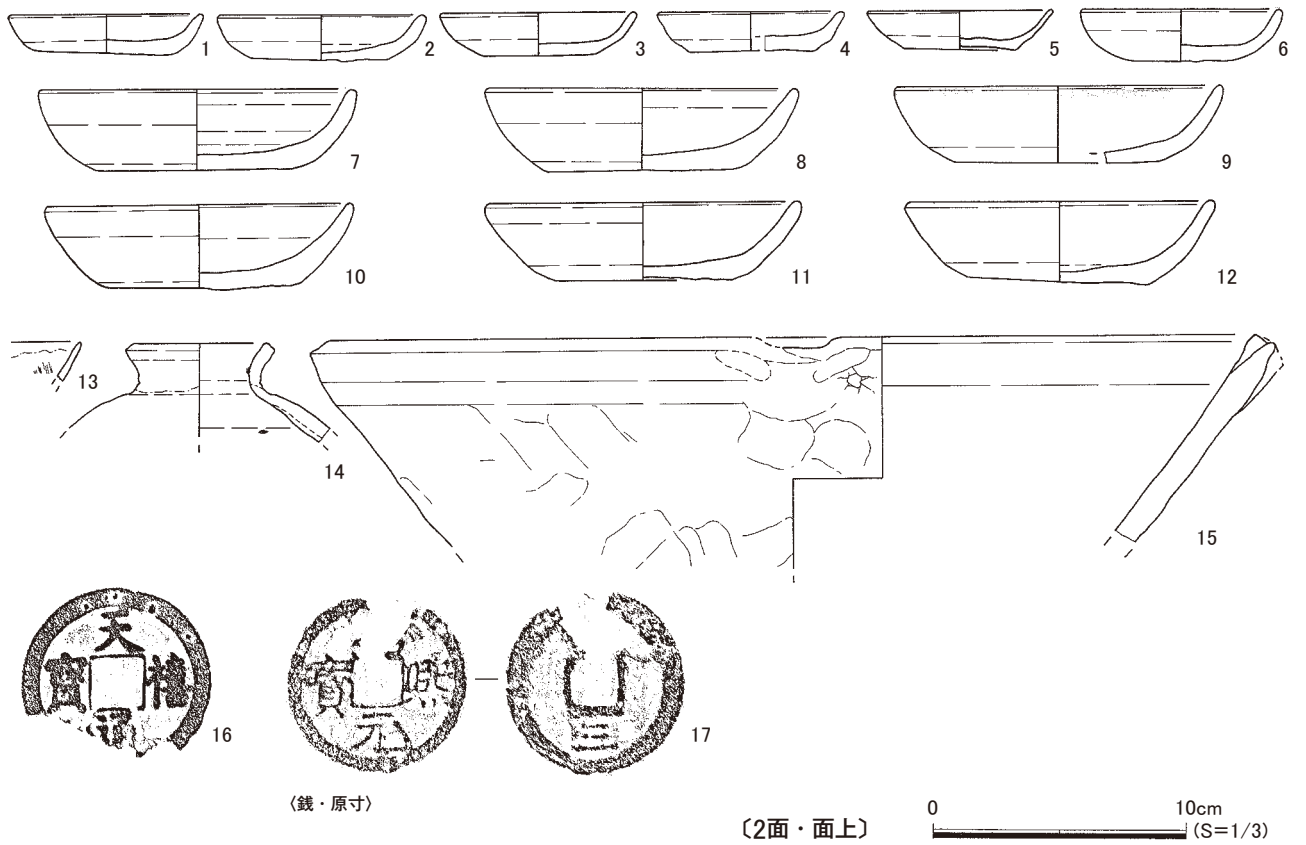


図23 第2面面上・構成土出土遺物(1)

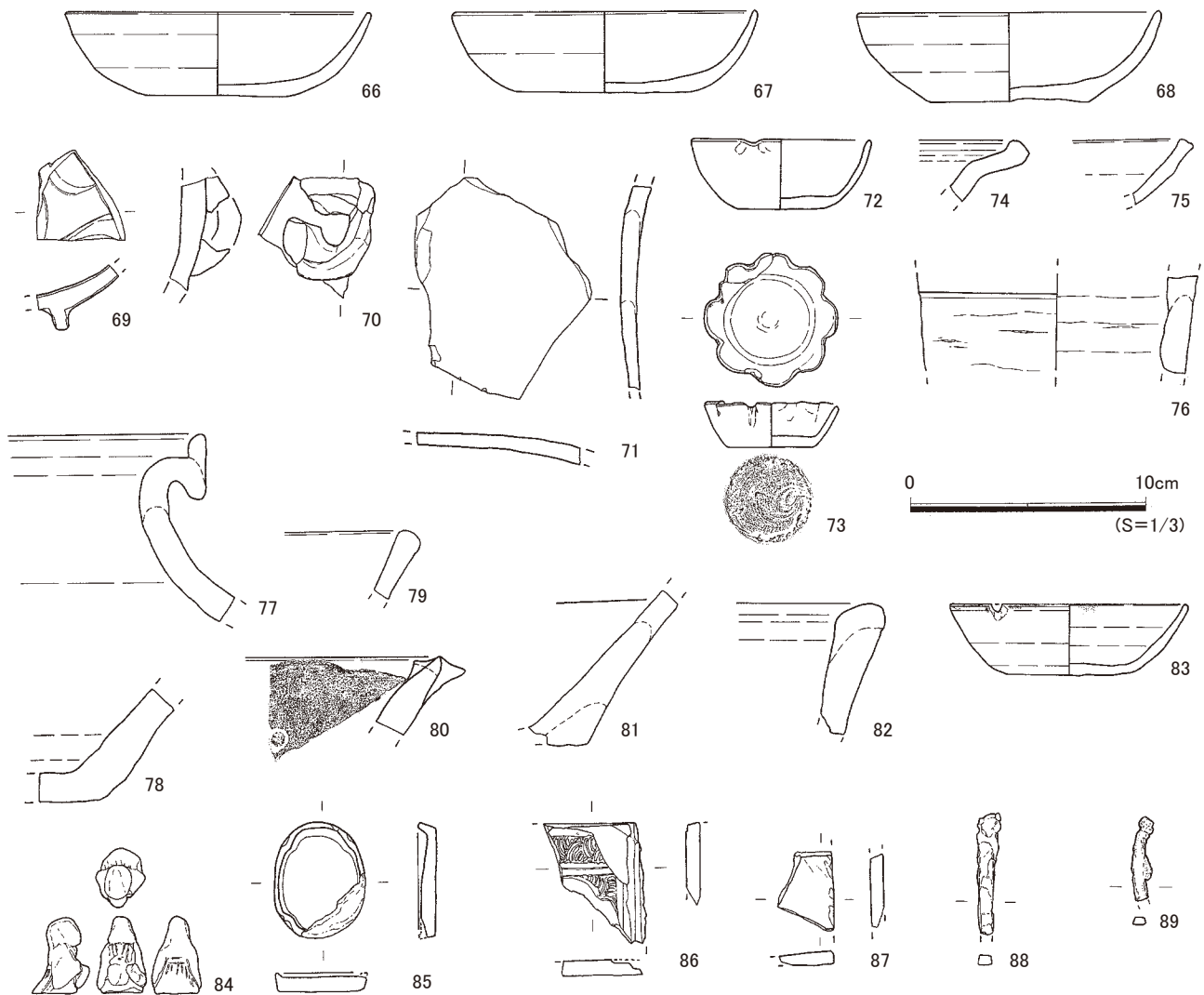


図24 第2面構成土出土遺物(2)

・第2面構成土出土遺物(図23・図24)

第2面検出後、第3面掘り下げ時に出土した遺物である。

1～68はかわらけ・69は青磁櫛搔文碗・70～71は褐釉壺、70は壺の耳環部分・72・73は瀬戸入子・74は瀬戸折縁皿・75は瀬戸卸皿・76は瀬戸瓶子・77は常滑甕・78は常滑片口鉢I類・79～81は常滑片口鉢II類・82は土器質火鉢・83はかわらけ・84は土製品、人形・85～86は石製品硯・87は石製品砥石・88～89は鉄製品釘。

3. 第3面の遺構と遺物(図25～図32)

第3面は泥岩粒・泥岩と共に炭化物を多く含む地業層上で検出した。発見した遺構は溝状1条・かわらけ集中出土1基・土坑9基・ピット40穴である。検出したピットの多くは、第2面同様に南北に走る溝1の東側に集中する。地業の様相も第1面・第2面と同じく溝1の西側は薄い炭化物層が地業土全体に広がり、一部約20cmの厚さで炭化物が厚く堆積する範囲を確認している。溝1の東側は西側に比べて地業層内に炭化物の混入が少なく、地業土も西側に比べて泥岩細片を使った丁寧な地業であった。出土遺物はかわらけ(ロクロ成形・手づくね成形)をはじめ、白磁、青白磁、瀬戸、常滑、渥美、山茶



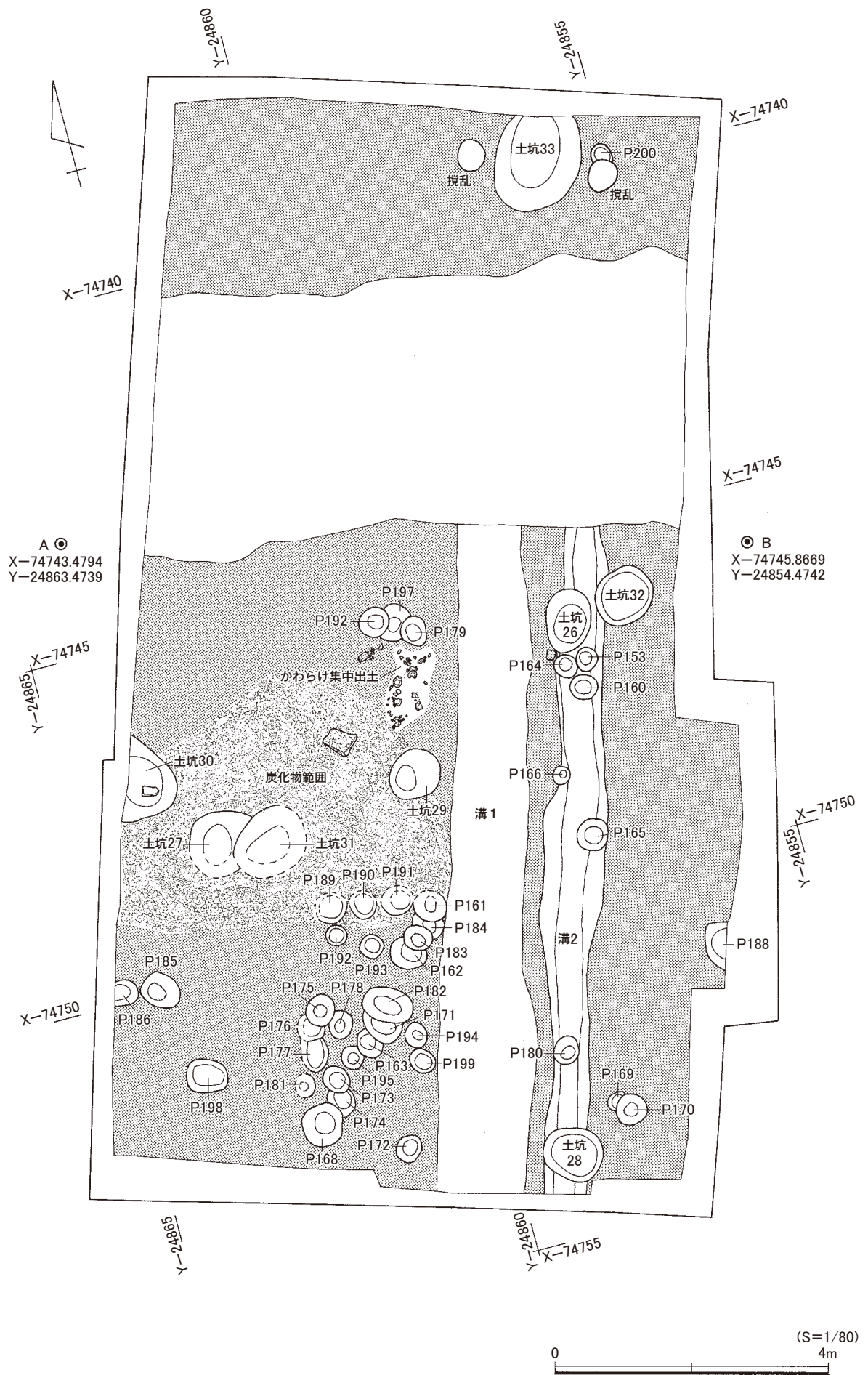


図25 第3面全測図

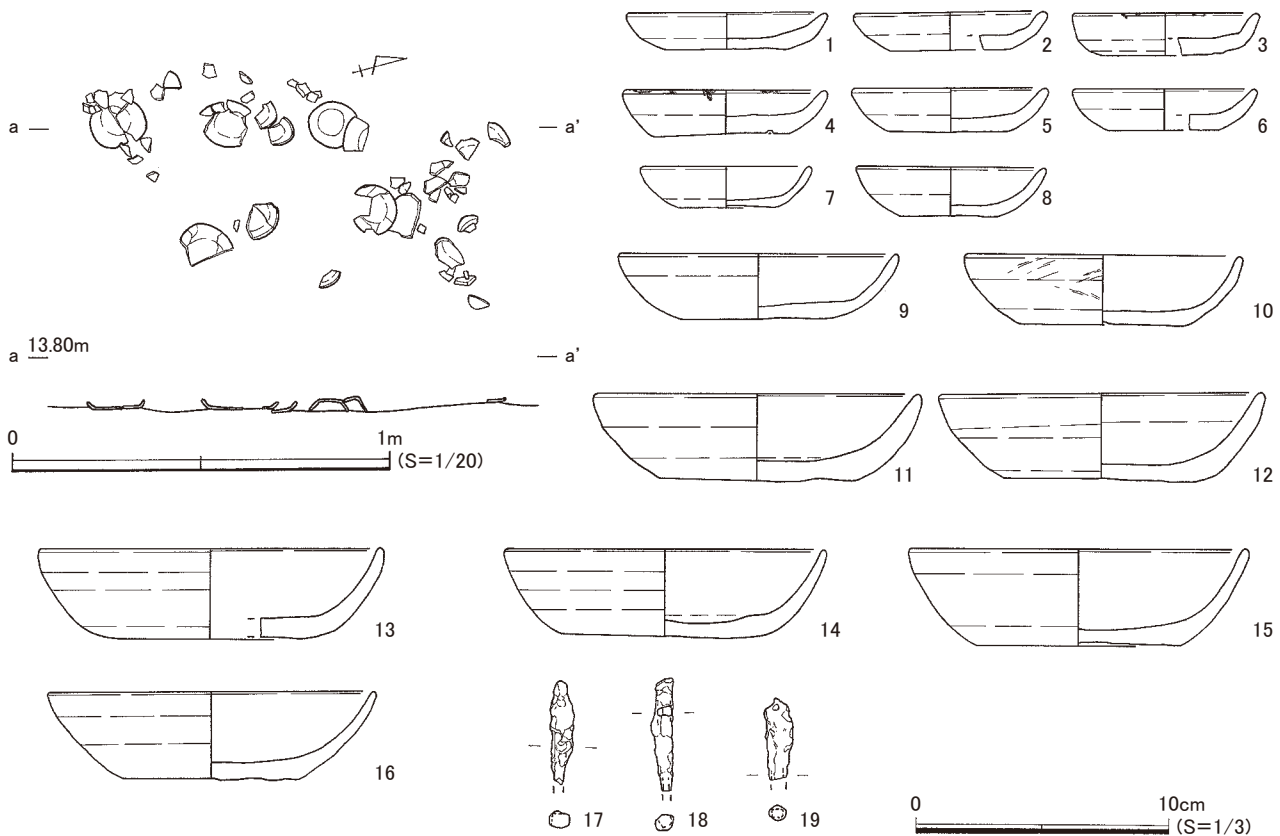


図26 第3面・かわらけ集中出土遺構・出土遺物

碗、瓦、石製品(砥石・硯)、鉄製品、銭が見られた。また、かわらけは破片ではあるが面上から1480個、構成土からは1366個が出土しており、地業土上あるいは、地業層内に数多くのかわらけが見えた。第3面確認レベルは海拔約13.40mである。

#### ・かわらけ集中出土遺構(図26)

第2面で確認した溝1西側の地業層上で検出した遺構である。地業の一環であった可能性もあるが、調査過程でかわらけが第2面地業層を掘りこむ形で集中的に出土したため、遺構として報告している。遺構南に広がる厚く炭化物が堆積する土層同様に、この遺構も多量の炭化物・泥岩粒と一緒にかわらけが出土している。

#### ・出土遺物(図26)

1～16はかわらけ。17～19は鉄製品釘。図示したかわらけは大・小合わせて16点だが、その他に破片で150個のかわらけが出土している。

#### ・土坑26(図27)

溝2を切る。89cm・短軸65cm・深さ11cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒を含む暗灰色弱粘質土。

#### ・出土遺物(図27)

1～3はかわらけ。

#### 土坑29(図27)

長軸77cm・短軸71cm・深さ23cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

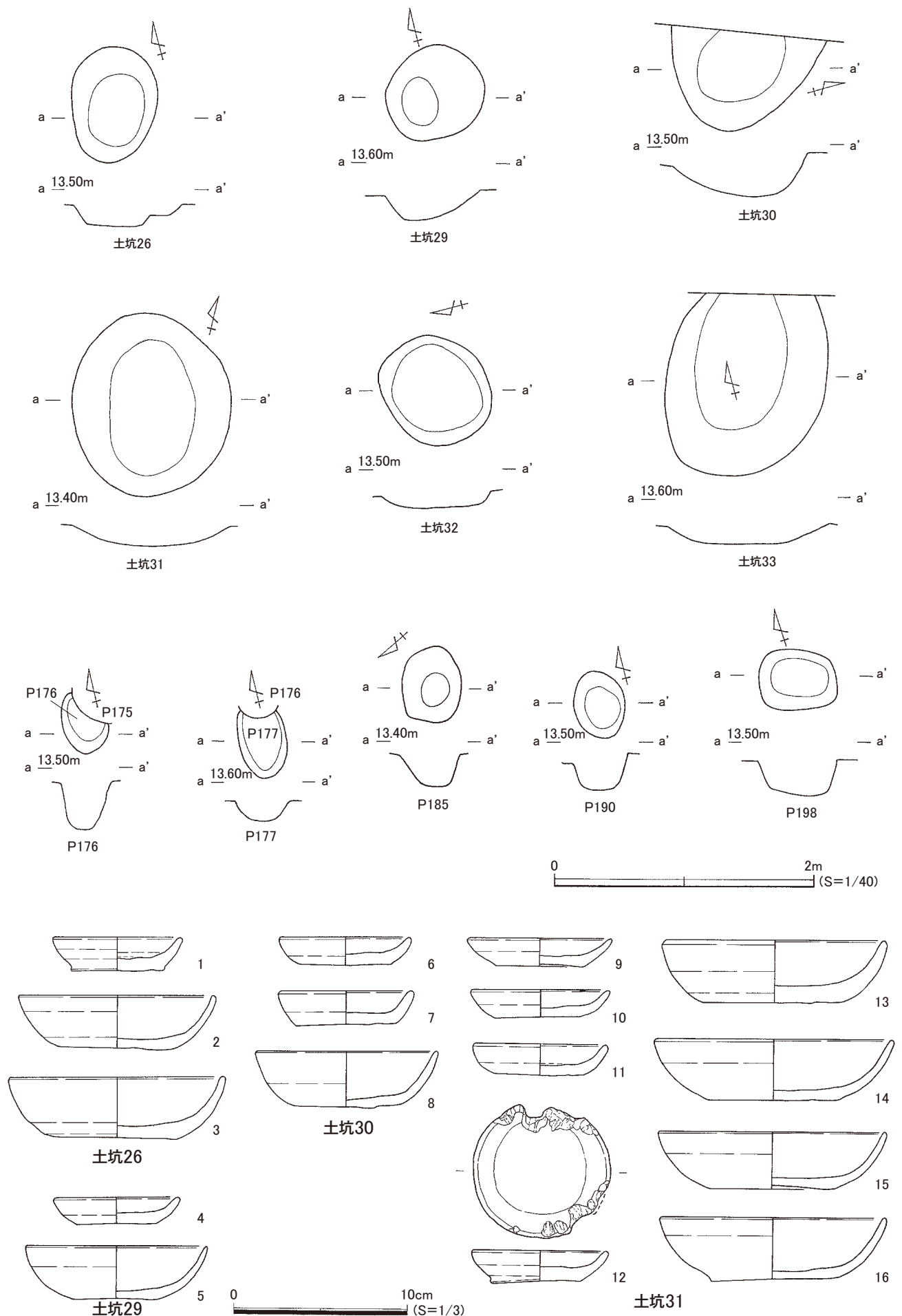
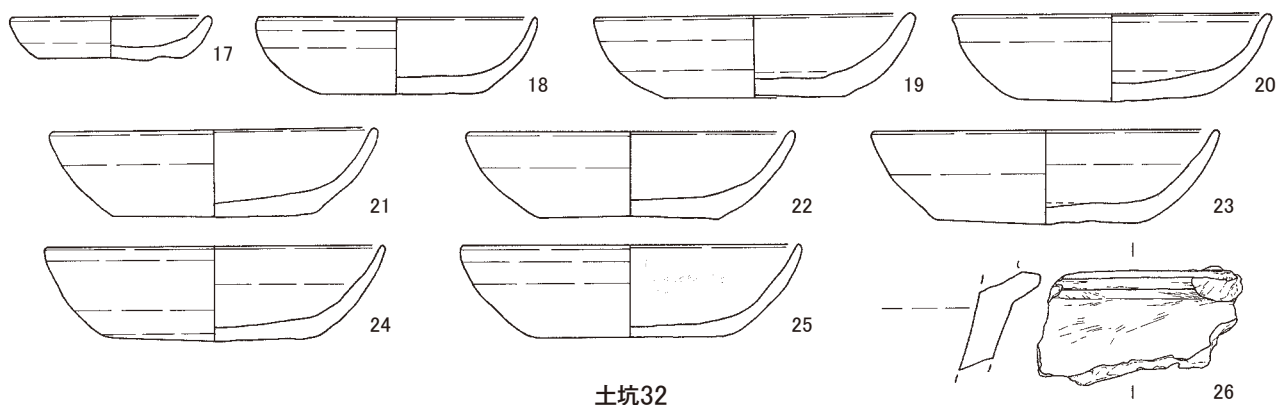
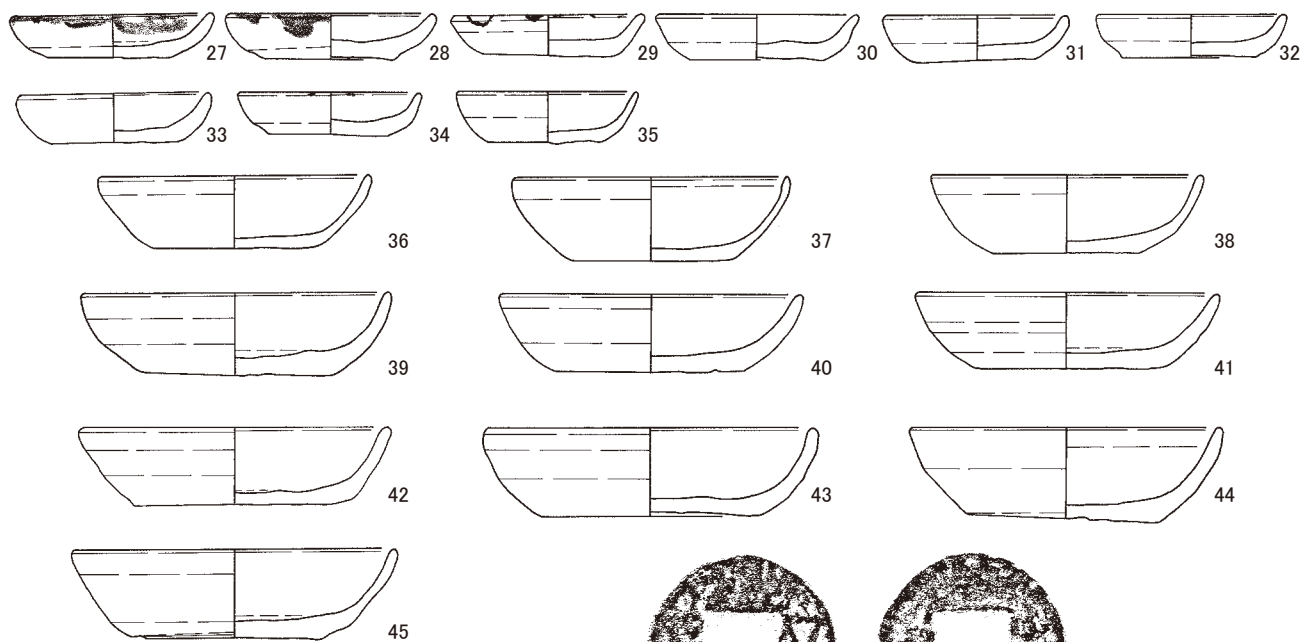


图27 第3面·个别遺構図·出土遺物(1)



土坑32



〈錢·原寸〉

土坑33

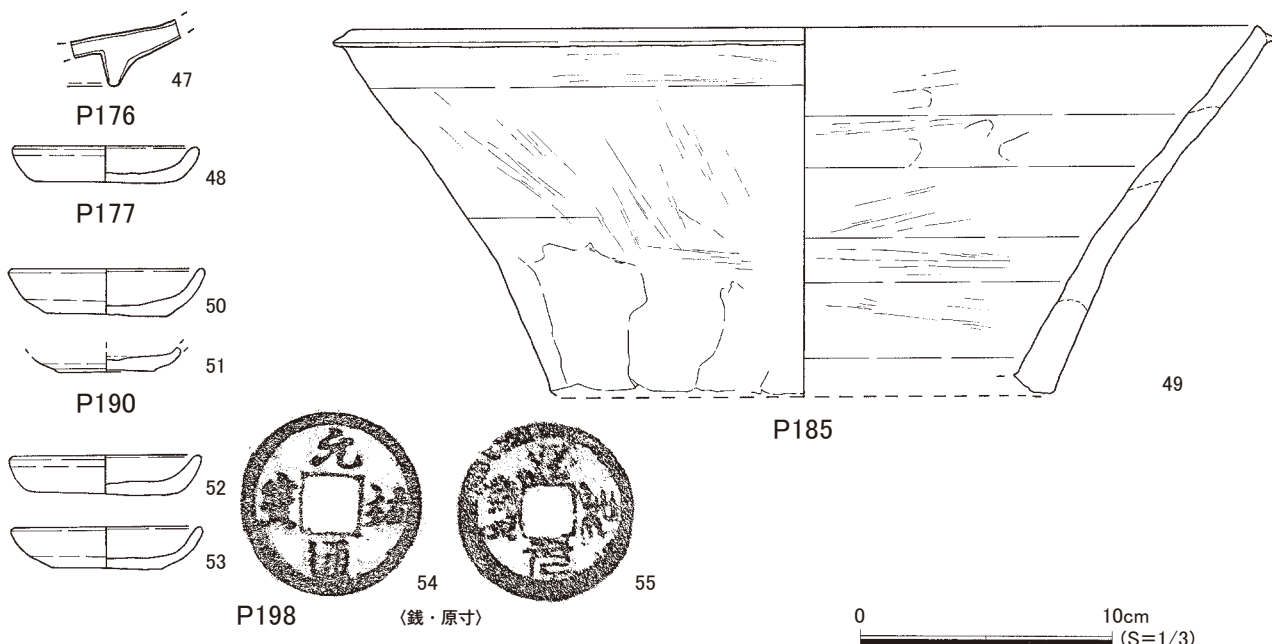


图28 第3面·個別遺構出土遺物(2)



・出土遺物(図27)

・4～5はかわらけ。その他に破片で青磁器種不明が出土している。

**土坑30(図27)**

調査区外に遺構が延びてしまい規模は不明。長軸120cm・短軸(70)cm・深さ20cmを測る。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗茶色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

6～8はかわらけ。その他に破片で常滑甕が出土している。

**土坑31(図27)**

土坑27を切る。長軸(70)cm・短軸(60)cm・深さ10cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

9～16はかわらけ。その他に破片で常滑甕が出土している。

**土坑32(図27・図28)**

溝2を切る。長軸86cm・短軸78cm・深さ10cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

17～25はかわらけ。26は滑石鍋。

**土坑33(図27・図28)**

調査区外に遺構が延びているため規模は不明。長軸140cm・短軸(122)cm・深さ10cmを測る。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

27～45はかわらけ。46の銭は五銖銭、出土数の少ない類である。

**ピット176(図27・図28)**

ピット175に切られピット177を切る。長軸(38)cm・短軸(20)cm・深さ38cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・多量の炭化物を含む暗茶灰色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

47は青磁鉢。

**ピット177(図27・図28)**

ピット176に切られる。長軸(45)cm・短軸35cm・深さ25cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶灰色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

48はかわらけ。その他に破片で常滑甕が出土している。

**ピット185(図27・図28)**

長軸58cm・短軸48cm・深さ24cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・多量の炭化物を含む灰色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

49は常滑片口鉢Ⅱ類。その他に破片でかわらけが出土している。

**ピット190(図27・図28)**

長軸40cm・短軸25cm・深さ24を測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗

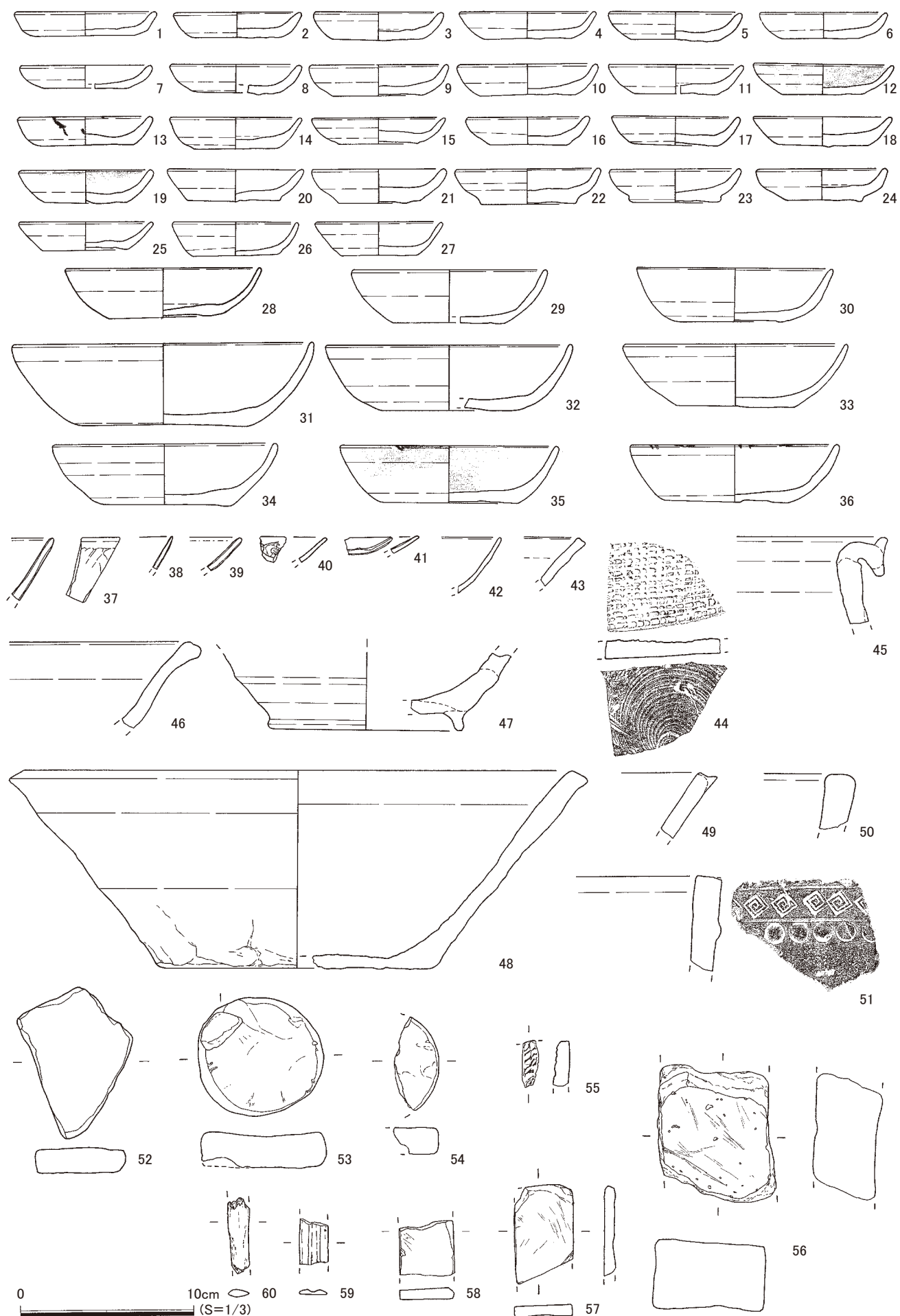
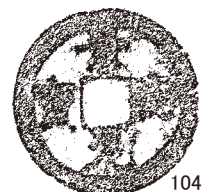
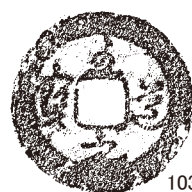
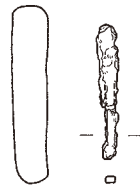
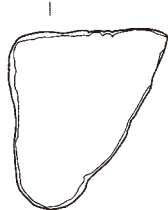
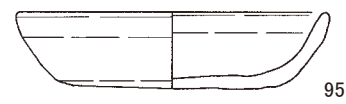
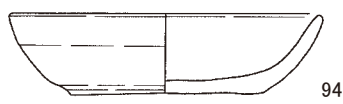
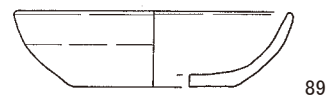
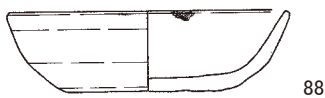
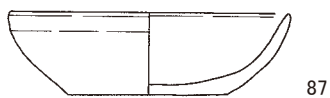
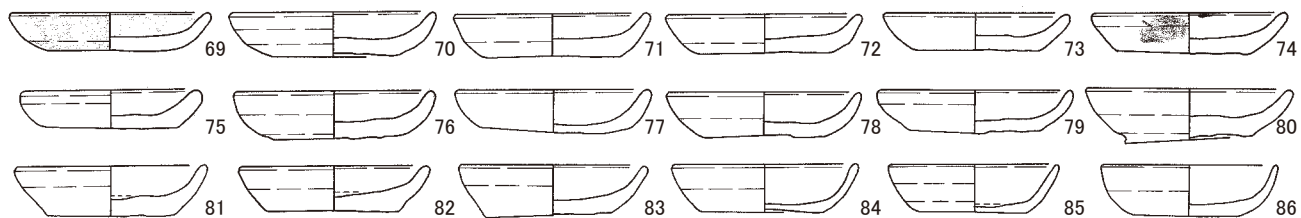
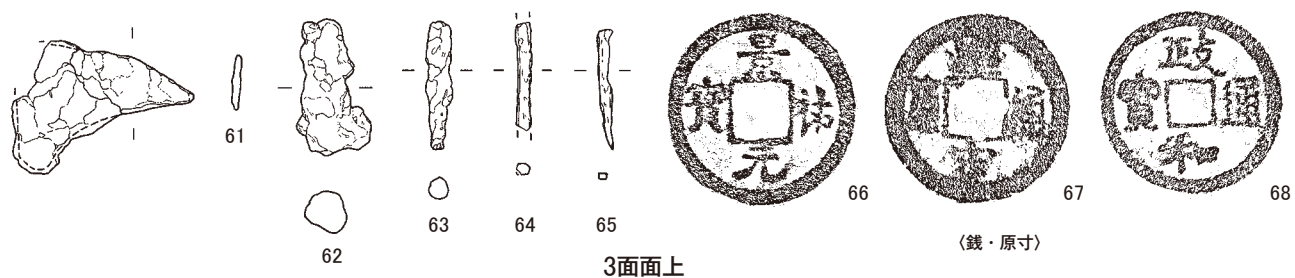


图29 第3面·面上出土遺物(1)



〈錢・原寸〉

炭化物層

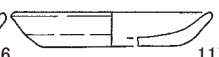
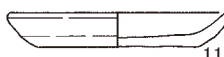


図30 第3面面上出土(2)・炭化物層・第3面構成土(1)・出土遺物

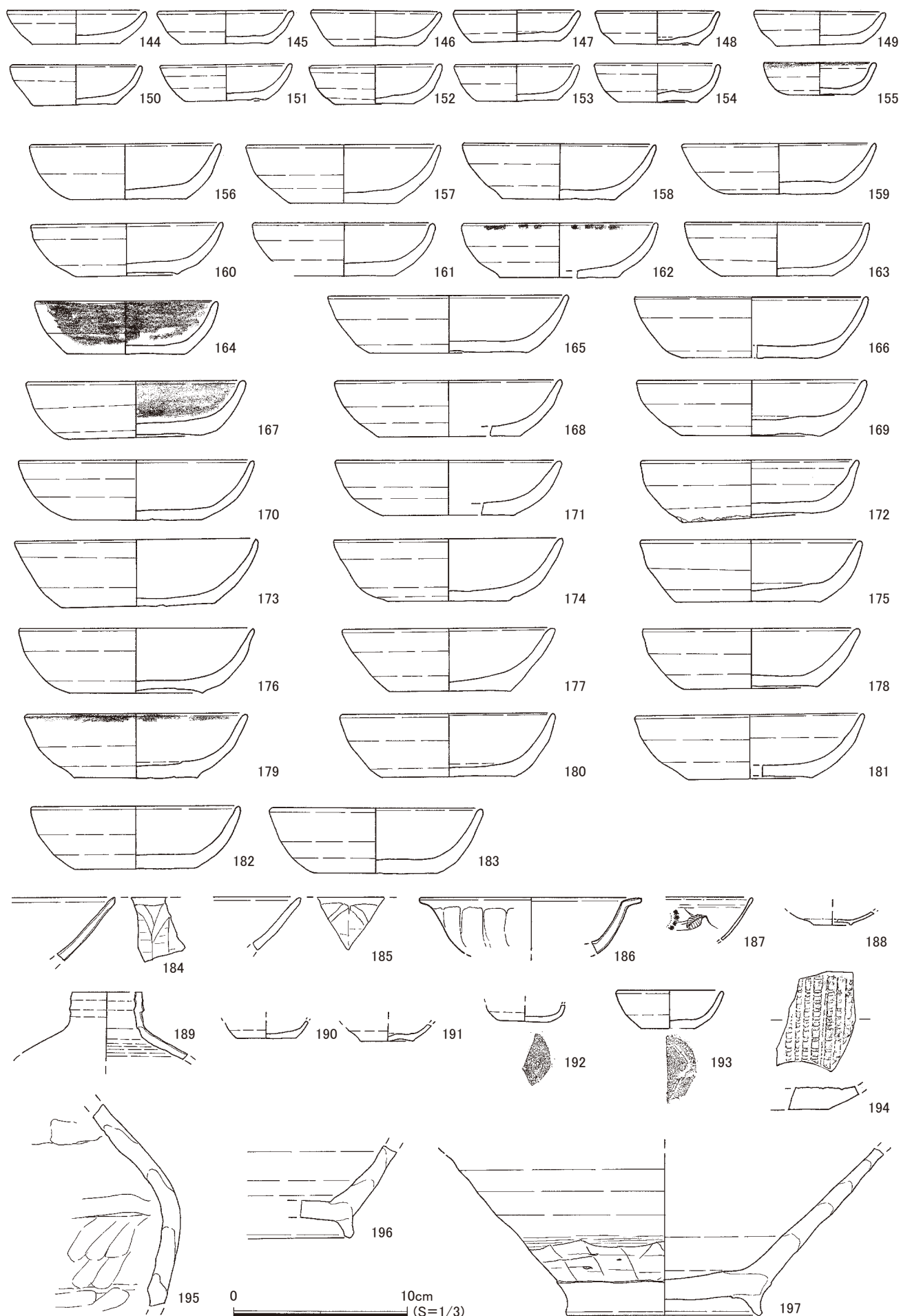


图31 第3面構成土出土遺物(2)



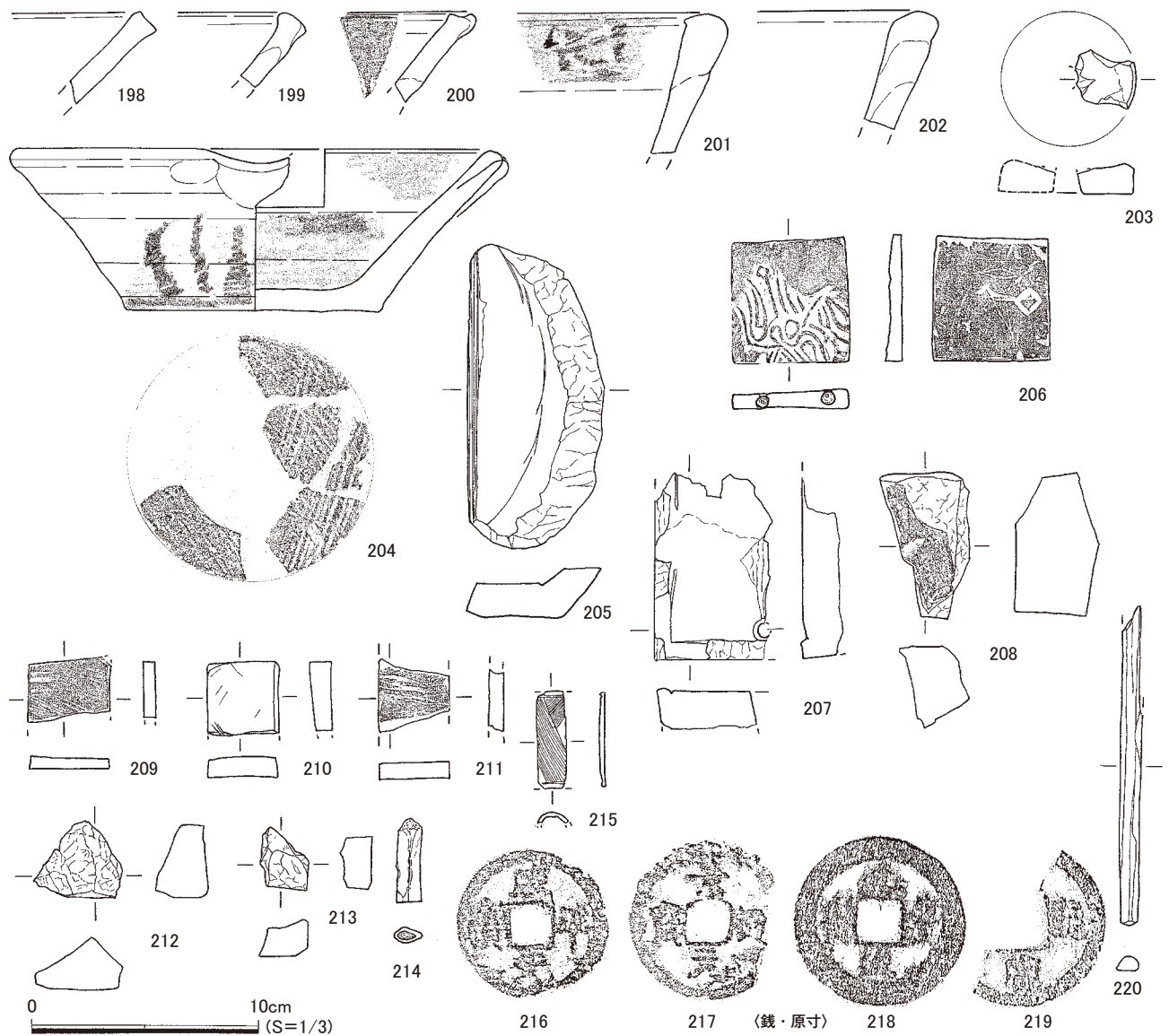


図32 第3面構成土出土遺物(3)

灰色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

50はかわらけ・51は瀬戸入子。

・ピット198(図27・図28)

長軸62cm・短軸47cm・深さ32cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・多量の炭化物を含む茶灰色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

52～53はかわらけ・54～55は銭。その他に破片で常滑甕・鉄製品釘が出土している。

・第3面面上出土遺物(図29・図30)

第3面精査時に出土した遺物である。

1～36はかわらけ・37は青磁鎬蓮弁文碗・38は白磁碗・39は白磁口元皿・40は白磁皿・41は青白磁皿・42は瀬戸入子・43～44は瀬戸卸皿・45は常滑甕・46～47は常滑片口鉢Ⅰ類・48～49は常滑片口鉢Ⅱ類・50は土器質火鉢・51は瓦器質火鉢・52は常滑甕転用品・53は泥岩加工品・54は円盤状土製品・55は滑

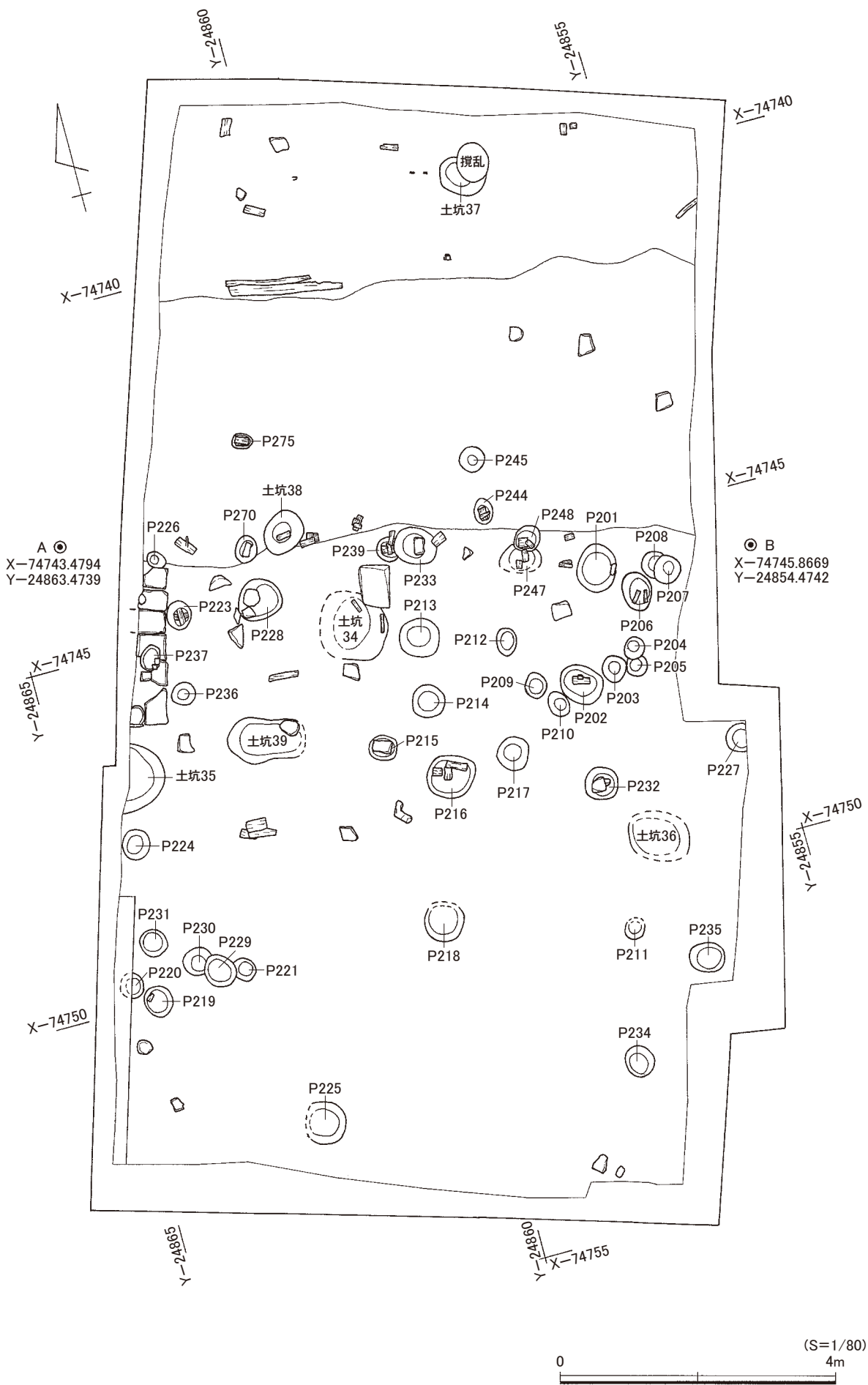


图 33 第 4 面全测图

石製スタンプ片・56～58は石製品砥石・59～60は骨製品・61～65は鉄製品、61は腐食しており製品不明、62～65は釘・66～68は銭。

### ・第3面炭化物層出土遺物（図25・図30）

第3面面上東側で部分的にはあるが、約20cmの深さをもつ炭化物の厚い堆積層が、約4.8m～3.0mの範囲で広がることを確認した。地業の一環の可能性もあるが、地業層上でこの範囲に集中的に炭化物が堆積していたことから、第3面面上出土遺物と分けて図示した。

69～98はかわらけ・99は青白磁梅瓶・100は山茶碗・101は常滑甕転用品・102は鉄製品釘・103～104は銭。図示したかわらけは30点だが、その他に破片でかわらけが大・小合わせて367個と数多く出土し、常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類・常滑片口鉢Ⅱ類が数点出土している。

### ・第3面構成土出土遺物（図30～図32）

第3面検出後、第4面掘り下げ時に出土した遺物である。

105～183はかわらけ・184～185は青磁碗・186は青磁鉢・187は白磁口元碗・188は白磁皿・189は青白磁梅瓶・190～193は瀬戸入子・194は瀬戸卸皿・195は常滑甕・196～197は常滑片口鉢Ⅰ類・198～200は常滑片口鉢Ⅱ類・201～202は土器質火鉢・203はかわらけ質円盤・204は土器質片口鉢・205は滑石鍋転用途中・206は滑石製スタンプ・207は石製品硯・208～211は石製品砥石・212～213はチャート・214は加工痕の残る骨・215は骨製品、鞍あるいは化粧刷毛の軸か・216～219は銭・220は串状木製品。

## 4. 第4面の遺構と遺物（図33～図44）

第4面は少量の泥岩粒・炭化物を含む灰褐色弱粘質土上で遺構を検出した。泥岩粒・泥岩と共に炭化物を含む堅く締まった地業土も部分的にはあるが確認している。発見した遺構は土坑5基・ピット41穴である。遺構内に礎板が遺存するピット、遺構を伴わない礎板状の木製品を面上に多く確認したが、建物址を推定することは出来なかった。また、調査区西壁中央辺で砂質凝灰岩の切り石が並び、石敷きの床を持つ方形建物建築址を想定して調査を進めたが、西壁の堆積土層図からも建物址の壁が立ち上がる事を確認できなかったため、全測図に位置を示すにとどまり、建物址としての報告をしていない。出土遺物はかわらけ（ロクロ成形・手づくね成形）をはじめ、青磁、白磁、青白磁、黄釉、褐釉、瀬戸、常滑、渥美、瓦、瓦器、火鉢、石製品（砥石・硯）、鉄製品、銭、木製品が見られた。第4面確認レベルは海拔約13.20mである。

### ・土坑34（図34・図35）

長軸103cm・短軸（53）cm・深さ8cmを測り、円形を呈する。土坑の肩に砂質凝灰岩の切り石が置かれたような状態で遺存していたが、土坑との関係は不明。遺構覆土はわずかに泥岩粒を含む暗茶褐色有機質土。遺構覆土からはトイレ遺構であった可能性も考えられる。

### ・出土遺物（図35）

1は杭、全体に焼痕が残る。その他に破片でかわらけが出土している。

### ・土坑36（図34・図35）

長軸（75）cm・短軸75cm・深さ7cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・多量の炭

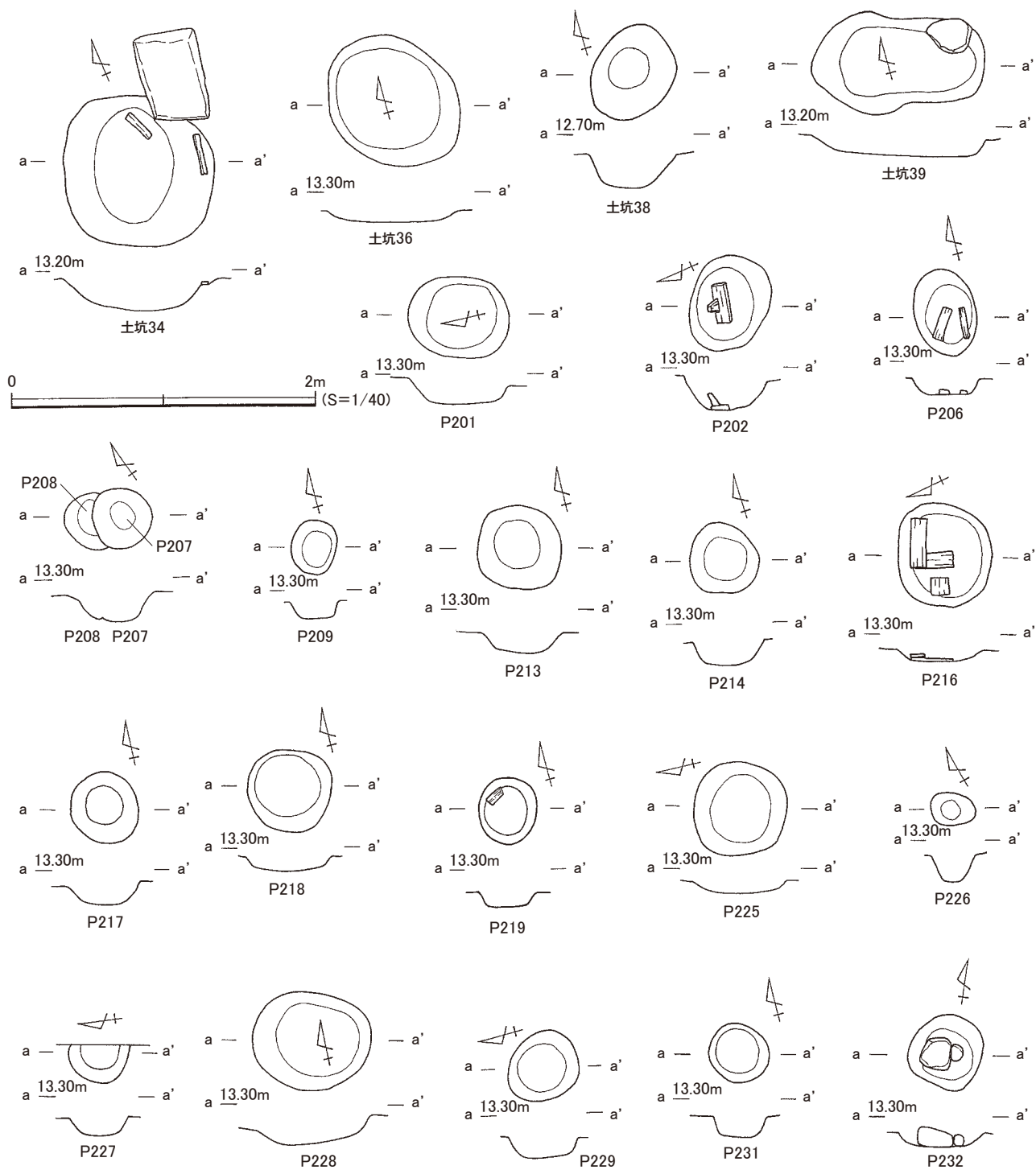


図34 第4面個別遺構図

化物を含む灰褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図35)

2は手づくね成形白かわらけ・3は瀬戸壺。その他に破片でかわらけ・常滑甕が出土している。

・土坑38 (図34・図35)

長軸61cm・短軸54cm・深さ25cmを測り、楕円形を呈する。

・出土遺物 (図35)

4は木製品串状。



・土坑39 (図34・図35)

長軸(100)cm・短軸(65)cm・深さ7cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は炭化物・茶褐色有機質土を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図35)

5は木製品、曲物の底板か。その他に破片でかわらけが出土している。

・ピット201 (図34・図35)

長軸65cm・短軸54cm・深さ11cm、楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物(図35)

6はかわらけ。その他に破片で常滑片口鉢I類が出土している。

・ピット202 (図34)

長軸65cm・短軸52cm・深さ18cmを測り、楕円形を呈する。遺構底面に礎板と柱が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む暗灰色弱粘質土。図示できる遺物はなかったが、破片でかわらけが出土している。

・ピット206 (図34・図35)

長軸55cm・短軸39cm・深さ12cmを測り、楕円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物(図35)

7はかわらけ。

・ピット207 (図34)

ピット208を切る。長軸40cm・短軸39cm・深さ20cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩・微量の炭化物を含む暗灰色弱粘質土。図示できる遺物はなかったが、かわらけ・褐釉甕が破片で出土している。

・ピット208 (図34・図35)

ピット207に切られる。長軸37cm・短軸(18)cm・深さ19cmを測る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物(図35)

8はかわらけ。

・ピット209 (図34・図35)

長軸35cm・短軸28cm・深さ10cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物(図35)

9～11はかわらけ。その他に破片で常滑甕・土器質火鉢が出土している。

・ピット213 (図34・図35)

長軸54センチ・短軸54cm・深さ14cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物(図35)

12は石製品硯。その他に破片でかわらけ・常滑甕が出土している。

ピット214 (図34・図35)

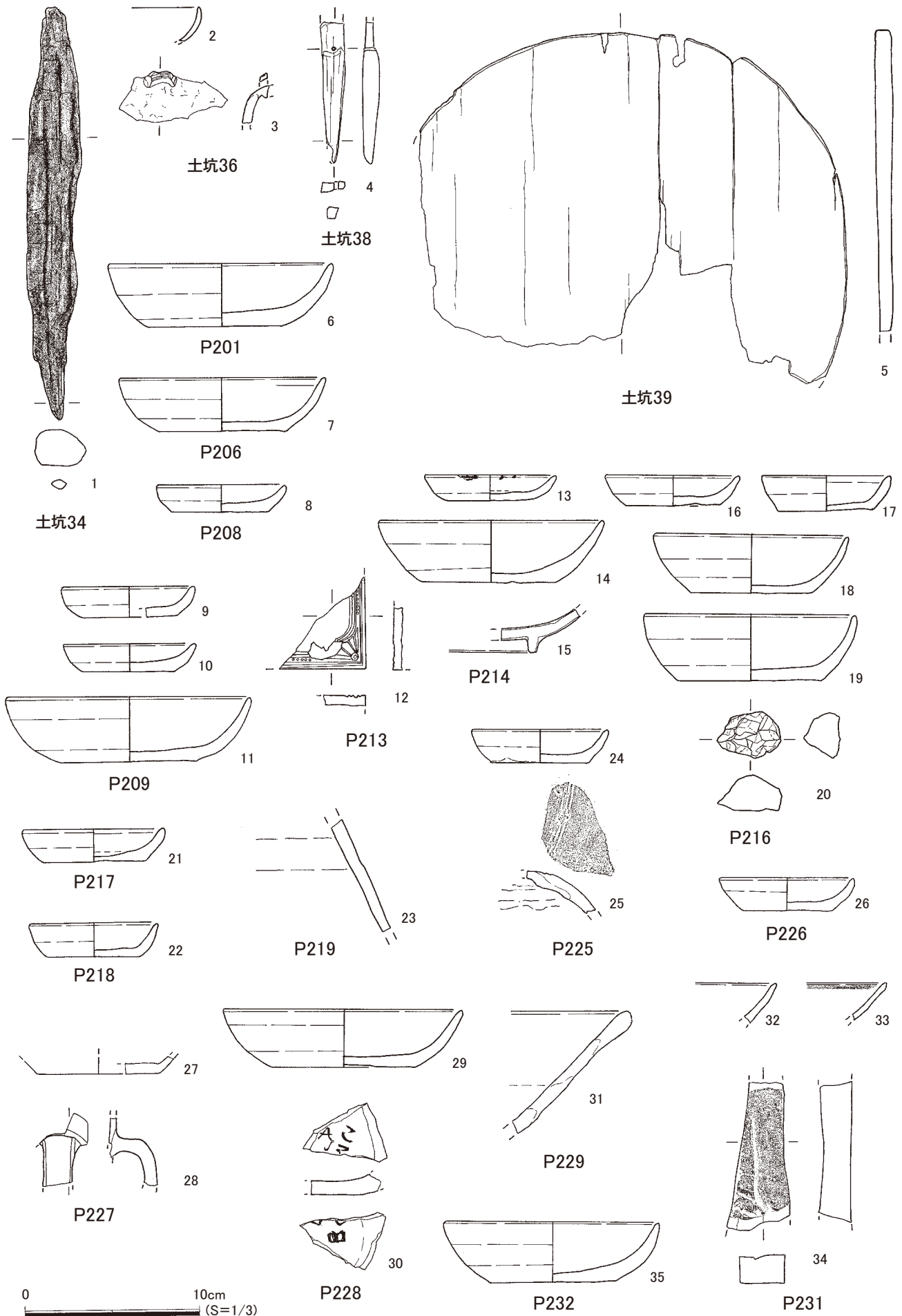


图35 第4面个别遺構出土遺物

長軸45cm・短軸45cm・深さ19cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む暗灰色弱粘質土。

・**出土遺物 (図35)**

13～14はかわらけ・15は青磁鉢。その他に破片で土器質火鉢が出土している。

・**ピット216 (図34・図35)**

長軸68cm・短軸59cm・深さ9cmを測り、不正円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む灰茶色弱粘質土。

・**出土遺物 (図35)**

16～19はかわらけ・20はチャート。

・**ピット217 (図34・図35)**

長軸48cm・短軸45cm・深さ14cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は多量の泥岩粒を含む暗灰色弱粘質土。

・**出土遺物 (図35)**

21はかわらけ。その他に破片で常滑甕が出土している。

・**ピット218 (図34・図35)**

長軸55cm・短軸(46)cm・深さ8cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩を含む暗灰色弱粘質土。

・**出土遺物 (図35)**

22はかわらけ。

・**ピット219 (図34・図35)**

長軸42cm・短軸39cm・深さ9cmを測り、円形を呈する。遺構覆土内の礎板が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物・多量の木片を含む灰茶色弱粘質土。

・**出土遺物 (図35)**

23は褐釉壺。その他に破片でかわらけが出土している。

・**ピット225 (図34・図35)**

長軸62cm・短軸(52)cm・深さ7cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗灰褐色弱粘質土。

・**出土遺物 (図35)**

24はかわらけ・25は瀬戸壺。

・**ピット226 (図34・図35)**

長軸29cm・短軸20cm・深さ17cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は砂質凝灰岩細片を多く含む暗茶灰色弱粘質土。

・**出土遺物 (図35)**

26はかわらけ。その他に破片で青白磁器種不明が出土している。

・**ピット227 (図34・図35)**

調査区外に遺構が延びているために規模は不明。長軸39cm・短軸(24)cm・深さ10cmを測る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。

・**出土遺物 (図35)**

27は白磁口元皿・28は青白磁水注。その他に破片でかわらけが出土している。

・**ピット228 (図34・図35)**

長軸63cm・短軸55cm・深さ18cmを測り、不正円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む灰褐

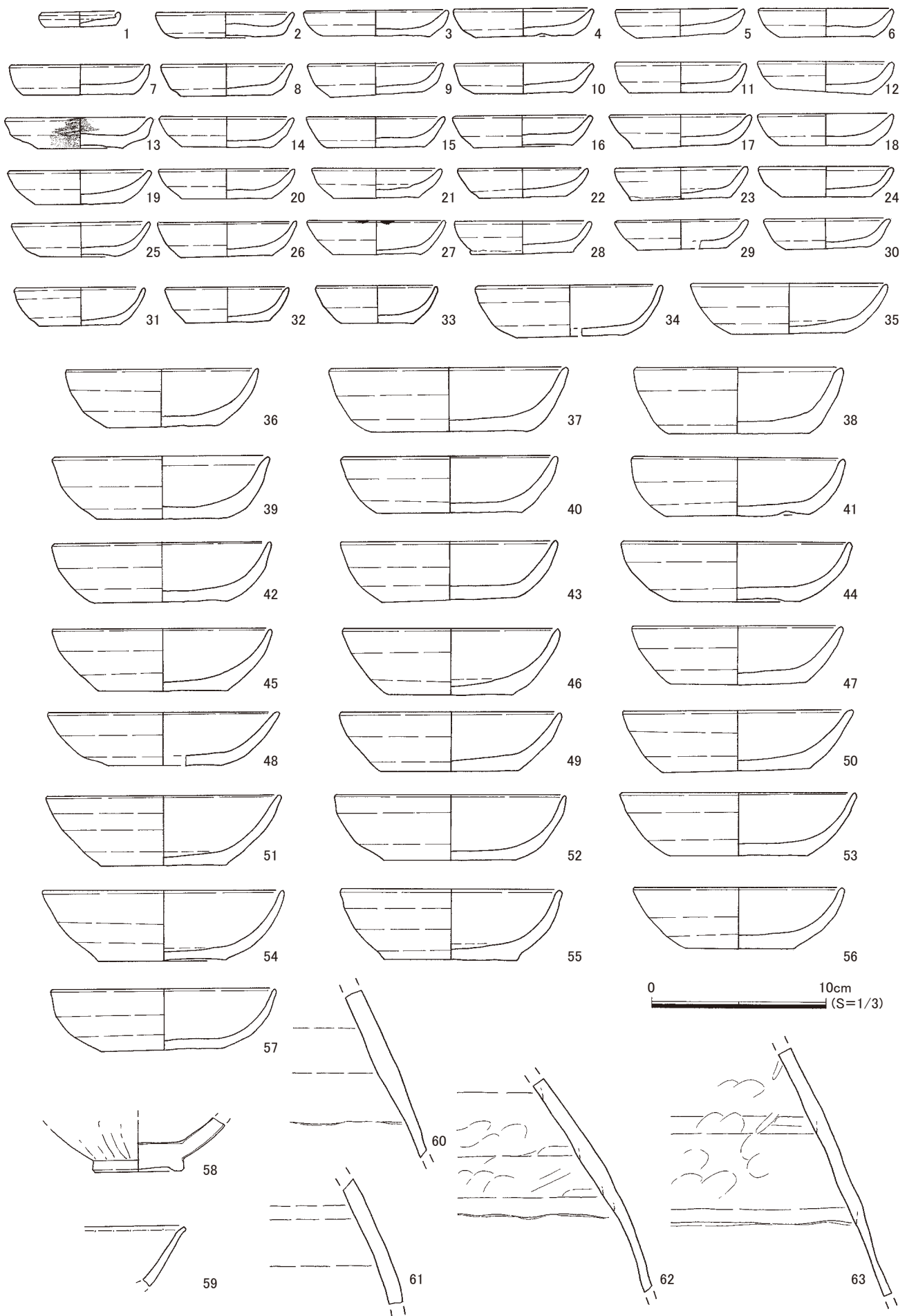


图36 第4面面上出土遺物(1)



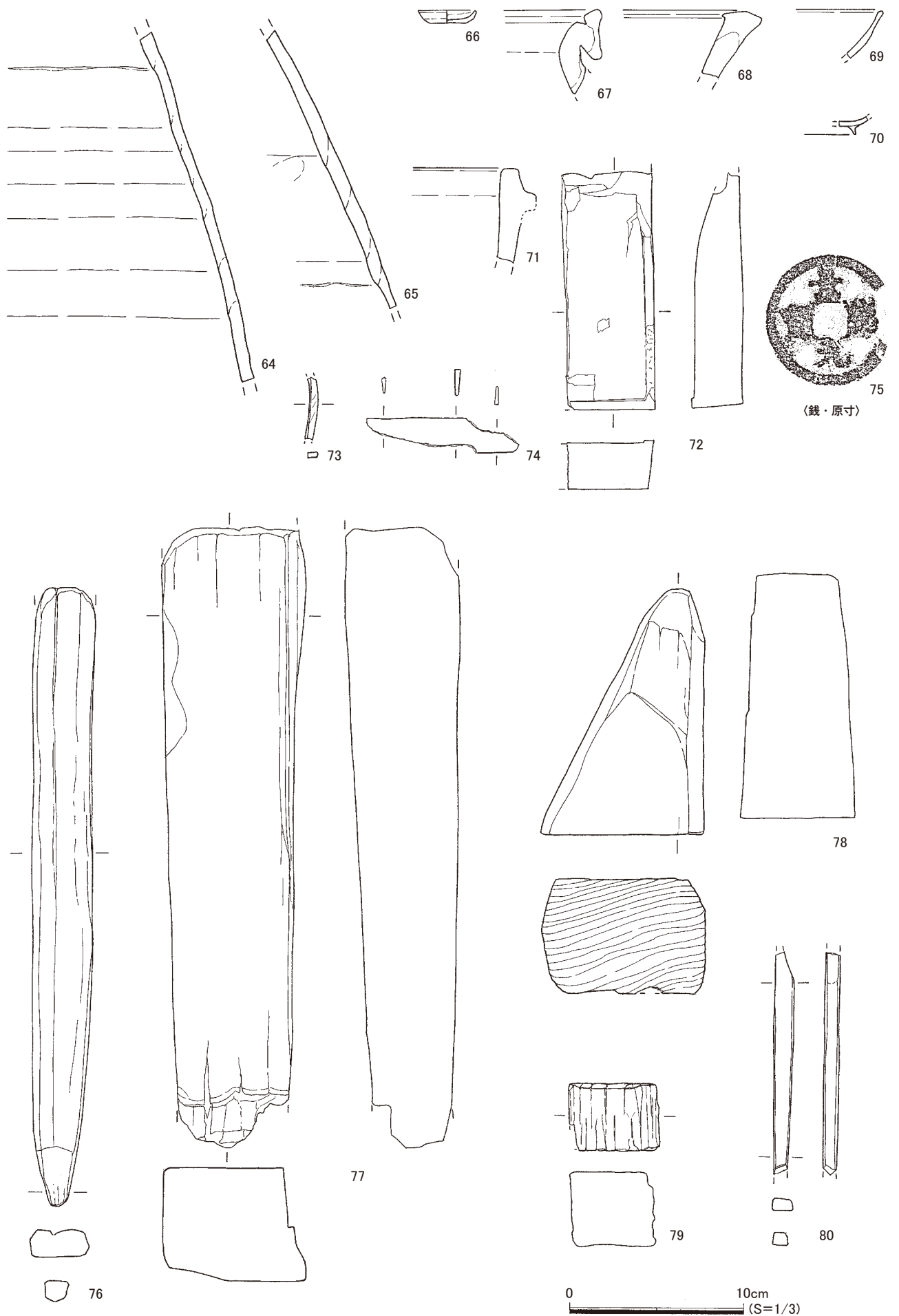


图37 第4面面上出土遺物(2)

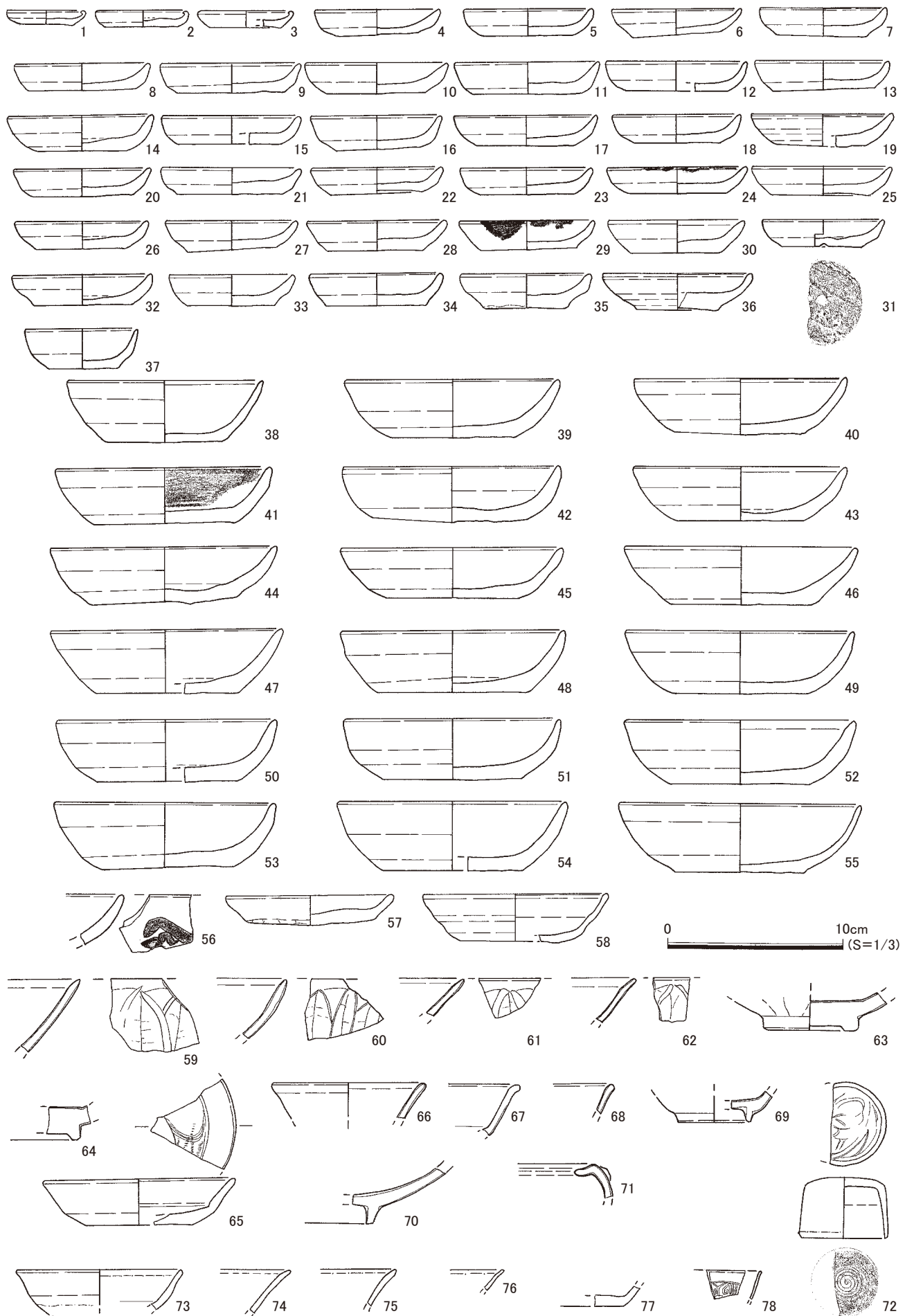


図38 第4面構成土出土遺物(1)

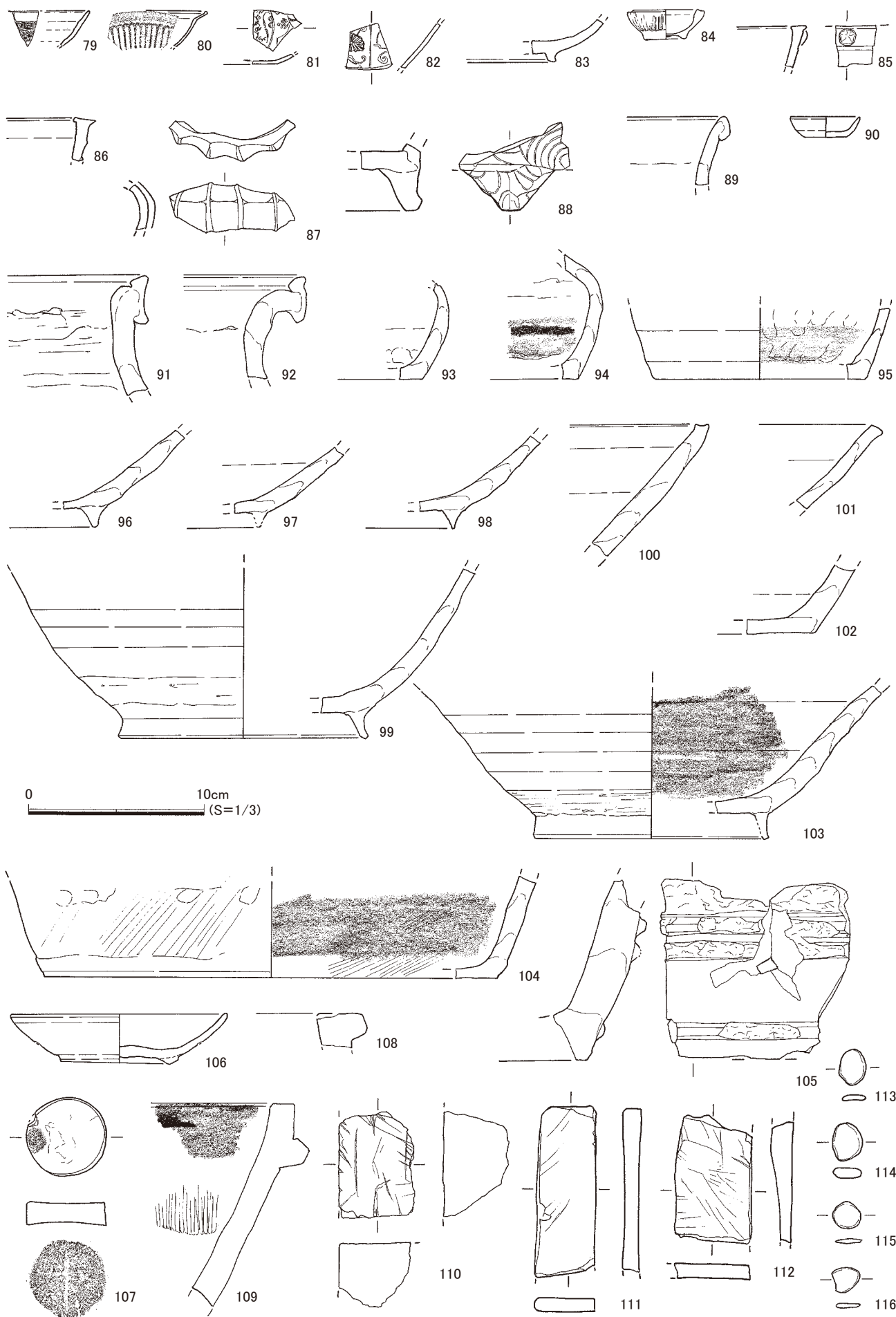
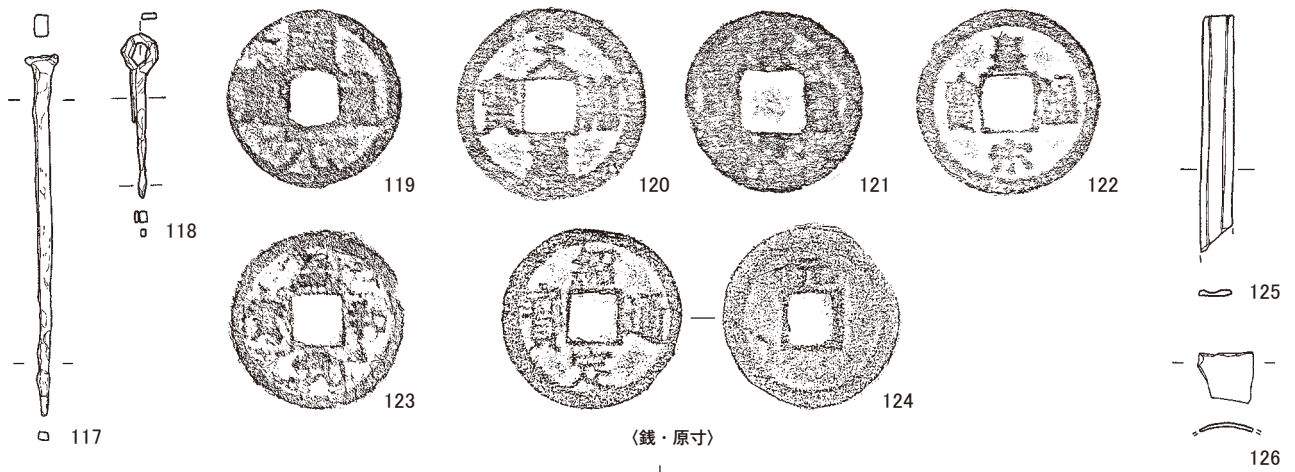


图39 第4面構成土出土遺物(2)



(錢・原寸)



图40 第4面構成土出土遺物(3)

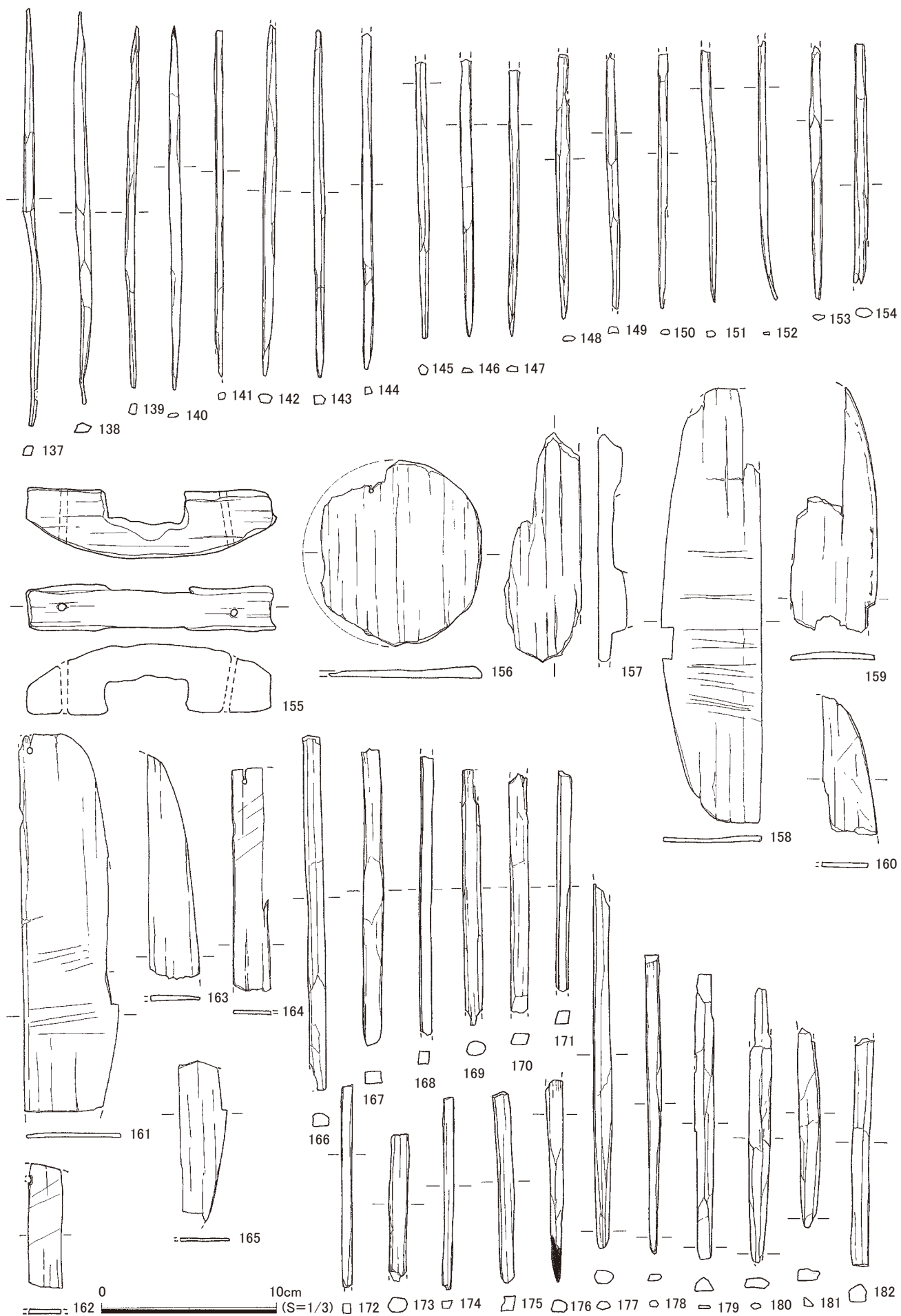


图41 第4面構成土出土遺物(4)



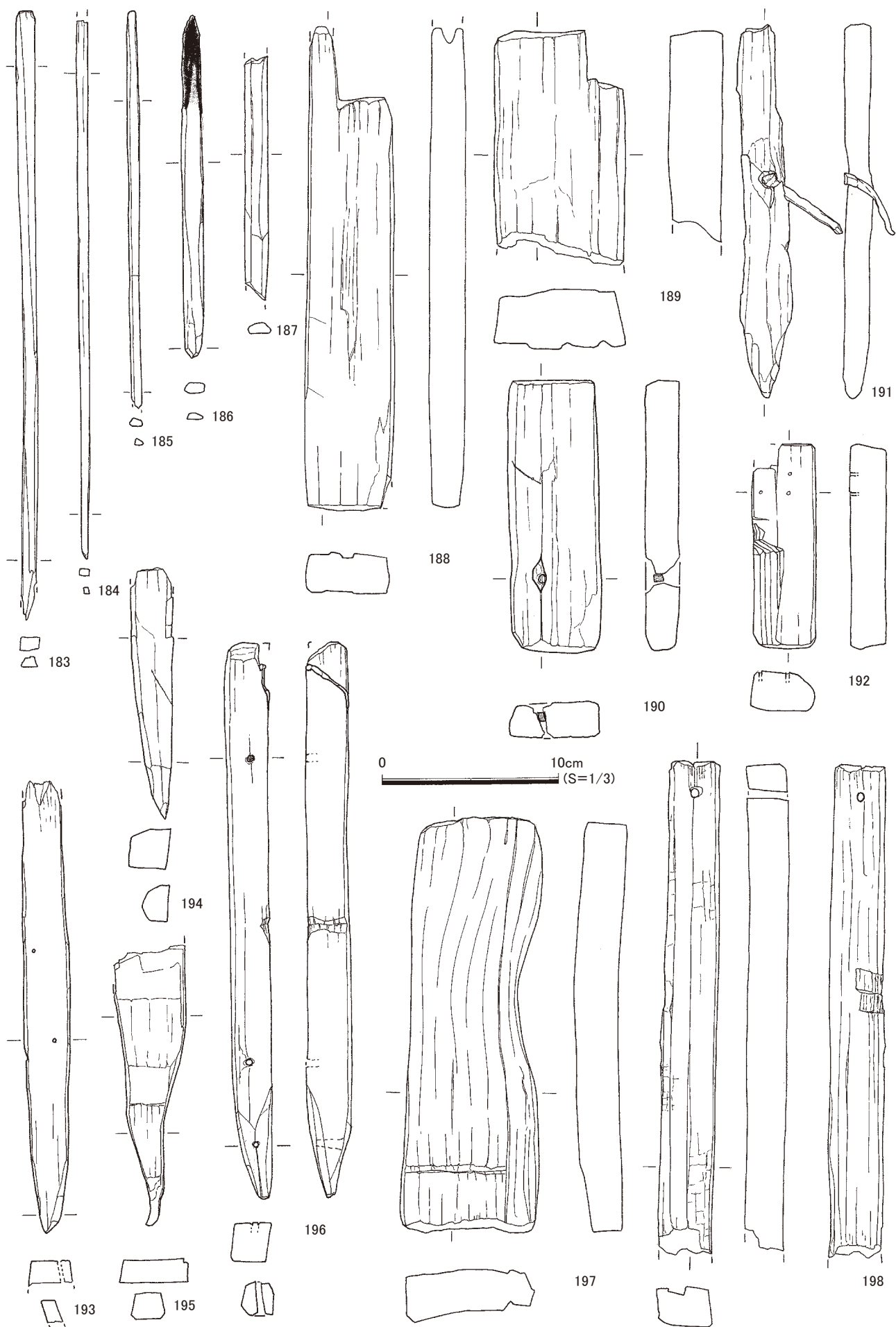


图42 第4面構成土出土遺物(5)

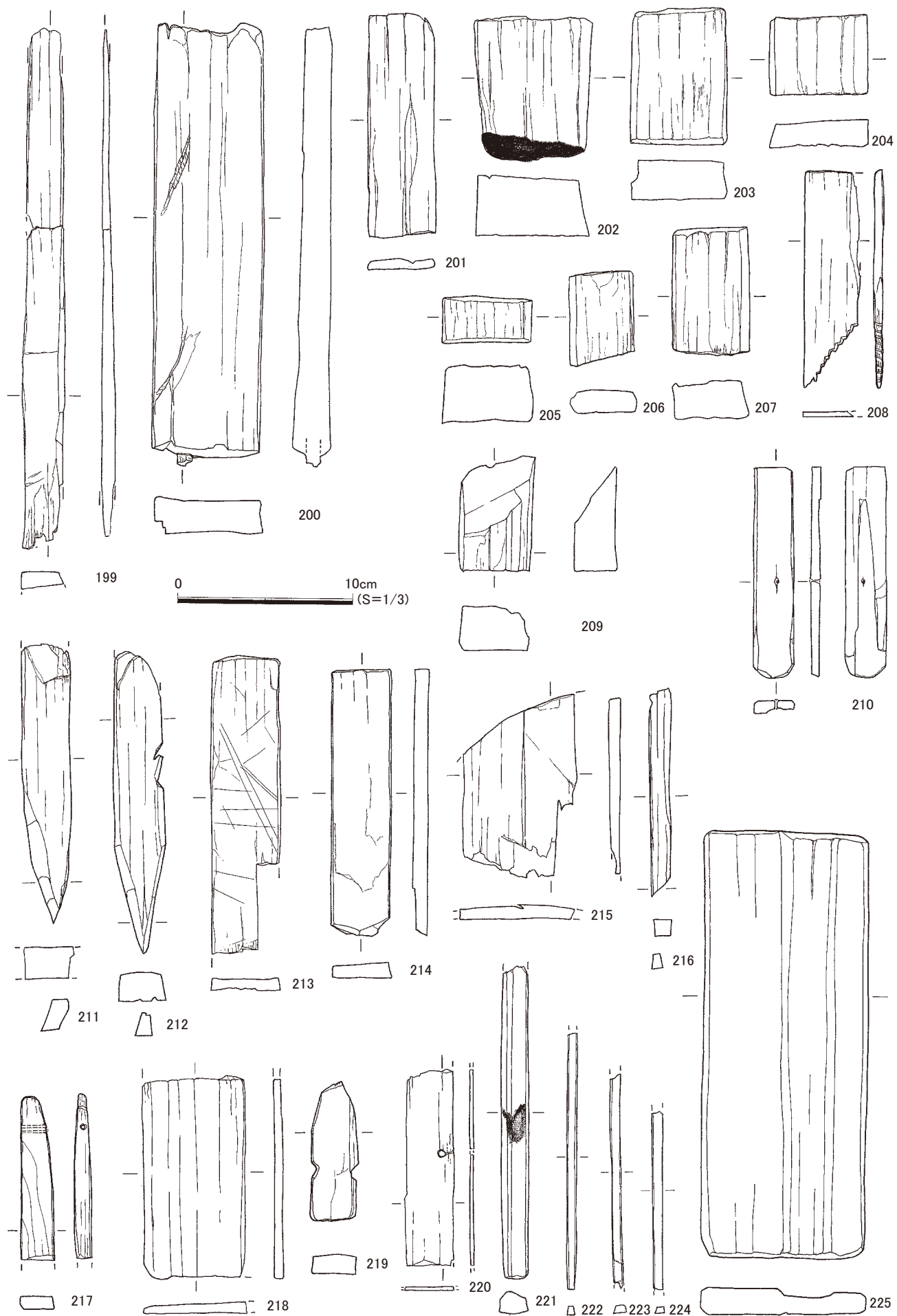


图43 第4面構成土出土遺物(6)

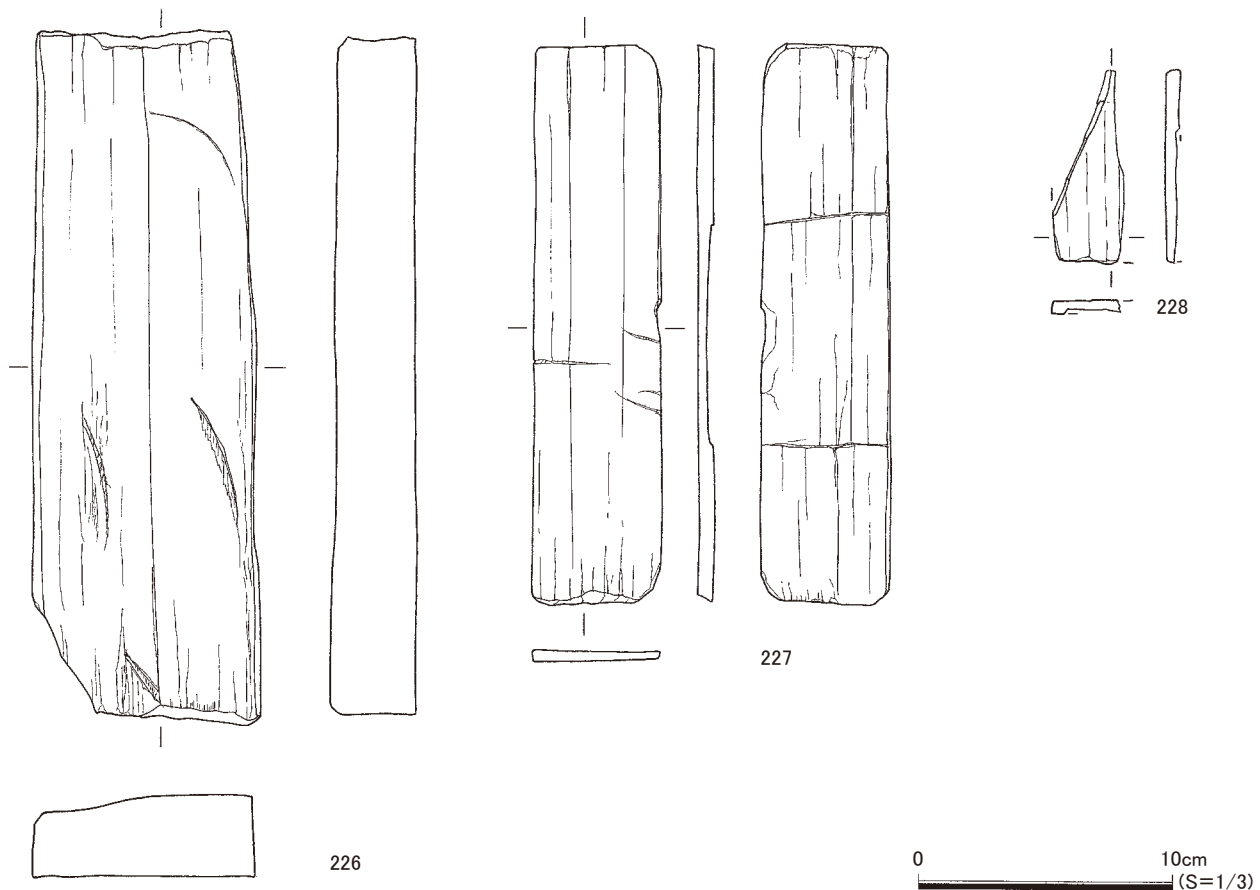


図44 第4面構成土出土遺物(7)

色弱粘質土。覆土内に不整形な砂質凝灰岩が遺存していた。

・出土遺物(図35)

29はかわらけ。30は墨書かわらけ(判読不能)。

・ピット229(図34・図35)

ピット221・ピット230を切る。長軸45cm・短軸42cm・深さ16cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。

・出土遺物(図35)

31は常滑片口鉢I類。その他に破片でかわらけ・褐釉壺が出土している。

・ピット231(図34・図35)

長軸38cm・短軸37cm・深さ11cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒を含む灰褐色弱粘質土。

・出土遺物(図35)

32はかわらけ・33は瓦器碗・34は石製品砥石。その他に破片でかわらけが出土している。

・ピット232(図34・図35)

長軸49cm・短軸44cm・深さ13cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。

・出土遺物(図35)

35はかわらけ。

・第4面面上出土遺物(図36・図37)

第4面精査時に出土した遺物である。1～57はかわらけ。58は青磁鎚蓮弁文碗・59は白磁口元皿・60～65は褐釉壺・66は瀬戸入子・67は常滑甕・68は土器質火鉢・69～70は吉備系土器碗・71は滑石鍋・72は石製品硯・73は鉄製品釘・74は鉄製品刀子・75は銭・76は木製品杭・77は木製品建材・78～80は木製品端材。

#### ・第4面構成土出土遺物 (図38～図44)

第4面遺構検出後、第5面掘り下げ時に出土した遺物である。

1～56はかわらけ・56は墨書かわらけ(判読不能)・57は手づくね・58は硬質な胎土と薄手の器壁を持ち外面に稜が入る。在地ではみかけないタイプのかわらけ。59～64は青磁碗・65は青磁皿・66～69は青磁折腰鉢・70は青磁鉢・71は青磁香炉・72は青磁梅瓶蓋・73～77は白磁口元皿・78・80・81・83は白磁皿・79・82は白磁碗・84は白磁合子・85は白磁香炉・86は青白磁香炉・87は青白磁器種不明・88は褐釉香炉・89は瀬戸四耳壺・90は瀬戸入子・91～92は常滑甕・93～95は常滑壺・96～99は常滑片口鉢Ⅰ類・100～102は常滑片口鉢Ⅱ類・103は尾張型片口鉢・104は瓦器質火鉢・105は土器質火鉢・106は瀬戸内系土器・107はかわらけ質円盤・108～109は滑石鍋・110～112は石製品砥石・113は貝製品基石・114～116は石製品基石・117は鉄製品釘・118は鉄製品鍵・119～124は銭・125は骨製品筭・126はガラスか・127～132は漆器碗・133～135は漆器皿・136～228は木製品。・136は折敷・137～154は箸・155は把手・156は曲物底板・157は下駄・158～165は草履芯・166～176は棒状・177～185は串状・186～187は篋状・188～192は建材・193～196は杭・197は礎板・198～201は部材・202～209は端材・210は刀子の柄・211～228は用途不明。

### 5. 第5面の遺構と遺物 (図45～図52)

第5面は調査区内で廃土を処理するために調査区を南北に二分割し、南側を廃土処理の場として使用し、北側を調査対象とした。第5面は泥岩粒・泥岩細片を含む暗灰色弱粘質土の堅く締まった地業上で遺構を検出した。発見した遺構は井戸1基・溝1条・溝状土坑1基・ピット56穴である。調査区の外や南側で壁に沿って杭を打ち横板を止める構造を持つ溝(溝3)が、東西に調査区外に延びることを確認している。調査区外に遺構が延び建物址を推定することは出来なかったが、遺構底面に礎板が遺存するピットを多く確認した。出土遺物はかわらけ(ロクロ成形・手づくね成形)をはじめ、青磁、白磁、青白磁、褐釉、瀬戸、常滑、山茶碗、火鉢、瓦、石製品(砥石・硯)、鉄製品、銭が見られた。破片では面上および、遺構内からは手づくね成形かわらけの出土量に対してロクロ成形かわらけの出土量が勝るが、構成土に至ると手づくね成形の出土量が勝る。第5面確認レベルは海拔約12.60mである。

#### ・井戸1 (図46)

ピット241に切られ、ピット281を切る。調査区外に遺構が延びてしまい規模は不明となった。また、湧水が激しく遺構を掘り下げて詳細に確認することができなかったが、井戸であったと考えている。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む暗灰褐色弱粘質土。木片、褐色有機質土を多く含む。

#### ・出土遺物 (図46)

1～16はかわらけ・17～43は手づくね・44は白磁皿・45は常滑壺・46は常滑甕・47は常滑片口鉢Ⅱ類・48はかわらけ転用品・49は木製品用途不明、錐柄か。その他に破片で青磁・獣骨・貝・果核と、腐食した木片も多く出土した。

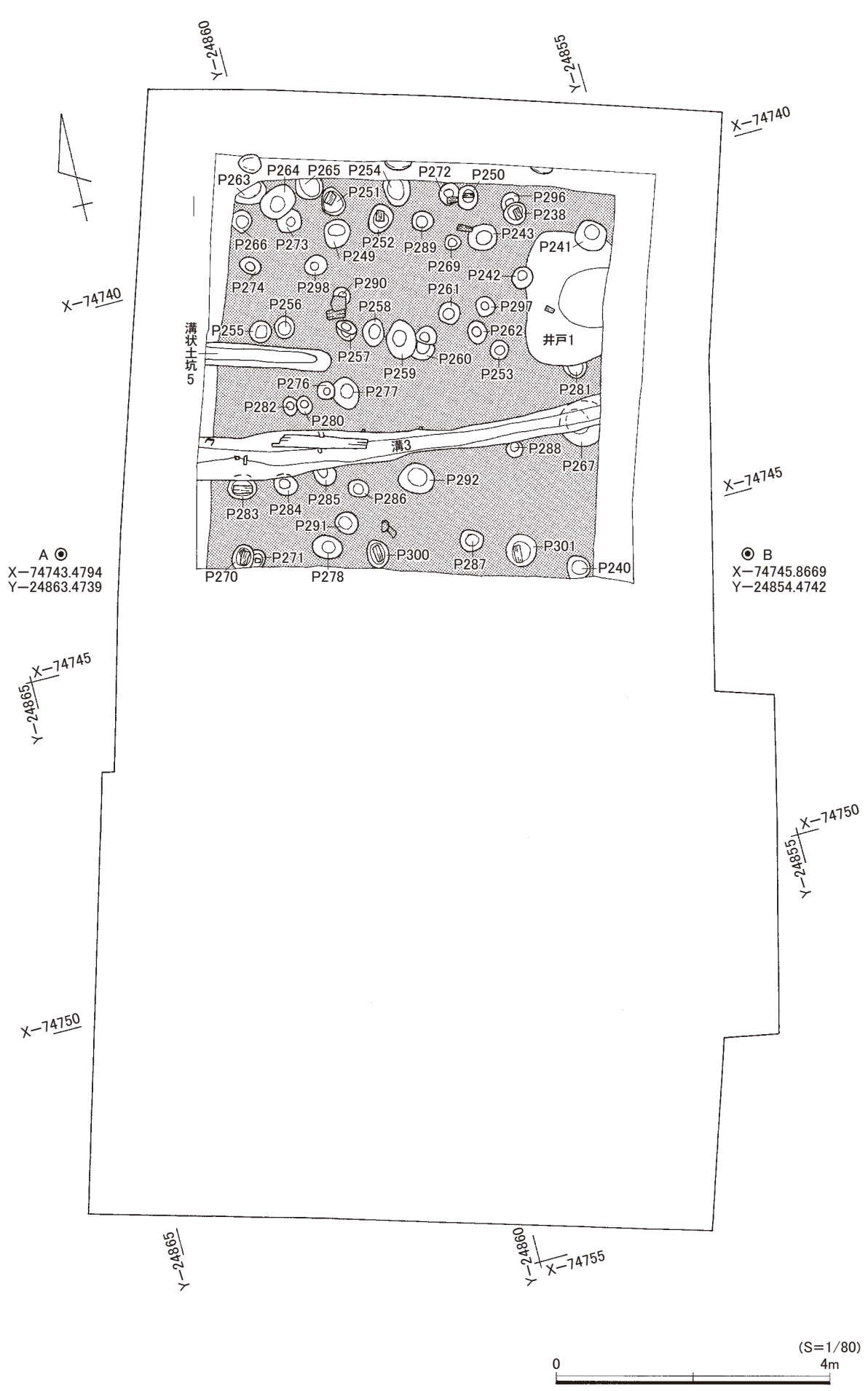


図45 第5面全測図



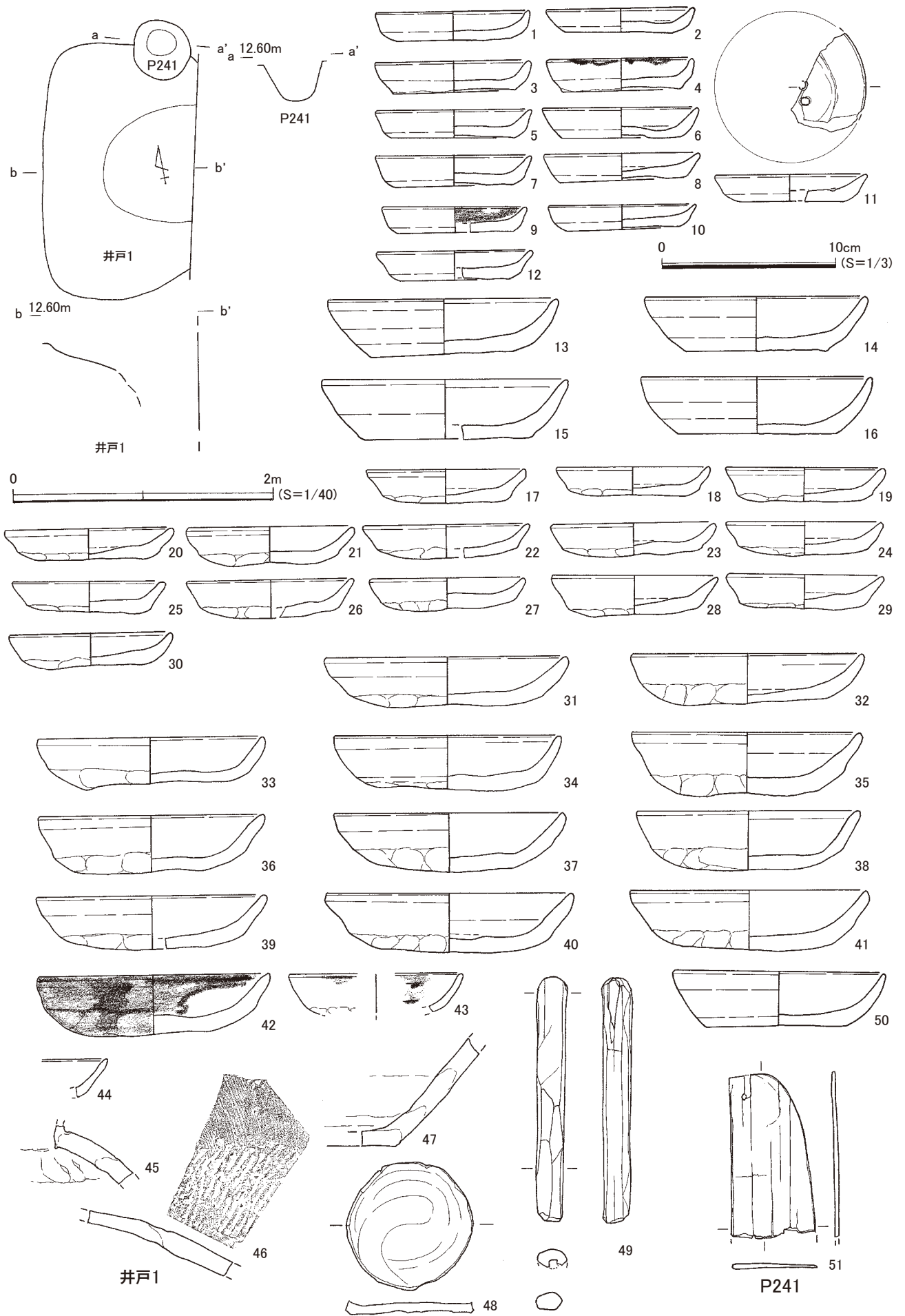


图46 第5面井戸1・P241・出土遺物

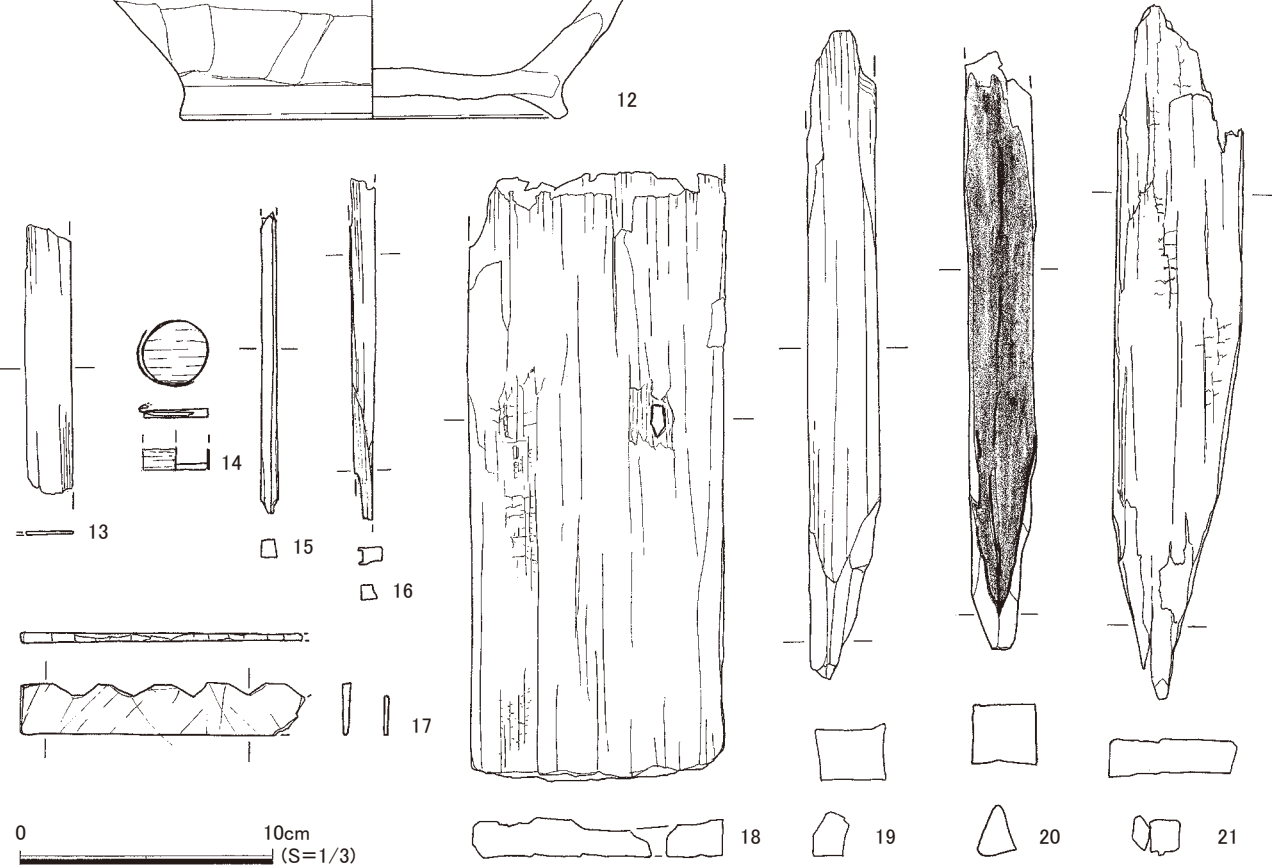
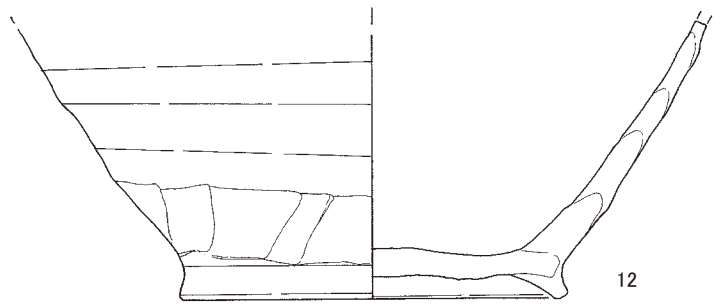
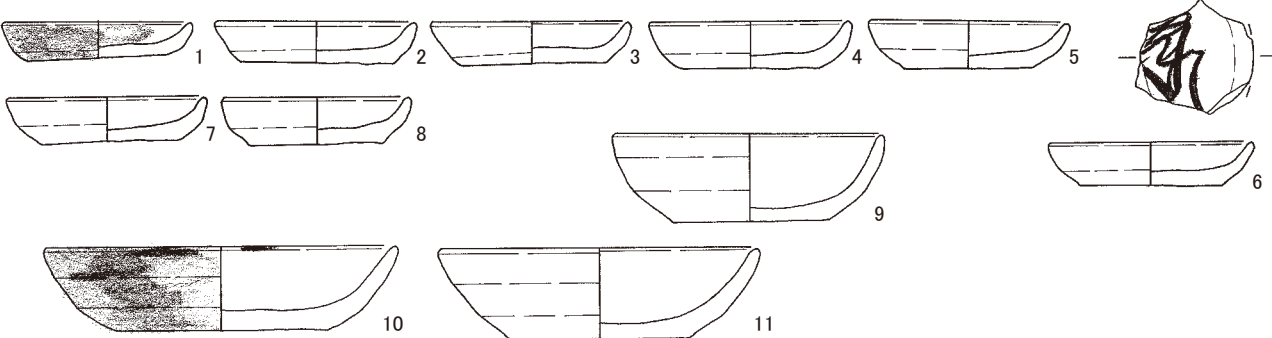
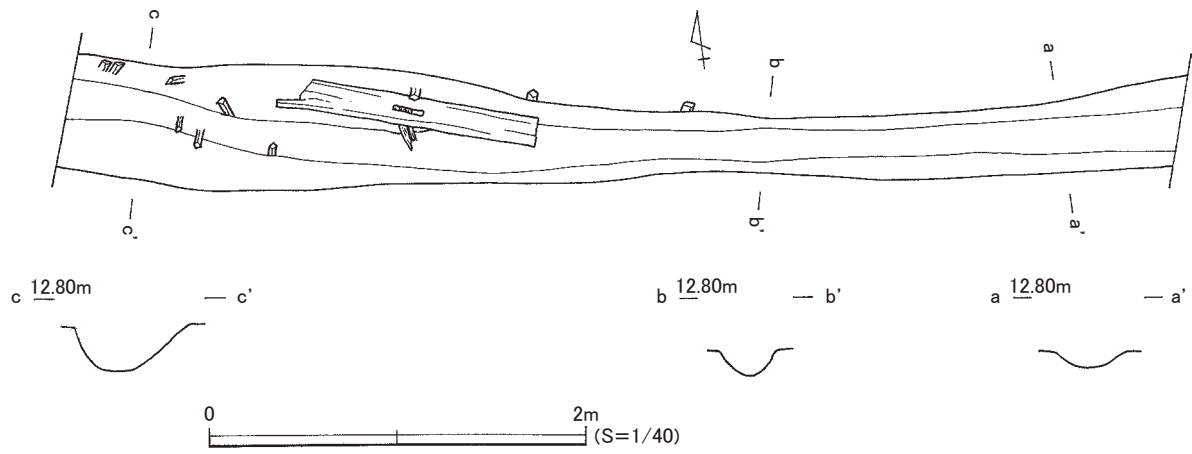


图47 第5面・溝3・出土遺物(1)

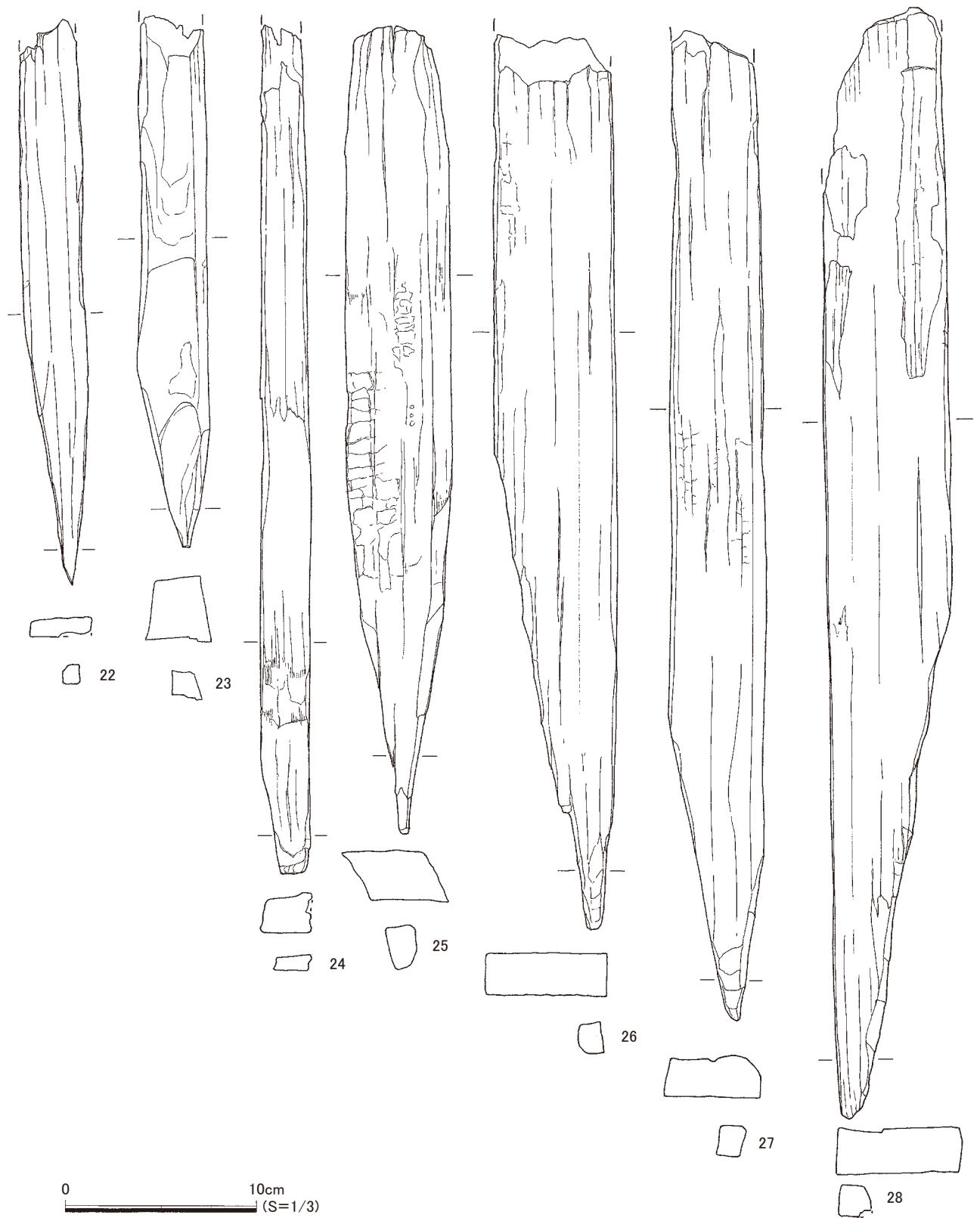


図48 第5面溝3・出土遺物(2)

・溝3 (図47・図48)

調査区外に遺構が延びてしまい規模は不明となった。長さ(600)cm・幅27~65cm・深さ8cmを測る東西に延びる溝である。溝壁に合わせた横板を杭によって止めていたことが分かった。溝幅は上層の遺構によって削平を受け一定ではないが、やや幅の狭い溝であったと思われる。流下方向は不明。遺構覆土は泥岩粒・褐色有機質土を多く含む暗灰褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図47・図48)

1～11はかわらけ・12は常滑片口鉢I類・13～28は木製品、13は折敷・14は曲物、祭祀用か・15・16は棒状、籌木か・17は用途不明、筆架か・18は用途不明・19～28は杭。

・柱穴列1・2・3 (図49)

第5面で検出した礎板を伴うピットの内の、ピット間の距離・遺構覆土の観察から、柱穴列となりうるものを掲載している。調査中を含めて建物址の推定を試みたが、調査区外に遺構が延びてしまい柱穴列のみの報告となった。調査区北側で東西に並ぶ、柱穴列1のピット250とピット251の芯芯間距離は200cm、柱穴列2のピット238・ピット252・ピット266の芯芯間距離はそれぞれ200cm。調査区南側で東西に並ぶ、柱穴列3のピット270・ピット300・ピット301の芯芯間距離はそれぞれ200cmと、同一間隔であった。柱穴列として報告したピット・ピット内出土遺物の詳細は後述している。

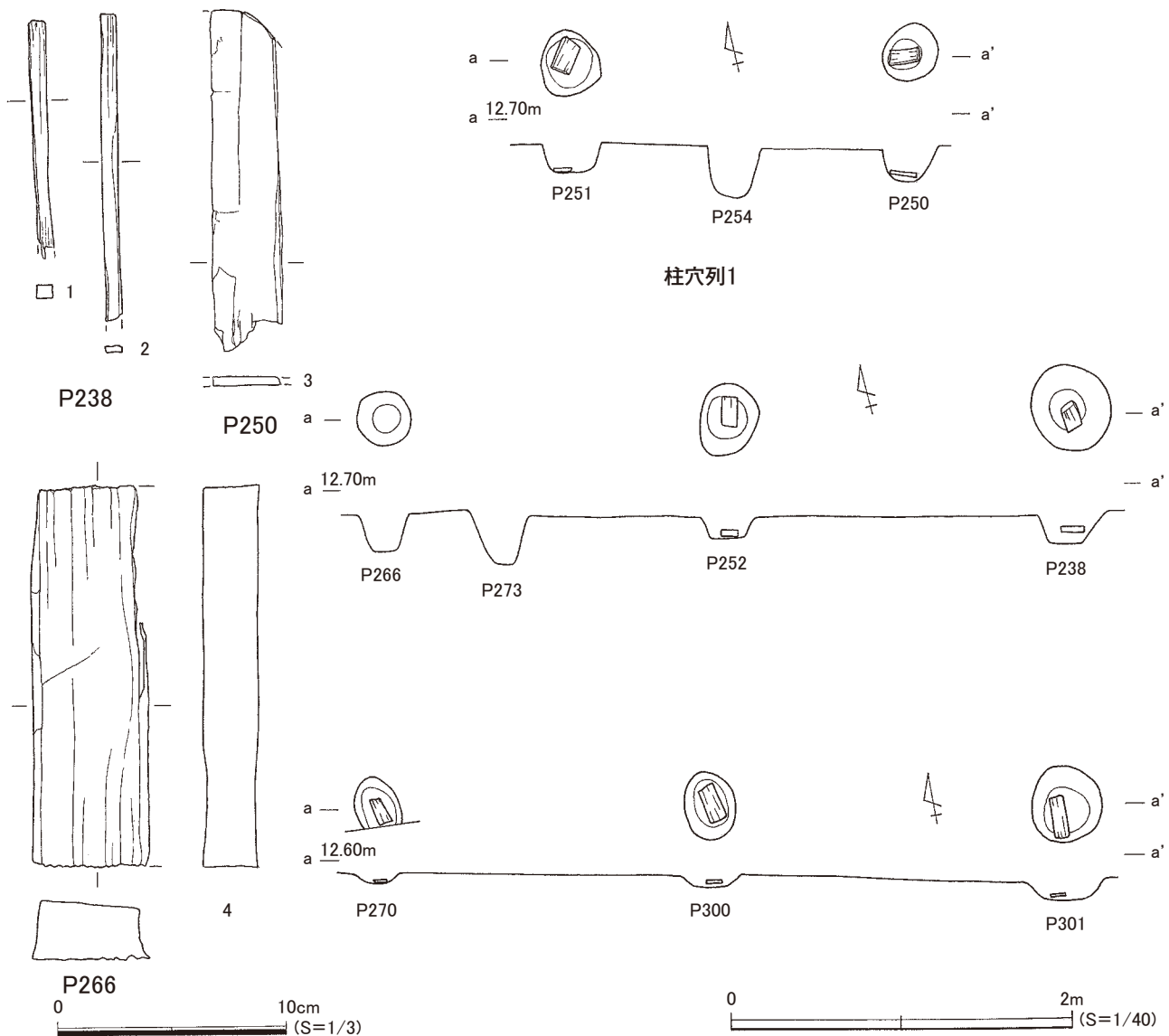


図49 第5面 柱穴列1・2・3・出土遺物

・溝状遺構5 (図50)

調査区東で東西に延びる溝状の遺構である。調査区外に遺構が延びてしまい規模は不明。長さ(180)cm・幅32cm・深さ5cmを測る。遺構覆土は褐色砂・茶褐色有機質土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物

は腐食した木片のみであった。

・ピット 238 (図49)

柱穴列2のピットである。遺構覆土内に礎板が遺存していた。長軸51cm・短軸47cm・深さ32cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・腐食した木片を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物 (図49)

1～2は木製品棒状。

・ピット 241 (図46)

井戸1を切る。長軸45cm・短軸44cm・深さ33cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒を含む暗茶灰色弱粘質土。

・出土遺物 (図46)

50はかわらけ・51は木製品草履芯。

・ピット 250 (図49)

柱穴列1のピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。長軸35cm・短軸28cm・深さ26cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は腐食した木片を多く含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物 (図49)

3は木製品草履芯。

・ピット 251 (図49)

柱穴列1のピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。長軸37cm・短軸29cm・深さ15cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩・泥岩粒を含む暗灰色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・ピット 252 (図49)

柱穴列2のピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。長軸40cm・短軸32cm・深さ11cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む暗茶灰色弱粘質土。遺物は出土していない。

・ピット 263 (図50)

調査区外に遺構が延びており規模は不明。長軸(57)cm・短軸(26)cm・深さ27cmを測る。遺構覆土は泥岩粒を含む灰褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図50)

1・2は木製品棒状。炭化している。1は箸か。

・ピット 264 (図50)

ピット273を切る。長軸54cm・短軸40cm・深さ23cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩腐食した木片を含む暗灰褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図50)

3は褐釉壺。

・ピット 265 (図50)

調査区外に遺構が延びてしまい規模は不明。長軸38cm・短軸(22)cm・深さ21cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を多く含む灰褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図50)

4は木製品串状。その他に破片でかわらけが出土している。

ピット 266 (図49)



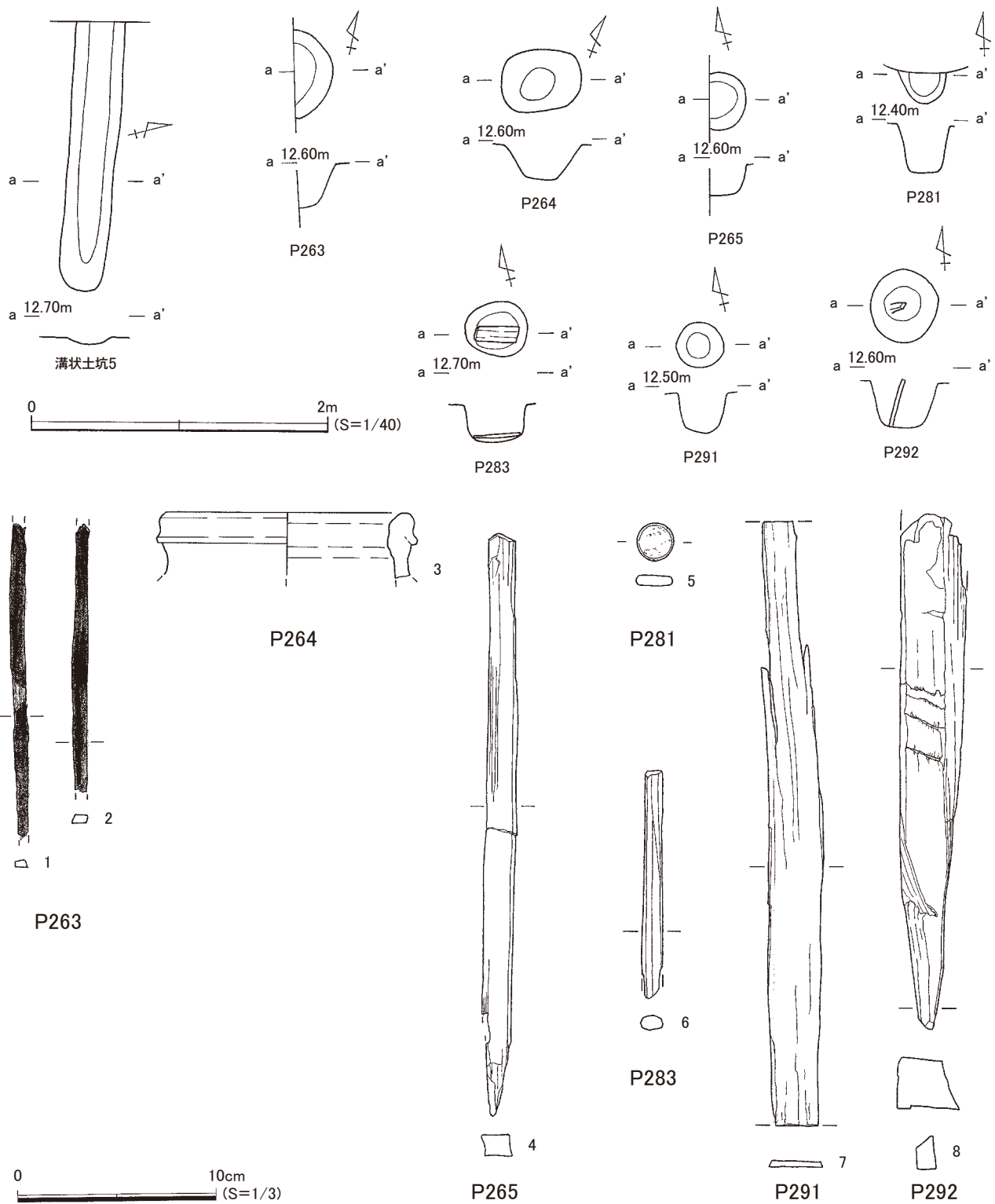


図50 第5面個別遺構・出土遺物

柱穴列2のピットである。長軸33cm・短軸32cm・深さ21cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒を含む灰褐色弱粘質土。覆土内に礎板状の木片が遺存していた。

・出土遺物 (図49)

4は木製品礎板状。その他に破片でかわらけが出土している。

・ピット270 (図49)

柱穴列3のピットである。ピット271を切る。遺構底面に礎板が遺存していた。長軸(35)cm・短軸

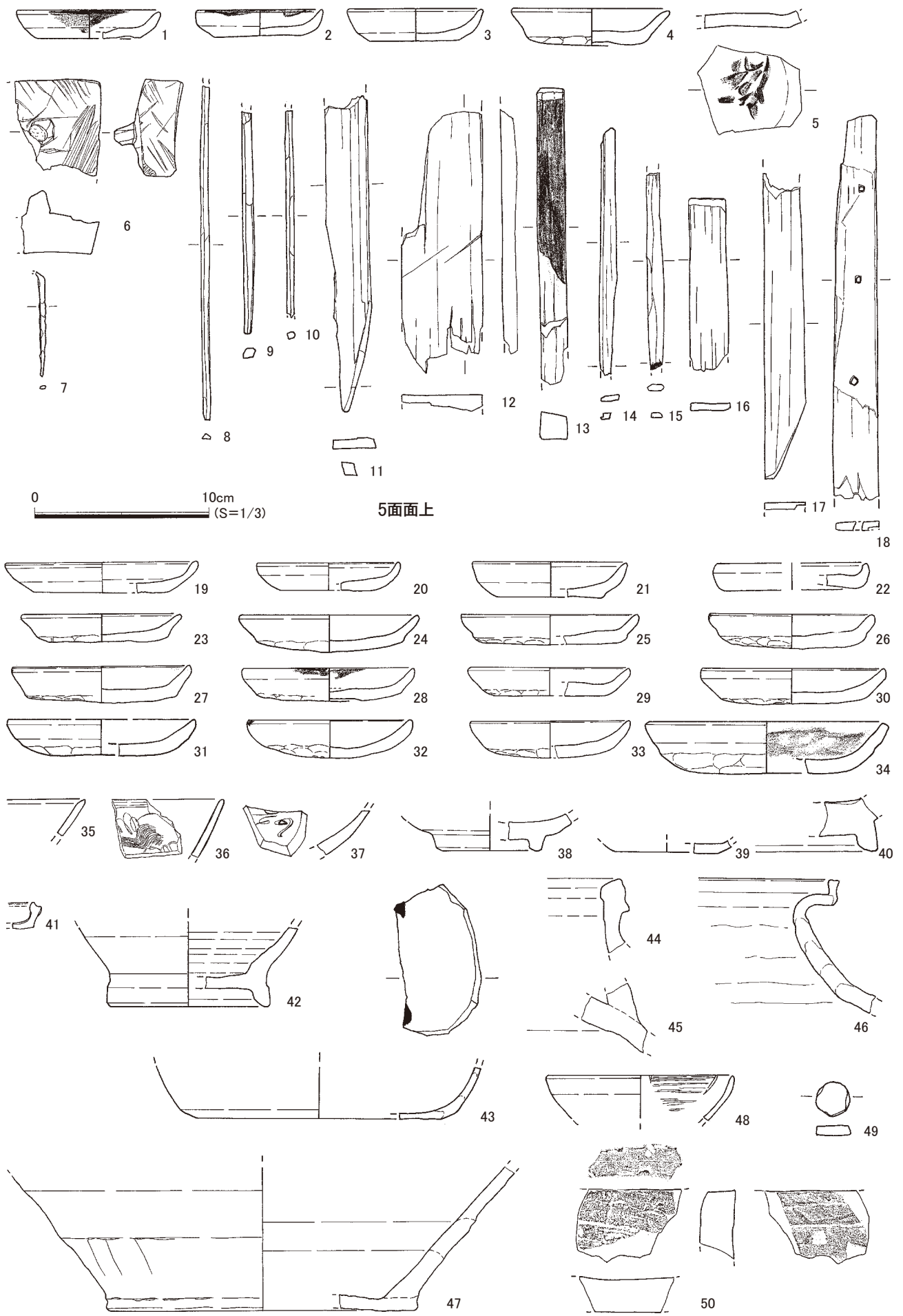


图51 第5面面上・構成土出土遺物(1)

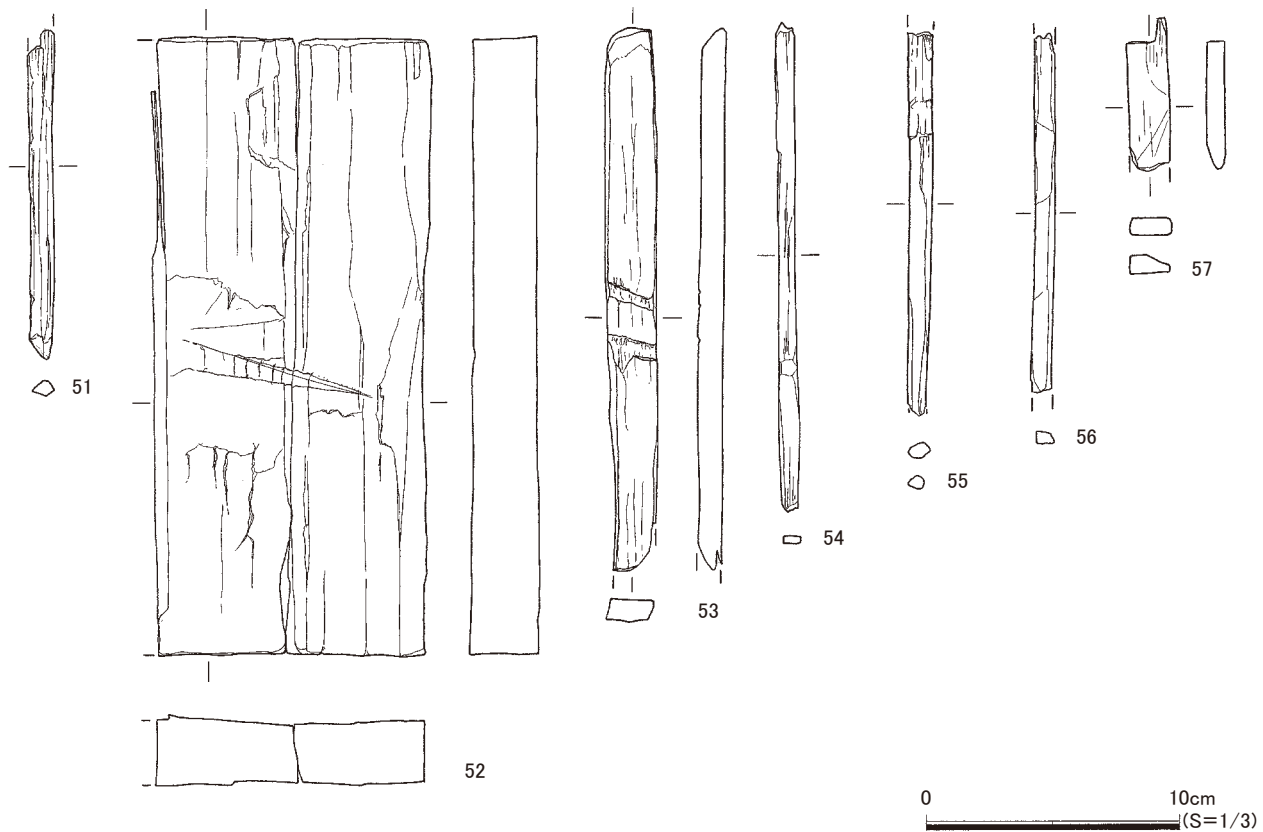


図52 第5面構成土出土遺物(2)

28cm・深さ7cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒を多く含む暗灰色弱粘質土。出土遺物はない。

・ピット271(図45)

ピット270に切られる。長軸(23)cm・短軸(20)cm・深さ11cmを測り、楕円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒を含む暗灰色弱粘質土。個別に図示はしていない。出土遺物はない。

・ピット281(図50)

井戸1に切られる。長軸38cm・短軸33cm・深さ33cmを測る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩微量を含む暗灰褐色弱粘質土。

・出土遺物(図50)

5は骨製品遊具、駒。

・ピット283(図50)

溝3に切られる。遺構底面に礎板が遺存する。長軸43cm・短軸35cm・深さ24cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒を多く含む暗灰褐色弱粘質土。

・出土遺物(図50)

6は木製品棒状。その他に破片でかわらけ・常滑甕が出土している。

・ピット291(図50)

長軸32cm・短軸32cm・深さ26cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・腐食した木片を含む暗灰色砂質土。

・出土遺物(図50)

7は木製品折敷。

・ピット292(図50)

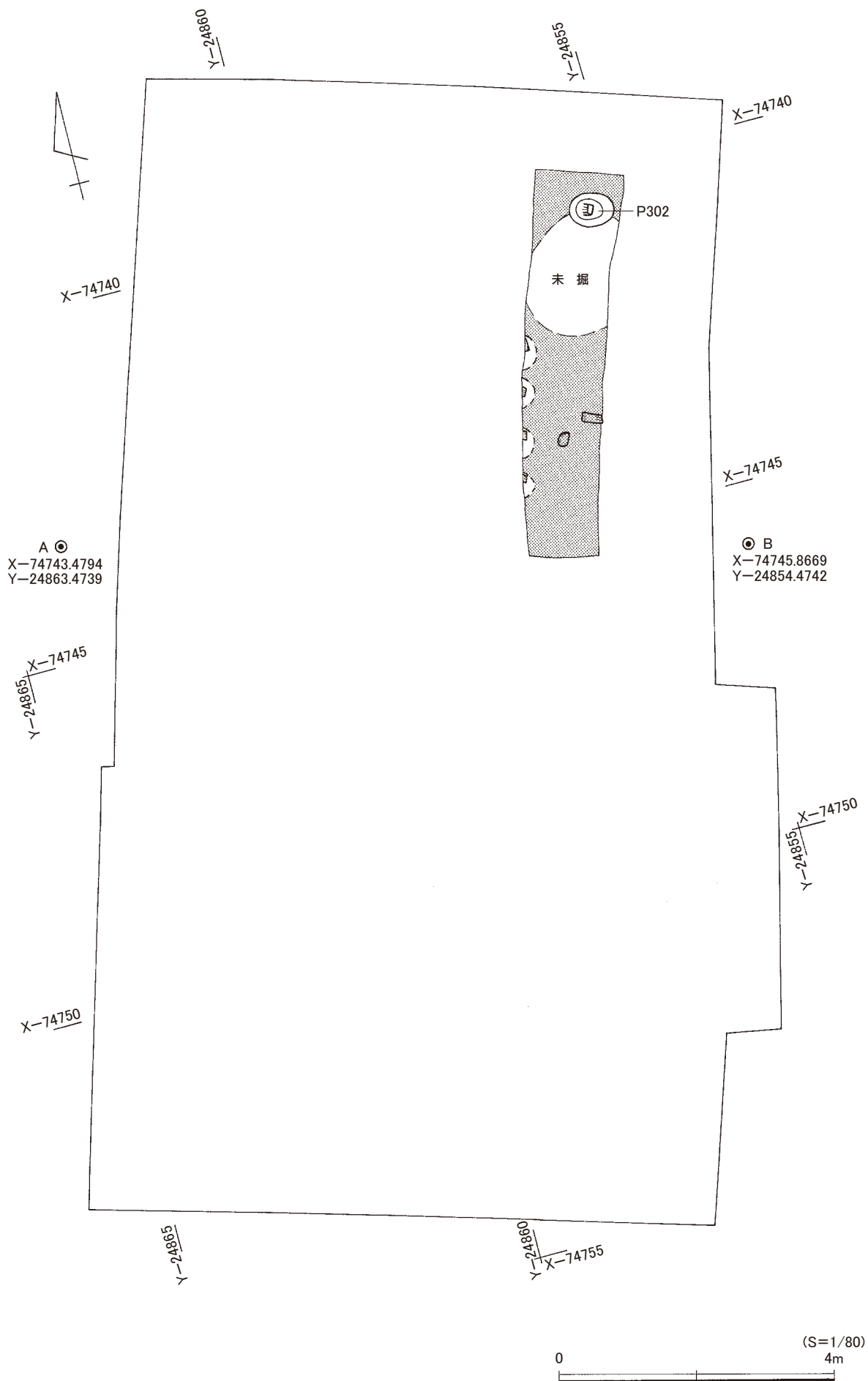


図53 第6面全測図

長軸51cm・短軸44cm・深さ30cmを測り、円形を呈する。杭が遺存していた。遺構覆土は暗灰色砂質土。

・**出土遺物 (図50)**

8は木製品杭。

・**ピット300 (図49)**

柱穴列3のピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。長軸39cm・短軸33cm・深さ7cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒を含む暗灰色砂質土。遺物は出土していない。

・**ピット301 (図49)**

柱穴列3のピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。長軸45cm・短軸45cm・深さ10cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒を含む暗灰色砂質土。遺物は出土していない。

・**第5面面上出土遺物 (図51)**

第5面精査時に出土した遺物である。

1～3はかわらけ・4～5は手づくね、5は外底面に墨書あり・6は滑石鍋加工途中・7は鉄製品釘・8～18は木製品、8～10は箸状・11は杭・12～18は用途不明。

・**第5面構成土出土遺物 (図51・図52)**

第5面遺構検出後、第6面掘り下げ時に出土した遺物である。

19～21はかわらけ・22～34は手づくね・35～38は青磁碗・39は白磁口兀皿・40は白磁壺・41は青白磁合子・42は青白磁壺・43は黄釉盤・44～45は褐釉壺・46は常滑甕・47は常滑片口鉢Ⅱ類・48は瓦器碗・49はかわらけ転用品・50は瓦・51～57は木製品、51は棒状・52は礎板・53～57は用途不明。

## 6. 第6面の遺構と遺物 (図53～図55)

第6面以下は調査区内にトレンチを設け確認した。泥岩粒・泥岩細片を含む暗灰色弱粘質土の地業上で発見した遺構はピット5穴である。後述するピット302には杭が、その他のピットには礎板が遺存していた。出土遺物はかわらけ(ロクロ成形・手づくね成形)をはじめ、青磁、白磁、青白磁、黄釉、褐釉、瀬戸、常滑、瓦器、土製品、瓦、石製品(砥石・硯)、鉄製品が見られた。破片では面上および、遺構内からはロクロ成形かわらけの出土量に対して手づくね成形かわらけの出土量が多く、構成土に至ると手づくね成形のかわらけ出土量がより多くなる。第6面確認レベルは海拔約12.25mである。

・**ピット302 (図54)**

長軸63cm・短軸47cm・深さ33cmを測り、楕円形を呈する。覆土内に杭が遺存していた。杭の先端には焼痕が残っていた。遺構覆土は泥岩・泥岩粒を多く含む暗灰色砂質土。

・**出土遺物 (図54)**

1～3は手づくね・4は青磁皿。

・**第6面構成土出土遺物 (図54・図55)**

5～8はかわらけ・9～22は手づくね・22は白かわらけ・23～25は青磁碗・26は瀬戸壺・27は常滑片口鉢Ⅰ類・28は瓦・29はふいごの羽口・30～37は木製品、30は曲物・31は用途不明・32は箸・33～35は用途不明・36は部材・37は柱。



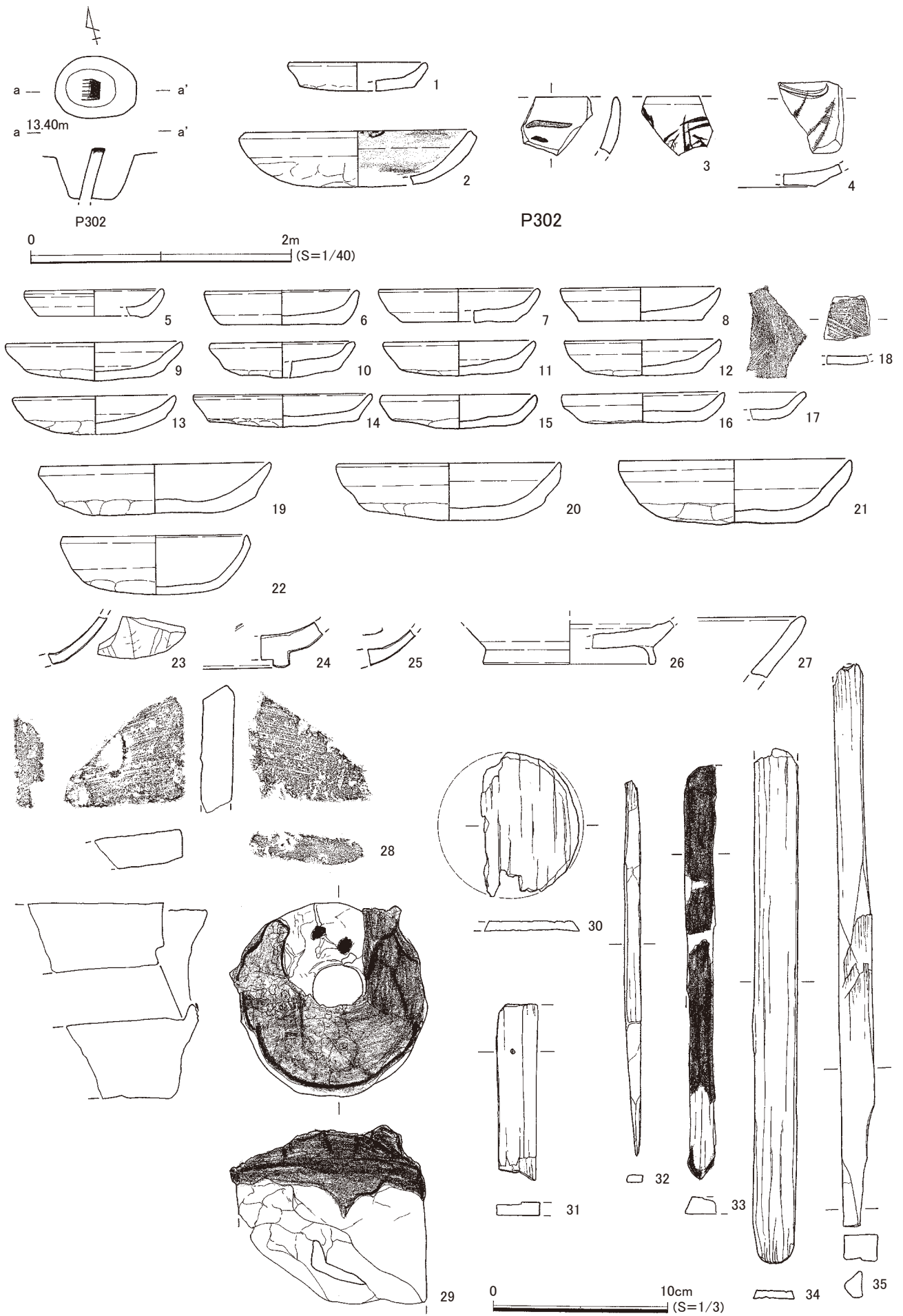


图54 第6面 个别遺構・構成土(1) 出土遺物

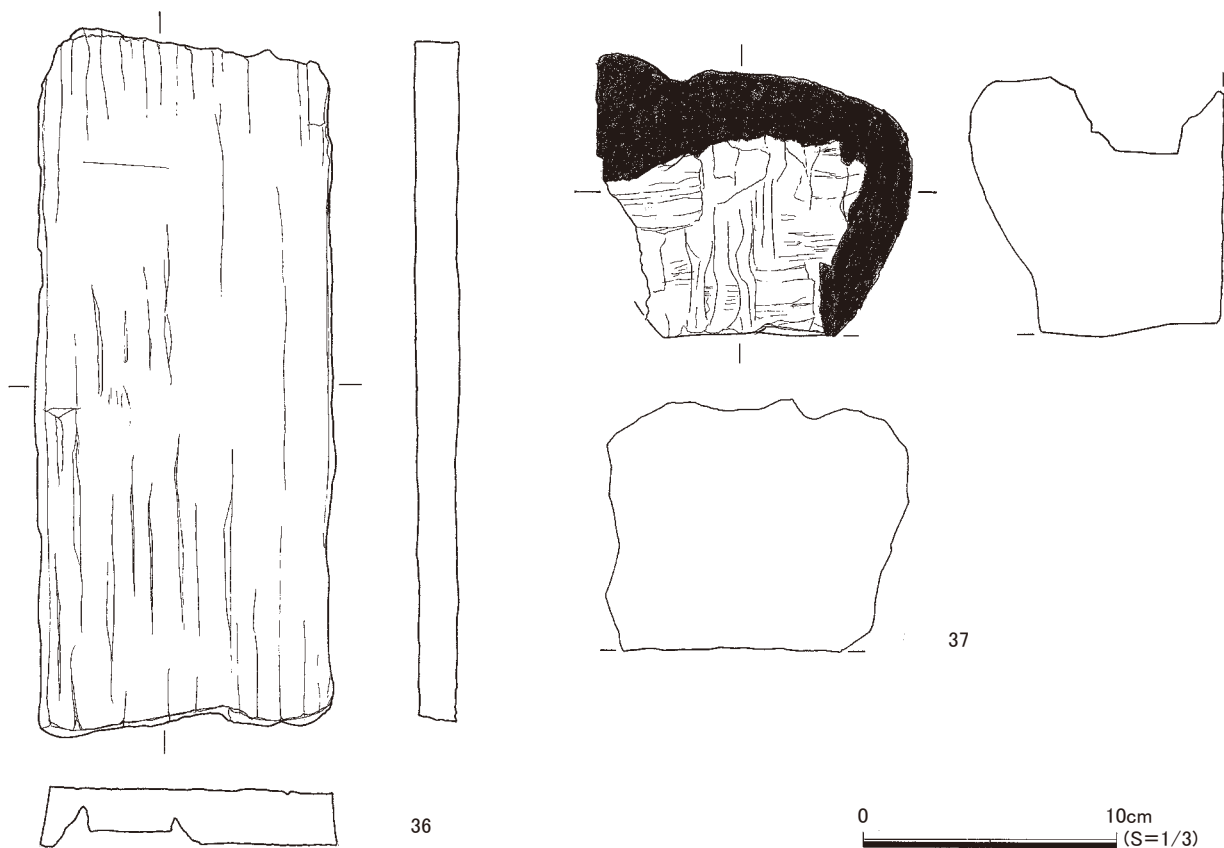


図55 第6面 構成土出土遺物(2)

## 7. 第7面の遺構と遺物 (図56・図57)

第7面は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む黒灰色弱粘質土上で遺構を検出した。発見した遺構は溝1条・ピット4穴である。第7面検出後に土層堆積を観察すると、第6面と第7面の間に地業層があることが分かった。第7面遺構として報告している溝や、面上に散逸する礎板・杭等の板材は、第7面上層の遺構であったことを確認している。第7面確認レベルは海拔12.00mである。

### ・溝4 (図57)

トレンチ内を東西に走る溝である。杭によって溝壁に沿った横板を固定していることを確認した。溝幅(30～50)cm・深さ14cmを測る。遺構覆土は灰褐色砂質土・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

### ・出土遺物 (図57)

1～4はかわらけ・5～6は手づくね・7～8は木製品、7は端材・8は串状。

### ・ピット303 (図57)

長軸41cm・短軸(33)cm・深さ23cmを測り、楕円形を呈する。ピット304を切る。遺構覆土内に礎板が遺存していた。遺構覆土は多量の泥岩粒・貝砂を含む暗褐色弱粘質土。

### ・出土遺物 (図57)

9はかわらけ。

### ・ピット304 (図57)

ピット303に切られる。長軸(34)cm・短軸32cm・深さ24cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は多量の泥岩粒を含む暗灰色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

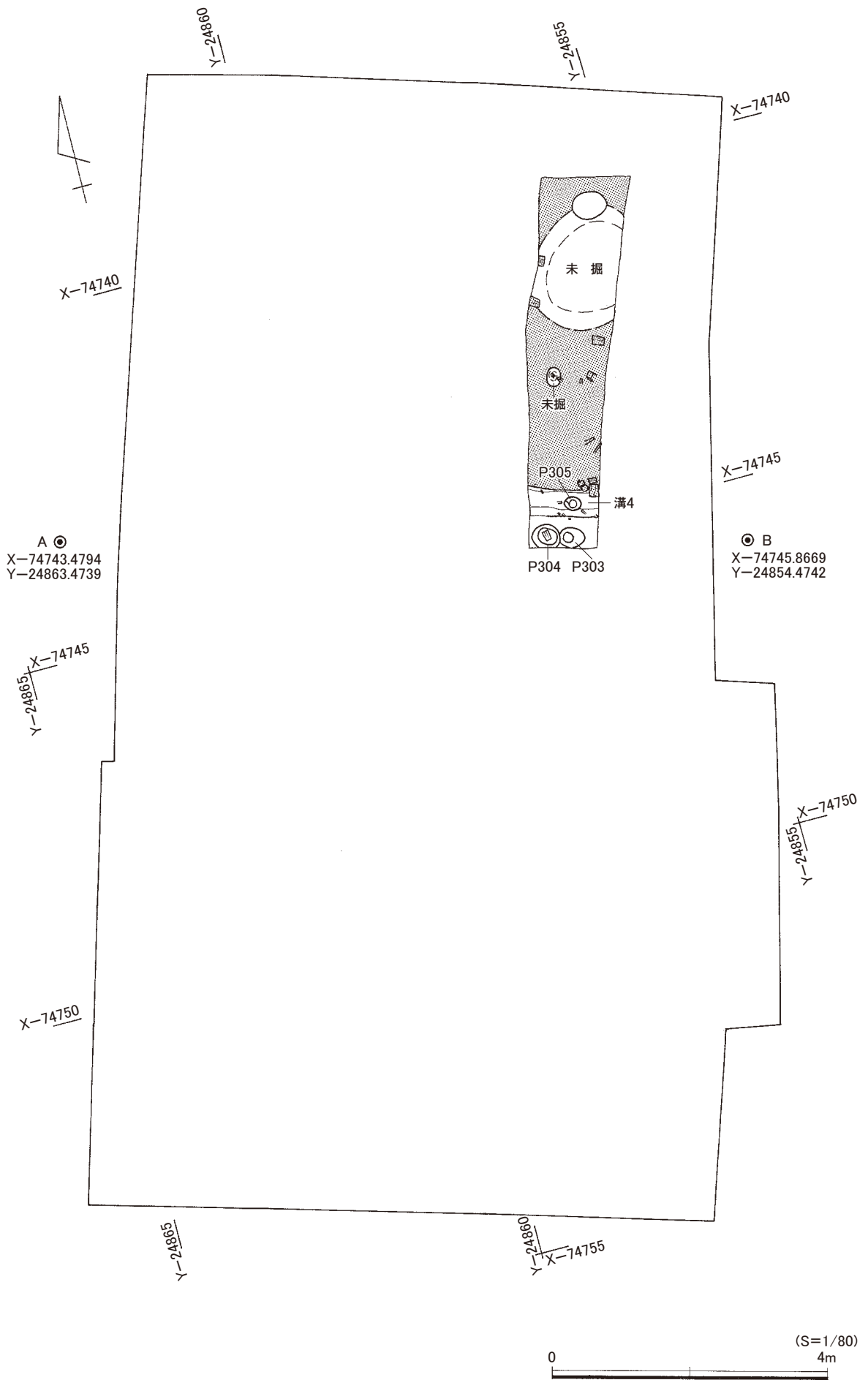


図56 第7面全測図

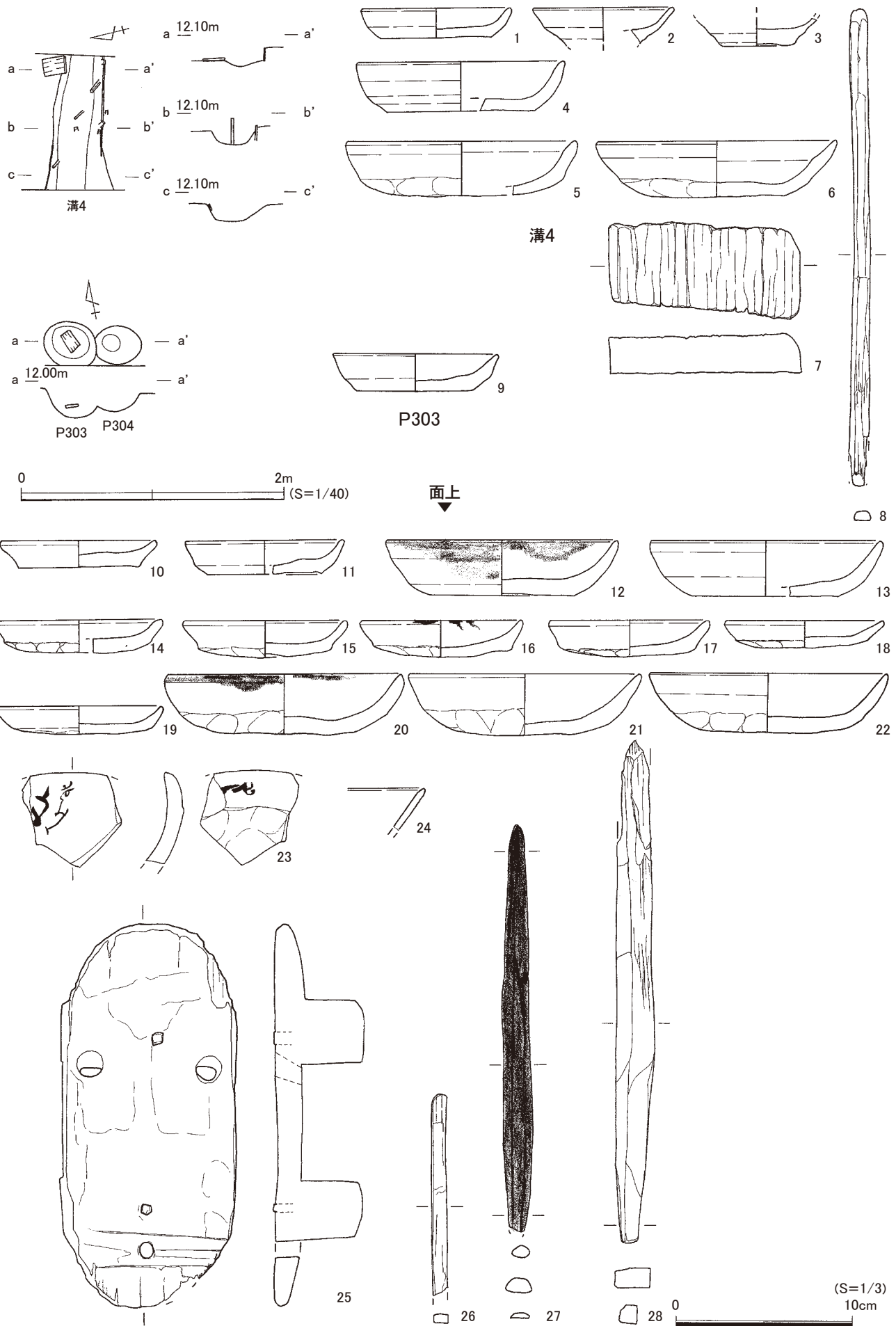


図57 第7面個別遺構・面上出土遺物

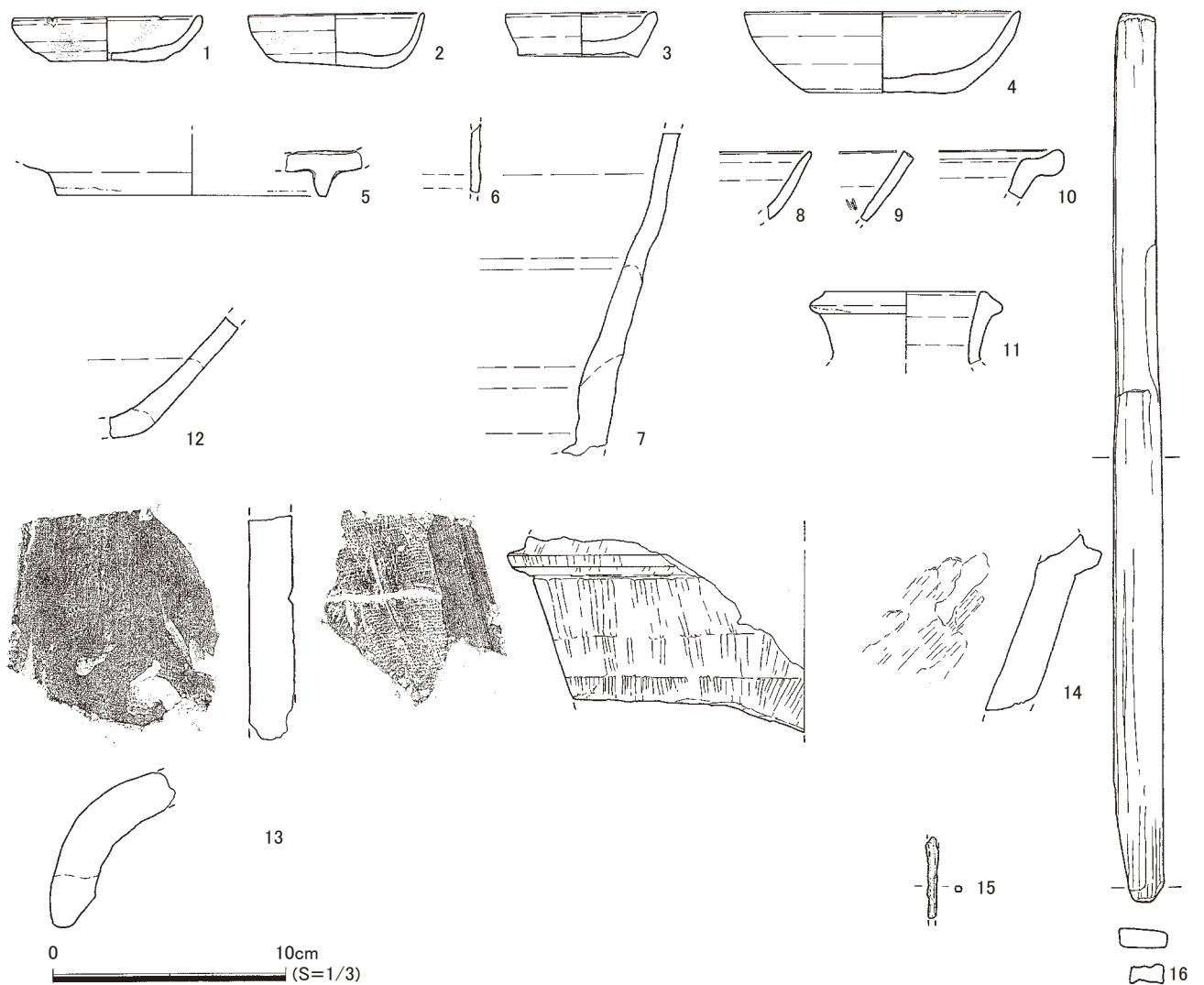


図58 表土採集遺物

・第7面面上出土遺物(図57)

10～13はかわらけ・14～23は手づくね・23は墨書あり・24は青磁碗・25～28は木製品・25は下駄・26～28は用途不明。

・表土採集遺物(図58)

調査区内表土、および廃土山などから採集した遺物である。

1～4はかわらけ・5は青磁鉢・6～7は褐釉壺・8は瀬戸入子・9は瀬戸卸皿・10は瀬戸折縁皿・11は瀬戸瓶子・12は常滑片口鉢I類・13は男瓦・14は滑石鍋・15は鉄製品釘・16は木製品杭。